大学番号:012

注3

[平成28年度設置]

計画の区分:研究科の設置

注1

事前伺い

秋田大学大学院 理工学研究科 注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 秋田大学 平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 理工学研究科

戦名・氏名 総括主査・佐藤 巧

電話番号 018-889-2314

(夜間) 018-889-2314

F A X 018-889-2300

e — mail takumi@jimu.akita-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況 報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工	学研究科	博士前	期課程	Ē																
<生	命科学専攻	久>																/	^°-	-ジ
1.	調査対象ス	大学等の	概要等	=	•		•	•	•	• •	•		•	•		•	•	•	•	1
2.	授業科目の	の概要			•		•	•	•		•		•	•		•	•	•	•	5
3.	施設•設備		状況 、	経費	ì		•	•	•		•		•	•		•	•	•	•	8
- •	既設大学等			• •	•		•	•	•		•		•	•		•	•	•	•	9
5.	教員組織(•			•	•		•		•	•		•	•	•	•	12
6.	留意事項等		る履行	小大污	等			•	•		•		•	•		•	•	•	•	20
-	その他全般			• •	•			•	•		•		•	•			•	•	•	21
٠.																				_ '
/	質科学専具	∀>																,	√° -	-ジ
	調査対象を	•	脚重等	<u> </u>	•			•	•		•		•				•	•	•	24
2.	授業科目の			• •					•											28
-	施設・設備		件;口	終基	3			•	•		•			•				•	•	32
 4. 	既設大学等			1年5				•			•		•	•		•	•	•	•	33
4 . 5.	教員組織の				•			•			•		•	•		•	•	•	•	36
- •	致 東 祖 稱 0 留 意 事 項 領		マ屋に	=1 1 > □	1 445	•		•			•		•	•		•	•	•	•	44
6. 7.	由思事項表			J オΛ <i>i</i> π			•	•		• •	•		•	•	• •	•	•	•	•	
٠.	ての他土地	如事识	• •	• •	•	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	45
∕ ¥l:	加用,雨气气	ラフにお	兴丰水	7 \															^ ٥.	-ジ
	(理・電気管理・対象)												_							-
	調査対象を		(株安さ	Ŧ •	•	•	•	•	•		•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	48
2.	授業科目の			· • • ∢⊽≢	•	•	•	•	•		•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	52 50
-	施設・設備				[• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	56 57
-	既設大学等		• •	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	57
5.	教員組織の				•	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	60
6.	留意事項等]	一	•	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	68
7.	その他全船	党的事項	• •	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	69
	. — , — , ,		→ +	- \															• 0	~".
	/ステムデサ																	/	/-	ージ
-	調査対象を			_	•	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	72
_	授業科目の		• • •		•	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	76
3.	施設•設備			経費	Į	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	79
4.	既設大学等		• •	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	80
5.	教員組織(• • •	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	83
	留意事項等			计 状沉	等	•	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	91
7.	その他全船	设的事項	• •	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	92
	同ライフサ				学	専攻	z >											/	^°-	ージ
-	調査対象ス		概要等	•	•	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	95
2.	授業科目の		• • •	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	99
	施設•設備			経費	Ī	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	103
4.	既設大学等		• •	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	104
5.	教員組織(り状況	• • •	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	107
6.	留意事項等	手に対す	る履行	5 状沉	等	•	•	•	•	• •	•	• •	•	•	• •	•	•	•	•	114
7.	その他全船	设的事項	• •	• •	•		•	•	•	• •	•	• •	•	•		•	•	•	•	115

理工学研究科	博士後期課程
エエコーいしいコ	

< 総	合理工学専攻> ページ
1.	周査対象大学等の概要等(・・・・・・・・・・・・・・・・・118
2.	受業科目の概要(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122
3.	施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・・・ 13 ⁻
4.	既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・136
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・ 153
7.	その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 154

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

- (2) 大 学 名 **秋田大学**
- (3) 大学の位置

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備考
	(ヤマモト フミオ)		
学 長	山本 文雄		
	(平成28年4月)		
	(ムラオカ ミキオ)		
研究科長	村岡 幹夫		
	(平成28年4月)		
	(オダカ マサフミ)		
専攻長	尾髙雅文		
	(平成28年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - ()書きで記入してください。
 - (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27) 平成29年度に報告する内容 → (29)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(<u>修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合</u> には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等	学位又は学科の		設 置 時 の 計 画								
の名称(学位)	分野	修業年限	入学定員	収容定員	備考						
理工学研究科 生命科学専攻 (博士前期課程) 修士(理学)	理学関係	2	人	30	基礎となる学部 等 理工学部 生命科学科						

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を ()書きで記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

	報告年度	平成28年度	平成29年度	平成 年度	平均入学定員	備考
区	分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超過率	UFI 75
	1 # 4 B	15人 若干名	15人 若干名	\ \/\		
Α	入学定員	(若干名) [若干名]	(若干名) [若干名]			
		10 —	16 —			
	志願者数	(-) (-)				
	受験者数	10 — (—) (—) [—] [—]	16 — (-) (-) [-] [-]	() ()	0.76 倍	
	合格者数	10 — (—) (—) [—] [—]	15 — (–) (–) [–] [–]	() ()		
E	3 入学者数	8 — (—) (—) [—] [—]	15 — (–) (–) [–] [–]	() ()		
7	、学定員超過率 B/A	0. 53	1			

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成 2 8	8年度	平成 2	9 年度	平成	年	度	備考
学 年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の	2 学期	
	8		15	_		_/		平成28年度春季入学者のうち,在学期間短縮 による修了者1名
1 年次	(-)	[-]	[0]	(-)	[]	[/]	
			7	_	/			
2 年次			[0]	[-]		[]	
	8		(-)	2	(/)	()	
計	8				/		1	
	(-)	(-	.))	

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で</u>記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退	学者数(内訳))	主な退学理由	入学者数に 対する退学者数
対象年度	, , , ,	~	退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		の割合 (a/b)
平成28年度	8 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
入学者	8 人		平成29年度	0 人	0 人		0 %
平成29年度 入学者	15 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %
合 計	23 人	0 人					0 %

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 生命科学専攻>

(1) 授業科目表

東京の	科目区分	授業科目の名称	配当年次 ()表示の ある科目は ウォ-ウ-制で開 講する。						専任教	女員:	等 <i>0</i>)配	置		гм	備考			
地域産業アントレブレナー論 1後 1			()の数は 開講時期を	必	修	選	択	自	由	教	授	准教授	講	師	助	教	助手		
世級主張 アトレージ ティー 1		理工学デザイン	1後		1					1								兼9	- -
理工学製語		地域産業アントレプレナー論	1後		1													兼4	
理工学英語Ⅲ 1 次 1 日本書の変更 (29) 理工学英語Ⅲ 2 始 1 日本		プレゼンテーション技法	1前			1												兼 1	······································
理工学英語Ⅲ 2前 1		理工学英語 [1前			1												兼 1	
理工学英語IV 2後 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 1 3 3 3 3 1 3 3 1 3 3 3 1 3 3 1 3 3 3 4 1 3 3 4 1 3 3 4 1																			担当者の変更(29)
インターンシップ 1 随時 1 1 1 東9 金素で実地研修 1 1 1 東9 企業で実地研修 1 2 1 東 1 東 1 1 1 東 1 1 1 1 東 1 1 1 1 1																			
1			2後			-												兼	
日本の		インターンシップ I	随時			1				1								兼9	担当者の変更(29)
科学技術の運物論 1後 2 東 1 東 1 東中 1 東市 1 東中 1 東市 1 東中 1 東市 1 東中 1 東市		インターンシップⅡ	随時							1								兼9	
リサイクルプロセス設計特論 1後 2																			
中面科学特論 1前 2 表 報告 報告 2 機当者の変更(29) 理当者の変更(29) 理当者の変更(29) 理当者の変更(29) 理当者の変更(29) 理当者の変更(29) 理当者の変更(29) 理当者の変更(29) 理当者の変更(29) 理工学特論 1 流 2 規当																			
担当者の変更(29) 担当 担当者の変更(29) 且当者の変更(29) 担当者の変更(29) 世国者の变更(29) 世国 世国 世国 世国 世国 世国 世国 世		リリイグルプロセス設計特価	11友				-											米 「	#
地域防災学特論													*******************************						
古地震学特論 1後 2																			
地球資源成団語																			
共																			
英雄化学・養源利用工学 1通		資源分離精 製論	1诵			1												華 3	
自主プロジェクト 1通 1																			
自主プロジェクト 1 1 1	共	リサイクルシステム設計論	1通			1												**********	
国際関係論		自主プロジェクトI	1通															兼 1	
マーケティング論 1前 1 東 1 MOIコースが参科目 東中 MOIコースが参 東中 大ムニッス 東中 大山 東中 MOIコースが参科目 東中 MOIコースが参科目 東中 MOIコースが参科目 東中 MOIコース対象科目 東中 MOIコース対象科目 東中 MOIコース対象科目 東中 MOIコース対象科目 東中 MOIコース対象科目 東中 MOIコースが参加 東中 MOIコースが参加 東中 MOIコースが参加 東中 MOIコースが参和目 東中 MOIコースが参加 東中 MOIコースが参加 和国・ 東中 MOIコースが参加 和国・ 和国																			4-
A	通																		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
日																			集中
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	科	資源・工業経済論	1通		***************************************	1					**********				***************************************	***************************************		兼 2	集中 オムニバス
技術戦略学		リスクマネジメント	1 (2)			1												兼 1	集中
対例 ・ 並成工子	目	技術戦略学	1 (1)			1												兼 1	
知的財産論		財務・金融工学	1通			1												兼 5	MOTコース必修
株式 MOTコース対象科目 集中 MOTコース対象科目 集中 MOTコース対象科目 集中 MOTコース対象科目 集中 MOTコース対象科目 東京 MOTコース対象科目 東京 MOTコース対象科目 東京 MOTコース対象科目 東京 MOTコース対象科目 担当者の変更 (29) 理工学特論 I		知的財産論	1 (3)			1												兼 1	MOTコース対象科目 MSEコース必修
正案行動論 1(1) 1		経営戦略論	1 (2)			1												兼 1	MOT⊐-ス対象科目
押工海推字発験		企業行動論	1 (1)			1												兼 1	
理工学特論 II 1後 1 1 兼 9 担当者の変更(29) 生命医理工学特論 1前 2 6 4 兼11 担当教員の追加(28) 担当者の変更(29) 担当者の変更(29) 集中、オムニハ・ス		特許情報活用論	1前			1												兼 2	
生命医理工学特論 1前 2 6 4 兼11 担当教員の追加(28) 担当者の変更(29) 原理工連携常建論 1(2) 1 1 事7 集中、オムニハ・ス		理工学特論 [1前	L		1				1								兼 9	担当者の変更(29)
生命医理工学特論 1前 2 も 4 業11 担当教員の追加 (28) 担当者の変更 (29) 原理工連携常建論 1(2) 1 1 事7 集中・オムニハ・ス		理工学特論Ⅱ	1後			1				1								兼 9	担当者の変更(29)
		生命医理工学特論	1前			2)											兼11	担当教員の追加(28)
		医理工連携実践論	1 (2)			1				1								兼7	

	生命科学演習	2通	2		6 4	3	2	1		担当教員の追加(28)
	生命科学課題研究	1~2通	10		6 4	3	2	1	***************************************	担当教員の追加(28)
	Introduction to Life Sciences (生命科学概論)	1・2前	1						兼 1	
	生命電気化学特論 I	1 • 2(3)		1		1				:
	生命電気化学特論Ⅱ	1 • 2 (4)		1		1				
	生命理論化学特論 I	1 • 2(1)		1		1				
	生命理論化学特論Ⅱ	1 • 2(2)		1		1				:
	構造有機化学特論 I	1 • 2(3)		1			1			
	構造有機化学特論Ⅱ	1 • 2 (4)		1			1			
	医薬品合成化学特論 I	1 • 2(1)		1	1					教育課程の充実を図るた め科目を追加(28)
	医薬品合成化学特論 II	1 • 2(2)		1	1					教育課程の充実を図るた め科目を追加(28)
	分光分析化学特論 I	1 • 2(1)		1	4		1			担当教員の変更(28)
	分光分析化学特論Ⅱ	1 • 2(2)		1	1		1			担当教員の変更(28)
	生命無機化学特論	1・2後		2	1					MSEコ-ス対象科目
	分子生物学特論	1・2前		2	1					MSEコ-ス対象科目
専 生	細胞生物学特論	1・2後		2	1					MSEコース対象科目
· 命	↑ ↑ 分子細胞生物学特論	1・前		2	1					教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
学		1・2前		2	1					MSEコース対象科目
科 =	生物進化学特論	1・2前		2		1				
目え	生命科学特論	1・2後		2	6 4	3	2	1		オムニパス 担当教員の追加(28)
	生命科学ゼミナール I	1通		2	6 4	3	2	1		担当教員の追加(28)
	生命科学ゼミナールⅡ	2通		2	6 4	3	2	1		担当教員の追加(28)
	生命科学論文講読 I	1通		2	6 4	3	2	1		担当教員の追加(28)
	生命科学論文講読Ⅱ	2通		2	6 4	3	2	1		担当教員の追加(28)
		1・2前		2					兼 1	MSEコース対象科目
	ナノバイオテクノロジー特論	1・2前		2					兼 1	MSEコース対象科目
	高分子機能学	1・2前		2					兼 1	
	界面化学特論 I	1 • 2 (3)		1					兼 1	
	界面化学特論 Ⅱ	1 • 2 (4)		1					兼 1	
	機能性高分子特論 I	1 • 2 (3)		1					兼 1	
	機能性高分子特論Ⅱ	1 • 2 (4)		1					兼 1	

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - · 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任,兼担の教員が担当する授業科目については,備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合 には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	設置	寺 の 計	画		変 更	状 況		備	考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1/HI	45
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
5	60	0	65	5	63	0	68		
				[±0]	[+3]	[±0]	[+3]		

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

|--|

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計
 =
 0

 設置時の計画の授業科目数の計 (A)
 =
 65

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区			分			内										容					備考	
(1)		区		分			専		用		共		用			ŧ用す。 ዸ校等(る他の の専用			計			
±六		校 釒	• 敷	、地	l			:	258, 144 m	ì			0	m²			0	m²		25	8, 144	m²	
校		運動	場月	月地					76, 253 m	2			0	m²			0	m ^²		7(6, 253	m²	
地		小		計				;	334, 397 m	î			0	m²			0	m²		334	4, 397	m²	
等		そ	の	他					104, 058 m	Î			0	m²			0	m²		104	4, 058	m²	
		合		計				-	138, 455 m	Î			0	m²		- m - b		m²		43	8, 455	m²	
							専		用		共		用		共用する他の 学校等の専用)専用		計			
(2) 校			舎						132, 654 m	Î	0 m ²		m²	0 m²		mi			m²				
				ı			(1	32, 65	4 m²)		(1	0 m³)		(0 m²) (132, 6			2, 654	m³)			
				-	請	1	義 室 演 習 室 実験実習室 情報処理学習施設 語学学習施設									大学全体							
(3) 教		室	等				99 室 130 室 543 室							6									
						l	新設学部等の							<u> </u>		(補助	助職員	4 人)		肋職員	1 人)	
(4) 専	任教	員研究	室				新設学部等の名称 					+					室	•	数			_	
						w)	1				-	専収						2			室	•	
(5)	兼	新設学部					図 書 学術雑 ち外国書〕 〔うち外目						電子ジャ	+	- II.	視聴	覚資料	機械	・器具	標	本		
(0)		の名和	尓			-57		, m	()	71'5	租		電 う				点		点			点	
図					443, 6	62 [(115, 1		9, 572 [2. 71	15) 6, 850 (5, 40				3.	071	6.	341		370		1. # A ! - A ! II ! A	
書・	理	工学研	究科	1	(427, 3	82 (113, 21	6])	(9, 572	[2, 7			5, 40	(2, 89			893) (6, 341		6, 341) (19,			大学全体での共用分を 含む	
設備					443, 6	62 ((115, 1	05)	9, 572 (2, 71	15)	6,	850 (5,	, 400				=					
		計			(427, 3	82 (113, 21	6])	(9, 572	[2, 7	15)	(6, 850 [5, 40), 170)			
(O) FF		-	^			į	面		積			١	閲 覧 座	席	数		収	納	可能	· m	数		大学全体
(6) 図		書	館				6,	321 n	า้				652	2					582, 537	,			
(7) 体		育	館			i	面 積 体育						育館以2	外のス	ポーツ旅	設の概	要				大学全体		
(1)		P	ΔП				7,908 m ³ 陸上競技場,					野珠	求場,	多目的	運動場,	テニス	コート	,プー	ル				
		経費		×	[3					区	3	分	開設	前年度	開設	年度	完	成年度	:			
(8)			教員	1	人当り	研:	究費等	等	一 千円	千円 一 千円 図書購入						-	- 千円	円 - 千円 - =		- 1	円		
経費の積り及締持	なび		共	同	研 :	究	費	等	— 千円	千円 一 千円 設備購力				購入	.費	-	- 千円	-	千円		- 1	円	
維持方の 概		学生 1 納尓		IJ	第	1年									年次	4							
	-						- 千円 - 千円 - 千円 - 千円 - 千円 - 千円								円								
		学生	納付	金山	金以外の維持方法の概要																		

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「($\frac{29}{}$)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋	田大	学						備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学定 員	収 容定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍			
≪AC対象学部等≫			人						
国際資源学部		100		400	学士	1.00		秋田市手形学園町1番1号	
国際資源学科	4	120		480	(資源学)	1.02	平成26		
教育文化学部								秋田市手形学園町1番1号	
学校教育課程	4	110	_	440	学士	1.04	平成10		平成26年度入学定員
地域文化学科	4			400	学士	1.02	平成26		増(10人)
地域科学課程	4		_	_	(地域文化)	_	平成10]
					(地域科学) 学士				 平成26年度より
国際言語文化課程	4	_	_	_	(国際言語 文化)	_	平成10		学生募集停止
人間環境課程	4	_	_	_	学士 (人間環境)	_	平成10		
医学如								秋田市本道一丁目1の1	
医学部医学科	6	124	2年次	759	学士	1.00	昭和45	秋田川本道一丁日1071	平成27年度入学定員
	4		5 3年次		(医学) 学士				増(2人)
保健学科	4	106	14	452	(保健学) 学士	1.05	平成14		
					(看護学)				
理工学部								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学科	4	45		180	学士 (理学)	0.99	平成26		
物質科学科	4	110		440	学士(理工学)	1.02	平成26		
数理·電気電子	4	120		480	学士	1.07	平成26		
情報学科					(理学)				
システムデザイン	4	120		480	(工学) 学士	1.09	平成26		
工学科 各学科共通		120	3年次	12	(工学)	1.00	1 1220		
谷子科共通			12	12					
工学資源学部								秋田市手形学園町1番1号	
地球資源学科	4	_	_	_	学士 (資源学)	_	平成10		
					学士 (工学)				
環境応用化学科	4	_	_	_	·一, 学士 (工学)	_	平成20		
生命化学科	4	_	_	_	(エテ <i>)</i> 学士 (工学)	_	平成20		
					学士				亚宁尔在库上山
材料工学科	4	_	_	_	(理学) 学士	_	平成10		平成26年度より 学生募集停止
情報工学科	4		_	_	(工学) 学士	_	平成10		
機械工学科	4		_	_	(工学) 学士	_	平成10		
電気電子工学科	4			_	(工学) 学士		平成10		
				_	(工学) 学士	_			
土木環境工学科	4	_	3年次	_	(工学)	_	平成10		」 平成28年度より
各学科共通			12	_					学生募集停止

大学院国際資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
資源地球科学専攻	2	17	_	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
					修士				
資源開発環境学専攻	2	23	_	46	(理学) 修士	0.71	平成28		
貝脲洲元垛圾于寻农	2	23		40	(資源学) 修士	0.71	十7,0,20		
					(工学)				
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	_	20	博士	0.65	平成28		
50,11,11,11,11					(資源学) 博士		, ,,,,==		
					(工学) 博士				
					(理学)				
大学院教育学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(修士課程)									
心理教育実践専攻	2	6	_	12	修士 (教育学)	1.08	平成28		
学校教育専攻	2	_	_	_	修士	_	平成元		h
教科教育専攻	2	_	_	_	(教育学) 修士		平成元		│ 平成28年度より 学生募集停止
教科教育等 及	2		_		(教育学)		一规儿		J
(専門職学位課程)									
教職実践専攻	2	20	_	40	教職修士	1.12	平成28		
37,137,132, 1, 2, 1					(専門職)		, ,,,,==		
大学院医学系研究科								秋田市本道一丁目1の1	
(修士課程)									
医科学専攻	2	5	_	10	修士 (医科学)	0.30	平成19		
(博士前期課程)					. .				
保健学専攻	2	12	_	24	修士 (看護学)	1.04	平成19		
					修士 (リハビリテー				
					ション科学)				
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	_	9	博士 (保健学)	1.11	平成21		
(博士課程)					+ # +				
医学専攻	4	30	_	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
								11-1	
大学院理工学研究科 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学専攻	2	15	_	30	修士	0.76	平成28		
					(理学) 修士				
物質科学専攻 数理·電気電子	2	42	_	84	(理工学)	0.79	平成28		
情報学専攻	2	45	_	90	(理学)	1.07	平成28		
					修士(工学)				
システムデザイン 工学専攻	2	36	_	72	修士 (工学)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	_	24	修士 (工学)	1.00	平成28		
					- '				

(博士後期課程)									
総合理工学専攻	3	10	_	20	博士 (理学) 博士 (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28		
大学院工学資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
地球資源学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
					修士 (資源学)				
環境応用化学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成24		
生命科学専攻	2	_	_	_	修士 (理学)	_	平成24		
材料工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
情報工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
機械工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
電気電子工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
土木環境工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		├ 平成28年度より
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	_	-	_	修士 (工学)	-	平成24		学生募集停止
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	_	_	-	博士 (工学)	_	平成14		
					博士 (資源学)				
生命科学専攻	3	_	_	_	博士 (理学)	_	平成26		
機能物質工学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	_	平成14		
生産・建設工学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	_	平成14		
電気電子情報 システム工学専攻	3	_	_	_	博士(工学)	_	平成14		
				l			l		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 生命科学専攻(博士前期課程)>

(1) 担当教員表

		設 置	時の計し	画			3	変	更 状 況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名		名 龄)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	尾高 雅文	平成28年4月	分光分光化学特別では、 分光分光工タターない。 が光エタターエンでは、 では、 では、 では、 が光エタタエンでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	曲	教授	尾高()		平成28年4月	理工学デザンプI II 理工学アンシッゴ II 理工学アンシッゴ I 理工学学科 II 生命無利学学特論 生命和学科学論 生命命科学学表示等 生命命科学学生子一時 II 生命命科学学生主文 票	(教員審査省略) 平成28年4月 担当者の変更 (28)
専	教授	藤原憲秀	平成28年4月	医薬品合成化学特論 II 医薬品合体化学特論 II 生命科学科学言等 生命科学科学 I 生命科学学 I 生命科学学 i 主生命科学学 i 主生命科学学 i 主生命科学学 i 主生命科学学 i 主生命科学学 i 主生命科学学 i 主生命科学 i 主生命科学 i 主生命科学 i 主生命科学 i 主生命科学 i 主生命科学 i 主生命 I 生命科学 i 主生命科学 i 主生命 I 生命科学 i 主生命 I 生命							
専	教授	伊藤英晃	平成28年4月	分子生物学特論 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学学特論 生命科学ゼミナール I 生命科学ゼミナール I 生命科学が論文購読 I 生命科学論文購読 I 生命医理工学特論							
専	教授	涌井 秀樹 ()	平成28年4月	疾患命科学等語 生命科学課題研究 生命科学学学計論ル I 生命科学ゼミン 連続 I 生命科学で表演 I 生命科学で表示 I 生命科学学論 文購読 I 生命 A 医理 工連携 接論							
専	教授	久保田 広志 ()	平成28年4月	細胞生物学特論 生命科学課題研究 生命科学学等特論 生命科学でミナール I 生命科学学論文購読 I 生命科学学論文購読 I 生命科学報文購読 I 生命 A 医理工学特論							
専	教授	疋田 正喜 ()	平成28年4月	生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学でミナール I 生命科学ゼミナール I 生命科学ゼミナール I 生命科学調文購読 I 生命科学論文購読 I 生命科学論文購読 I	事	教授	疋田 ī ()		平成29年4月	分子細胞生物学特論 生命科学課題研究 生命科学課題研究 生命科学はナール I 生命科学ゼミナール I 生命科学協文購読 I 生命科学論文購読 I 生命科学語文講読 I	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目 を追加(29)
専	准教授	秋葉 宇一 ()	平成28年4月	生命電気化学特論 I 生命電気化学特論 I 生命電気化学特 理 生命科学課題研究 生命科学ゼミナール I 生命科学ゼミナール I 生命科学でも論文購読 I 生命科学論							

専	准教授	天辰(禎晃)	平成28年4月	生命理論化学特論 I 生命理論化学特論 II 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学程等 生命科学ゼミナール I 生命科学でもナール I 生命科学語文購読 I 生命科学論文購読 I						
専	准教授	布村 渉	平成28年4月	生物進化学特論 生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学学特論 生命科学ゼミナール I 生命科学ゼミナル I 生命科学学記文購読 I 生命科学論文購読 I						
専	講師	松村洋寿	平成28年4月	生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学詳論 生命科学でミナール I 生命科学でミナール I 生命科学論文購読 I 生命科学論文購読 I	申	講師	松村 洋寿	平成28年4月	分光分析化学特論 分光分析化学特論 分光分析化学特論 生命科学課題 生命科学課題 生命科学で 生命科学で 生命科学で 生命科学で 工 生命科学で 工 生命科学で 工 生命科学で 工 生命科学 選 上命科学 選 上命科学 選 上命科学 選 上命科学 選 上命科学 選 上命科学 選 上帝科学 選 上帝科学 選 上帝科学 選 上帝科学	(教員審査省略) 平成28年4月 担当教員の変更 (28)
専	講師	近藤 良彦	平成28年4月	構造有機化学特論 I 構造有機化学特論 II 生命科学課題研究 生命科学ぞサール I 生命科学ゼミナール I 生命科学でも シール I 生命科学論文購読 I 生命科学論文購読 I						
専	助教	田村 拓 ()	平成28年4月	生命科学演習 生命科学課題研究 生命科学特論 生命科学ゼミナール II 生命科学・語文購読 I 生命科学論文購読 I 生命科学論文購読 I						
兼担	教授	村上 賢治	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	原基()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	兼担	教授	麻生 節夫	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	河上肇()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	今野 和彦	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	兼担	教授	倉林 徹 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ Ⅲ 理工学特論 Ⅱ 理工学特論 Ⅲ	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	景山 陽一 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I 生命医理工学特論	兼担	教授	水戸部 一孝	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップI インターンシップI 理工学特論I 理工学特論I	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	奥山 栄樹	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	足立 高弘	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	濱岡 秀勝	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	中村雅英	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼任	講師	眞田 慎 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
				·			2			

										T
兼担	寄附講 座准教 授	今野 道人	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論	兼任	講師	泰松 齊 ()	平成29年4月	地域産業アントレプレナー論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	村上信博	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論						
兼任	講師	星則幸()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
兼任	講師	SIM Malcolm Shane ()	平成28年4月	プレゼンテーション技 法	兼任	講師	ジョー サイクス Joe SYKES ()	平成29年4月	プレゼンテーション技法	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	准教授	ABADZHIEVA EMILIYA ()	平成28年4月	理工学英語 I						
兼担	講師	SELIN PAVEL	平成28年4月	理工学英語Ⅲ						
兼担	准教授	GRAVE EWA MALGORZATA ()	平成28年4月	理工学英語II 理工学英語IV Introduction to Life Sciences (生命科学概論)	兼担	准教授	WATTERS EAMON PATRICK JOHN ()	平成28年10月	理工学英語Ⅱ	平成28年10月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	銭谷 秋生	平成28年4月	技術者倫理特論 科学技術倫理特論						
兼担	寄附講 座准教 授	川村 茂 ()	平成28年4月	リサイクルプロセス設 計特論						
兼任	講師	和田豊()	平成28年4月	宇宙科学特論	兼任	講師	阿部 琢美 ()	平成29年10月	宇宙科学特論	平成29年10月 担当者の変更(29)
兼担	教授	水田 敏彦	平成28年4月	地震防災特論 地域防災学特論						
兼担	特任 准教 授	鎌滝 孝信	平成28年4月	古地震学特論						
兼担	教授	石山 大三	平成28年4月	地球資源成因論						
兼担	教授	岩田 吉弘 ()	平成28年4月	地球資源成因論						
兼担	教授	柴山 敦 ()	平成28年4月	地球資源成因論 資源分離精製論						
兼担	教授	水田 敏夫	平成28年4月	地球資源成因論	兼担	教授	渡辺 寧 ()	平成29年4月	地球資源成因論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	大和田 秀二	平成28年4月	資源分離精製論						
兼担	准教授	高崎 康志	平成28年4月	資源分離精製論						
兼担	教授	進藤 隆世志	平成28年4月	資源化学・資源利用工 学 資源化学・資源利用工						
兼担	教授	村上 賢治	平成28年4月	字 界面化学特論 I 界面化学特論 I						
兼担	准教授	布田 潔 ()	平成28年4月	資源化学・資源利用工 学						
兼任	講師	藤田 豊久	平成28年4月	資源化学・資源利用工 学						
兼担	教授	三島望	平成28年4月	リサイクルシステム設 計論						
兼担	教授	安達 毅	平成28年4月	リサイクルシステム設 計論						
兼任	講師	中村 崇 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設 計論						
兼担	教授	神谷修	平成28年4月	自主プロジェクト I 自主プロジェクト II						
兼任	講師	細井義孝	平成28年4月	国際関係論						

		E 公 + 10 - 11 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 -								
兼任	講師	長谷部 光重	平成28年4月	マーケティング論						
兼任	講師	佐藤 善友 ()	平成28年4月	ベンチャー起業論						
兼任	講師	佐藤 博	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	桜井 若葉 ()	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	戸根谷 法雄	平成28年4月	リスクマネジメント						
兼任	講師	高橋 弘毅 ()	平成28年4月	技術戦略学						
兼任	講師	水澤 春樹	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	伊藤 秀範	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	佐藤 貴幸	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	高橋 利典	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	豊島 洋之	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	森川 茂弘	平成28年4月	知的財産論						
兼任	講師	谷内 宏行	平成28年4月	経営戦略論						
兼任	講師	廣畑 伸雄	平成28年4月	企業行動論						
兼担	准教授	角谷 浩 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 昭彦 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	田嶋 正夫	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 博子 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼担	教授	後藤 猛	平成28年4月	生命医理工学特論 ナノバイオテクノロ ジー特論						
兼担	教授	水戸部 一孝	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼担	教授	長縄 明大	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼担	教授	巌見 武裕	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	准教授	南條博	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	三浦 昌朋	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	講師	藤島 直仁	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	橋本学()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	廣川 誠	平成28年4月	生命医理工学特論	兼担	助教	面川 歩	平成29年4月	生命医理工学特論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼担	教授	安藤秀明	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	寺境 光俊	平成28年4月	医理工連携実践論 分子機能材料特論						
兼担	教授	南谷 佳弘	平成28年4月	医理工連携実践論						
								•		

兼担	理事	近藤 克幸	平成28年4月	医理工連携実践論			
兼任	講師	野堀潔	平成28年4月	医理工連携実践論			
兼任	講師	赤上 陽一 ()	平成28年4月	医理工連携実践論			
兼担	講師	井上 幸彦	平成28年4月	高分子機能学			
兼担	講師	松本和也	平成28年4月	機能性高分子特論 I 機能性高分子特論 Ⅱ			

- (注)・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、<u>「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢</u>を、<u>「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢</u>を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は, 変更後の状況を記入するとともに, その理由, 後任者が決まっていない場合は, 「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し, 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ <u>認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</u>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任 教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ 「専任教員採用等変更書 (AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 () 書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時におけ る設置基準上の必 要研究指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準 上の必要教授数	完成年度時における設置基 準上の必要研究指導補助教 員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により 算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

	設置	量 時	の 計 画		現在	E(報告書	提出時	の状況		現在(報告書提出	寺)の完成	뷫年度時の 計	十画
教 授	准教授	講師	助教	計	教 授	准教授	講自	市 助 教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	3	2	1	10	6	3	2	1	12	6	3	2	1	12
(6)	(3)	(2)	(1)	(12)						[+2]	[±0] [±0]	[±0]	[+2]
研究指導 員数			講義のみ担 当の教員数		研究指導教員数	研究排 助教	旨導補 員数	講義のみ担 当の教員数		研究指導教	員数 補助	咒指導 助教員 数	構義のみ担 áの教員数	
9		1	0		12		0	0]/	12		0	0	
(12)	((0)	(0)		,,,		-	•		[+3] [/	∆1] [±0]	

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

1			
		年齢構成	
	定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時(上記 (B))の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
	65	0	0
	歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予	定科目	後任補充	5状況	就亻	壬辞退(未就	任)の理由			
			必修	00	概論	1							
1	教授	該当な	1.	**	◆◆基礎			のため就任辞退(27)					
		IS T		☆ ☆	演習	3							
	自由		×	××語									
2	准教授	教授 △△ △△ 必修 ▲▲実習		実習	3		のため就任辞退 (29))			
			必修	$\Diamond \Diamond$	◇◇特論								
		合計	(A)				i	後任補充状 況	lの集計(B)				
į	就任を辞	退した教員数	担当科目数の合	計 (a) + (b) + (c)	①の合計	十数(a)	②の合語	十数 (b)	③の合計	十数 (c)		
			必修	00	科目	必修	00 科目	必修	〇〇 科目	必修	00 科目		
				科目	選択	OO 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目			
	〇〇 人 自由		自由	00	科目	自由	OO 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目		
			計	00	科目	計	OO 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目		

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した<u>全ての専任教員</u>の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合,赤字にて記入するとともに, 「就任辞退 (未就任) の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定	2科目	後任補充	Σ状況			辞任等の	理由		
			心修	OO概	[論	1							
1	教授	該当な	l \square	◆◆基	礎	2		のため辞任 (27)					
				☆☆演	習	3							
			自由	××	吾	2							
2	准教授	$\triangle \triangle \triangle \triangle$	必修	▲▲実	▲▲実習					のため辞任 (29)			
			必修	◇◇特	◇◇特論		1						
		合計	(C)			後	任補充状況	の集計(D)					
	辞任し	した教員数	担当科目数の合	計 (a) + (b)	+ (c)	①の合言	计数(a)		②の合計	·数 (b)	③の合計	数 (c)	
			必修	00	科目	必修	00 1	科目	必修	〇〇 科目	必修	00 #	科目
	選択 〇〇 科目		科目	選択	00 1	科目	選択	〇〇 科目	選択	00 #	科目		
	00 Д		自由	00	科目	自由	00 1	科目	自由	〇〇 科目	自由	00 #	科目
			計	00	科目	計	00 1	科目	計	〇〇 科目	計	00 #	科目

- (注) · 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合,赤字にて記入するとともに,「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-①・(3)-② の合計

合計(A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)						
辞任等した教員数	①の合計	十数(a)	②の合計	十数 (b)	③の合計数 (c)					
-1.15.4	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	00	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	
該当なし	人 R	00	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	
00	自由	00	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	
	計	00	科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) · 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区	分	留	意	事	項	等	履	行	状	況	未履行事項について の実施計画
設	置時	該当なし									
(28	3 年 4 月)										
調	画履行状況 査 時 9年2月)	該当なし									
調	画履行状況 査 時]年2月)					改善意見					
調		・同一設置 既設学部等 ●●学科) と。	(00)学科	4、	〇〇意見					

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を(</u><u>)書き</u>で付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される<u>全ての報告書に</u> 記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

〈理工学研究科 生命科学専攻〉

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	=+ vi. 6. 1
	該当なし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

理工学研究科教育改善委員会

《関係規程等》

秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程

(趣旨)

第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する 事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育 改善委員会(以下「委員会」という。」)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。 (審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。
- (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。
- (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。
- (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。
- (5) FD活動の実施等に関すること。
- (6) その他教育改善に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名
- (2) その他研究科長が必要と認めた者

(任期)

第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。

- 2 委員長は,委員会を主宰する。
- 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。
- 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (委員以外の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。 (庶務)

第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。 (補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学部が存続する間、当該学部に適用する。

附則

この規程は、平成26年11月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科に適用する。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

4回開催(平成26年度実績)。8回開催(平成27年度実績)。6回開催(平成28年度実績)。 構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

- a 実施内容
 - (1) FD・SDシンポジウムの開催
 - (2) FDワークショップの開催
 - (3) 教員による授業評価
- b 実施方法
 - (1) FDシンポジウム:発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。(平成26年度実績) FD・SDシンポジウム:ルーブリック評価とeーラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびeーラーニングの事例紹介を行った。(平成28年度実績)・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。(平成28年度実績)
 - (2) FDワークショップ: 学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。 (平成26年度実績)・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。 (平成27年度実績)
 - (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。 (各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。)
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - (1) FDシンポジウム:平成26年9月18日(木) 参加者:36名

F D・S Dシンポジウム: 平成28年12月6日(火) 参加者: 40名 平成29年3月13日(月) 参加者: 52名

(2) FDワークショップ:平成26年12月12日(金) 参加者:33名 平成27年12月11日(金) 参加者:36名

- (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。(平成26年度実績) 平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。(平成27年度実績) 平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。(平成28年度実績)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回,大学院及び学部の全学生を対象に実施した。(平成26,27,28年度実績)

b 教員や学生への公開状況,方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。 引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - · 平成29年度以降
 - b 公表方法
 - ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
 - ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を 受けた。現在は次回(平成31年度予定)の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。
- (4) 情報公表に関する事項

〇 設置計画履行状況報告書		
a ホームページに公表の有無	(有 · 無)
b 公表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成29年7月1日公表予定)

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

- (2) 大 学 名 秋田大学
- (3) 大学の位置

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
	(ヤマモト フミオ)		
学 長	山本 文雄		
	(平成28年4月)		
	(ムラオカ ミキオ)		
研究科長	村岡 幹夫		
	(平成28年4月)		
	(ムラカミ ケンジ)		
専攻長	村上 賢治		
	(平成28年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - ()書きで記入してください。
 - (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27) 平成29年度に報告する内容 → (29)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(<u>修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合</u> には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等	学位又は学科の		設置時の記	十画	- 備 考
の名称(学位)	分野	修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 物質科学専攻 (博士前期課程) 修士(理工学)	理学関係 工学関係	2	42	84	基礎となる学部 等 理工学部 物質科学科

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を ()書きで記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

	報告年度	平成2	8年度	平成 2	9 年度	平成	年度	平均入学定員	備	考
区	分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超過率	VĦ	75
		42人	若干名	42人	若干名	人	/\			
Α	入学定員	(若干		(若干		(þ			
		[若干	-名]	[若干	F名]	[/]			
	志願者数	38	_ (_)	39	— (–)	()	,			
		[3]	[-]	[2]	[-]	[]	/[]			
	受験者数	37 (–) [3]	- (-) [-]	38 (–) [2]	— (–) [–]	()	()	0.79 倍		
	合格者数	34 (-) [3]	_ (_) [_]	38 (-) [2]	— (–) [–]	()	()			
ı	B 入学者数	31 (-) [3]	_ (_) [_]	36 (-) [2]	— (–) [–]	())	()			
7	学定員超過率 B/A	0. 7	73	0.	85					

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成28年	连度 平成 2	9 年度	平成	年度	備	考	
学年	春季入学 その他	車の学期 春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		75	
	31 -	- 36	_					
1 年次	[3] [-	-] [2]	[-]	[]	[/]			
	(-) (-	-) (-)	(-)		/			
		29	_	/				
2 年次		[3]	[-]	[/]	[]			
		(-)	(-)	(/)	()			
	31	6	5	/				
計	[3] [5]	<u> </u>]			
	(–) (-	-)	/ ()			

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数 を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で</u>記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退气	学者数(内訳)		主な退学理由	入学者数に 対する退学者数	
対象年度		2.13(4)	退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		の割合 (a/b)	
平成28年度	31 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	就職(2人)	6.45 %	
入学者	31 人	2 1	平成29年度	0 人	0 人		0.45 %	
平成29年度 入学者	36 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %	
合 計	67 人	2 人					2.98 %	

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 物質科学専攻>

(1) 授業科目表

科目	授業科目の名称	配当年次()表示のある科目はクォーター制で開講す		単位	拉数					専任教	女員等	手 <i>の</i>	配置	Ì		備考
区分)又来17日 0 7日初	る。 ()の数は開 講時期を表 す。	必修	必修選択		自	由	教			講	講師助教助		手	「MSEコース」は医理工連携 コースを意味する。	
	理工学デザイン	1後	1					2								兼8 担当者の変更(29)
	地域産業アントレプレナー論	1後	1													兼4 おムニハ・ス 担当者の変更(29)
	プレゼンテーション技法	1前		1	1											兼 1 担当者の変更(29)
	理工学英語I	1前		1												兼 1
	理工学英語Ⅱ	1後		1												兼 1 担当者の変更(29)
	理工学英語Ⅲ 理工学英語Ⅳ	2前 2後		-												兼 1 兼 1
	インターンシップI	随時		-				2								兼8 企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	インターンシップⅡ	随時		2	2			2								兼8 企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	技術者倫理特論	1前		2			_					_		-		兼 1
	科学技術倫理特論 リサイクルプロセス設計特論	1後		2								-				兼 1
							-1		\dashv			+		+		兼 1 集中
	宇宙科学特論	1前		1												^{兼 1} 担当者の変更(29)
	地震防災特論	1後		1	~~~~											兼 1
	地域防災学特論 古地震学特論	1前 1後		1 2	2									_		兼 1 兼 1
				<u> </u>								_				集由 サパフ
	地球資源成因論 	1(1)		1												* 4 担当者の変更(29)
	資源分離精製論	1通		1				_								兼 3 集中, オムニバス
共	資源化学・資源利用工学 リサイクルシステム設計論	1通 1通		-				2		1						兼 1 集中、オムニバス 兼 3 集中、オムニバス
	ウッイフルンステム設計	1通														兼 1
	自主プロジェクトⅡ	1通		2												兼 1
通	国際関係論	1(1)		1												兼 1 集中
	マーケティング論	1前		1								_				兼 1 MOTコース対象科目
科	ベンチャー起業論	1 (2)		1	ı											兼 1 集中 MOTコース必修 ** 。 集中 オムニバス
	資源・工業経済論 	1通		1	1											^{兼 2} MOT⊐-ス対象科目
目	リスクマネジメント	1 (2)		1	1											兼 1 集中 MOTコース対象科目
	技術戦略学 	1 (1)		1	1											兼 1 集中 MOTコ-ス対象科目
	財務・金融工学	1通		1	I											兼 5 <i>オムニバス</i> MOTコース必修
	知的財産論	1 (3)		1	1											集中 兼 1 M0Tコ-ス対象科目 MSEコース必修
	経営戦略論	1 (2)		1	1											兼 1 集中 MOTコ-ス対象科目
	企業行動論	1 (1)		1	1							_				兼 1 集中 MOTコース対象科目
	特許情報活用論	1前		1	I											兼 2 MOTコース対象科目 担当者の変更(29)
	理工学特論 I	1前		1				2	_			Ţ				兼 8 担当者の変更(29)
	理工学特論Ⅱ	1後		1	1			2				-		-		兼 8 担当者の変更(29)
	生命医理工学特論	1前		2	2			1		************************						兼14 #4ニバス 担当者の変更(29)
	医理工連携実践論	1 (2)		1	ı			1								兼7 集中,オムニパス MSEコース必修

	物質科学演習	2通	2		13 14	10 8	7 5			担当教員の追加等(28)
コース共	物質科学課題研究	1~2通	10		13 14	10 8	7 5			担当教員の追加等(28)
通	Introduction to Materials Science (物質科学概論)	1・2前	1						兼 1 兼 2	担当教員数の変更 (28) 担当者の変更 (29)
	分子機能材料特論	1・2前		2	1					
	有機資源化学特論 I	1 • 2(1)		1	1				***************************************	•
	有機資源化学特論 Ⅱ	1 • 2 (2)		1	 1					:
	移動現象論特論Ⅰ	1 • 2(1)		1	1	***************************************				
	移動現象論特論Ⅱ	1 • 2 (2)		1	1					後任選考中(28)
	エネルギー環境学特論Ⅰ	1 • 2(1)		1	1					X122:51 (20)
	エネルギー環境学特論Ⅱ	1 • 2 (2)		1	 1					
	ナノバイオテクノロジー特論	1・2前		2	 1					MSEコース対象科目
	物質システム化学特論	1・2前		2		1				
	有機金属化学特論	1・2前		2					兼 1	
	高分子機能学	1・2前		2			1		NN I	
応	界面化学特論 I	1 • 2 (3)		1	1		·			
用	界面化学特論Ⅱ	1 • 2 (4)		1	1					
化	分析化学特論 I	1 • 2 (3)		1					兼 1	
学	分析化学特論Ⅱ	1 • 2 (4)		1	 				兼 1	
	無機材料化学特論	1・2後		2		1			AK	
	##は何を行し子付調 化学プロセスデザイン学	1・2後		2		1				
^	無機素材解析特論	1・2後		2		'	1			
	無機系材解析符論 機能性高分子特論 I	1・2伎		1			1	-		
	機能性高分子特論 I	1 • 2 (3)		1			1			
		1・2後		2			1			
	電気化学特論	1・2伎					I			**************************************
	高温物理化学	1・2後		2		1				教育課程の充実を図るたる 科目を追加(28) 教育課程の充実を図るたる
	工業原料学特論	1・2後		2			1			教育課程の元美を図るだる 科目を追加(28) 教育課程の充実を図るたる
	エックス線応用科学	1・2前		2			1			教育課程の元美を図るだる 科目を追加(28) 教育課程の充実を図るたる
	分子認識化学 回折物理学	1·後 1·2前		2 2	1		1			教育課程の元美を図るため 科目を追加(29) MSEコース対象科目
	材料光科学I	1 • 2(1)		1	 1					moca /// 永14日
	材料光科学Ⅱ	1 • 2 (1)		1	1					
	分子計算材料学 [1 • 2(2)		1	'	1				<u></u>
	分子計算材料学Ⅱ 分子計算材料学Ⅱ	1 • 2(1)		1		1				<u> </u>
					 1	I				
	電子材料物理学Ⅰ	1 • 2(1)		1	 1					
	電子材料物理学Ⅱ セラミック材料科学Ⅰ	1 • 2 (2)		1	11	1			兼 1	
	セラミック材料科学Ⅱ	1 • 2 (2)		1	-	1			兼 1	
材	エネルギー材料化学Ⅰ	1 • 2(1)		1	 1					
	エネルギー材料化学Ⅱ	1 • 2 (2)		1	1					
料	表界面工学工	1 • 2(1)		1	1					
理	表界面工学工	1 • 2 (2)			1					
-	溶融加工学工	1 • 2 (3)		1	1					
エ	溶融加工学Ⅱ	1 • 2 (4)		1	 1					
	複合材料力学Ⅰ	1 • 2 (3)		1	 1	***************************************				
学	複合材料力学Ⅱ	1 • 2 (4)		1	1					<u>;</u>
J	無機材料設計学Ⅰ	1 • 2 (3)		1	1					
-	無機材料設計学Ⅱ	1 • 2 (4)		1	1					
I	材料強度物性学 I 材料強度物性学 II	1 • 2 (3)		1	1					
ス	材料組織設計学 I	1 • 2(3)		1		1			兼 1	分担科目
	材料組織設計学Ⅱ	1 • 2 (4)		1		1			兼 1	分担科目 ————————————————————————————————————
	表面改質学	1・2後		2		1				
	薄膜材料物性学	1・2後		2		1				
	分子エレクトロニクスI	1 • 2 (3)		1			1			
	分子エレクトロニクスⅡ	1 • 2 (4)		1			1			
	応用磁気学I	1. (1)		1			1			教育課程の充実を図るた 科目を追加(29)
		1. (2)			 					教育課程の充実を図るた

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは 赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任,兼担の教員が担当する授業科目については,備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- · 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

		設	置	時 0	計	画					変	更	状	況		備	考
必	修	選	択	自	由	i	計 (A)		必	修	選	択	自	由	計	VH	75
	科目		科目		科目			科目		科目		科目		科目	科目		
5	5	8	3		0		88			5	8	39		0	94		
									[±	0]	[+	-6]	[±	0]	[+6]		

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0	%
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	88	_	0	70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				容	ļ		備考
(1)		区	分		専	用	共	用		共用する 学校等の			計	
校		校舎	敷地	<u>t</u>		258, 144 m ²		0	m²		0	m²	258, 144 m	
TX		運動:	場用地			76, 253 m²		0	m²	0 m ²			76, 253 m	
地		小	計			334, 397 m²		0	m²	î		m [®]	334, 397 m	
等:		そ	の他			104, 058 m ²		0	m		0	m²	104, 058 m	
		合	計	•		438, 455 m ²		0	m²	# m - 7	0	m [*]	438, 455 m	
					専	用	共	用		共用する 学校等の			計	
(2) 校		É	È			132, 654 m ²		0	m		0	m [*]	132, 654 mf	
					(132,	654 m ²)	(0 m²)	(1	0 m³)	('	132, 654 m ²)	
				講	義室	演	室	実験領	と	情報が	<u>理学習</u>		語学学習施設	大学全体
(3) 教		室 等	争		99	室	130 室		543 室			4 室	室 6	
										(補助	職員 4		前助職員 1人)	
(4) 東	仁粉	員研究室	7			新設学部	等の名称			室				平成29年4月専任講師
(4/ 4	11.4%	S 017 (S	_		3	里工学研究科	物質科学	専攻			31 30		室	1名が新規担当
			図 書 学術雑誌							카를 맞추 레	16 次 44	機械・器具	· 標 本	
(5)	亲	新設学部 の名称		〔う	ち外国書〕	[うちタ	「書国本	電子ジー	ャーナル	- 視聴覚	見具科	茂	· 徐 本	
					m		種	種 〔うち外国			点		点点	
図書	理	工学研究	究科	443, 60	62 [115, 105] 9, 572 [2, 7		2, 715)	715) 6, 850 (5, 40		3, 07		6, 341	19, 370	大学全体での共用分を
· 設				(427, 3	82 [113, 216]) (9, 572 [(2, 715))	(6, 850	(5, 400))	, , ,			(19, 170)	含む
備		計		443, 60	62 [115, 105	9, 572 (2	2, 715)	6, 850 (5	5, 400]				19, 370	
				(427, 3	82 (113, 216)		(2, 715))		(5, 400))	(2, 8		(6, 341)	(19, 170)	
(6) 図	1	書食	Ê		面	積 —			を席数 		収		能 冊 数	大学全体
					6, 321			65		H O 7 -	ا س± ال	582, 5	37	大学全体
(7) 体	(7)体育館							陸上競技場	体育館以				Ь プ — и.	大学宝体
					分	開設年度	完成年月				前年度	開設年度		
(8)	経費 ——				— 千円	_ =		請入費		千円	- f			
経費の	見	積り			究 費 等	- 千円	_ =		購入費		千円			+
積り及維持方の概	法	学生1丿	出い	第	1 年次	第2年次	第	3 年次	第4年	∓ 次	第 5	年次	第6年次	†
OJ IM	の 概 要 学生1人当り 納付金				一 千円	_	千円						一 千円]
学生納付金以外の維持方法の概要														

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「($\frac{29}{}$)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋	田大	学						備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学 定 員	収 容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍			
≪ A C 対象学部等≫			人						
国際資源学部								秋田市手形学園町1番1号	
国際資源学科	4	120	_	480	学士 (資源学)	1.02	平成26		
教育文化学部								秋田市手形学園町1番1号	
学校教育課程	4	110	_	440	学士 (学校教育)	1.04	平成10		平成26年度入学定員 増(10人)
地域文化学科	4	100	_	400	学士	1.02	平成26		
地域科学課程	4	_	-	_	学士	_	平成10		
国際言語文化課程	4	_	-	_	学士 (国際言語 文化)	_	平成10		平成26年度より 学生募集停止
人間環境課程	4	-	-	_	学士	-	平成10		
医学部								秋田市本道一丁目1の1	
医学科	6	124	2年次 5	759	学士 (医学)	1.00	昭和45		平成27年度入学定員 増(2人)
保健学科	4	106	3年次 14	452	学士 (保健学) 学士 (看護学)	1.05	平成14		
理工学部								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学科	4	45		180	学士 (理学)	0.99	平成26		
物質科学科	4	110		440	学士(理工学)	1.02	平成26		
数理·電気電子 情報学科	4	120		480	学士(理学)	1.07	平成26		
システムデザイン 工学科 各学科共通	4	120	3年次	480 12	学士 (工学) 学士 (工学)	1.09	平成26		
			12						
工学資源学部					*			秋田市手形学園町1番1号	
地球資源学科	4	_	_	_	学士 (資源学) 学士	_	平成10		
環境応用化学科	4	_	_	_	(工学) 学士 (工学)	_	平成20		
生命化学科	4	-	_	_	学士 (工学)	_	平成20		
材料工学科	4	_	_	_	学士 (理学) 学士 (工学)	_	平成10		_ 平成26年度より 学生募集停止
情報工学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成10		
機械工学科	4	_	_	_	、エテ <i>/</i> 学士 (工学)	_	平成10		
電気電子工学科	4	_	-	_	、一, <i>/</i> 学士 (工学)	_	平成10		
土木環境工学科	4	_	_	_	、エテ <i>/</i> 学士 (工学)	_	平成10		
各学科共通			3年次 12	_	\ -				マ 平成28年度より 学生募集停止

大学院国際資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
資源地球科学専攻	2	17	_	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
					修士				
資源開発環境学専攻	2	23	_	46	(理学) 修士	0.71	平成28		
貝脲洲元垛圾于寻农	2	23		40	(資源学) 修士	0.71	十7,0,20		
					(工学)				
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	_	20	博士	0.65	平成28		
50,11,11,11,11					(資源学) 博士		, ,,,,==		
					(工学) 博士				
					(理学)				
大学院教育学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(修士課程)									
心理教育実践専攻	2	6	_	12	修士 (教育学)	1.08	平成28		
学校教育専攻	2	_	_	_	修士	_	平成元		h
教科教育専攻	2	_	_	_	(教育学) 修士		平成元		│ 平成28年度より 学生募集停止
教科教育等 及	2		_		(教育学)		一规儿		J
(専門職学位課程)									
教職実践専攻	2	20	_	40	教職修士	1.12	平成28		
37,137,132, 1, 2, 1					(専門職)		, ,,,,==		
大学院医学系研究科								秋田市本道一丁目1の1	
(修士課程)									
医科学専攻	2	5	_	10	修士 (医科学)	0.30	平成19		
(博士前期課程)					. .				
保健学専攻	2	12	_	24	修士 (看護学)	1.04	平成19		
					修士 (リハビリテー				
					ション科学)				
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	_	9	博士 (保健学)	1.11	平成21		
(博士課程)					+ # +				
医学専攻	4	30	_	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
								11-1	
大学院理工学研究科 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学専攻	2	15	_	30	修士	0.76	平成28		
					(理学) 修士				
物質科学専攻 数理·電気電子	2	42	_	84	(理工学)	0.79	平成28		
情報学専攻	2	45	_	90	(理学)	1.07	平成28		
					修士(工学)				
システムデザイン 工学専攻	2	36	_	72	修士 (工学)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	_	24	修士 (工学)	1.00	平成28		
					- '				

					Ī			i	, .
(博士後期課程)									
総合理工学専攻	3	10	_	20	博士 (理学) (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28		
大学院工学資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
地球資源学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	_	平成14		
					修士 (資源学)				
環境応用化学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成24		
生命科学専攻	2	_	_	_	修士 (理学)	_	平成24		
材料工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
情報工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
機械工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
電気電子工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
土木環境工学専攻	2	_	-	_	修士 (工学)	-	平成14		- 平成28年度より
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成24		学生募集停止
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	_	平成14		
					博士 (資源学)				
生命科学専攻	3	_	_	_	博士(理学)	_	平成26		
機能物質工学専攻	3	_	_	_	博士	_	平成14		
生産・建設工学専攻	3	_	_	_	博士	_	平成14		
電気電子情報 システム工学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	_	平成14		
									-

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 物質科学専攻(博士前期課程)>

(1) 担当教員表

		設	置 時 の 計	曲				変	更 状 %	5	
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 (年	名 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	寺境 光俊 ()	平成28年4月	医理工連携実践論 物質科学演習 物質科学課題研究 分子機能材料特論							
専	教授	村上 賢治 ()	平成28年4月	理工学・イン インタエア・デッシップ 理工学特論 I 理工学特論 I 理工学特論 I で 教育学 資源 類野 で 資料学 取面化学 教育科学 課題研 I 界面の化学 特特論 I 界動現象論特論 I 移動現象論特論 I							
専	教授	進藤 隆世志	平成28年4月	資源化学・資源利用工学物質科学演習物質科学課題研究 有機資源化学特論Ⅰ 有機資源化学特論Ⅱ							
専	教授	菅原 勝康 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 エネルギー環境学特論 I エネルギー環境学特論 II							
専	教授	後藤 猛	平成28年4月	生命医理工学特論 物質科学演習 物質科学課題研究 ナノバイオテクノロジー 特論							
専	教授	宗像健三	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 移動現象論特論 I 移動現象論特論 II			後任	未定			平成27年9月退職 担当教員減員(28) 平成27年9月退職 後任選考中(28)
専	教授	齋藤 嘉一 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 回析物理学 材料強度物性学 I							
専	教授	小玉 展宏	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 材料光工学 I 材料光工学 II							
専	教授	齊藤 準 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 電子材料物理学 I 電子材料物理学 II							
専	教授	田口 正美	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 エネルギー材料化学 I エネルギー材料化学 I							
専	教授	原 基 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ Ⅲ 理工学特論 I 理工学特論 Ⅱ	専	教授	麻生(平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更 (29)
				物質科学演習 物質科学課題研究 表界面工学 I 表界面工学 II							
専	教授	麻生 節夫	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 溶融加工学 I 溶融加工学 II							
専	教授	大口 健一	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 複合材料力学 I 複合材料力学 I 材料強度物性学 I							

専	教授	林 滋生	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 無機材料設計学 I 無機材料設計学 Ⅱ						
専	准教授	布田 潔 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 資源化学・資源利用工学 物質システム化学特論						
専	准教授	加藤 純雄	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 無機材料化学特論						
専	准教授	高橋 博	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 化学プロセスデザイン学						
専	准教授	菅原 透 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 高温物理化学						
専	准教授	佐藤 芳幸	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 分子計算材料学 I 分子計算材料学 II						
専	准教授	仁野 章弘 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 セラミック材料科学 I セラミック材料科学 II						
専	准教授	棗 千修 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 材料強度物性学 I 材料強度物性学 II						
専	准教授	福本 倫久	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 表面改質学						
専	准教授	吉村哲	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 薄膜材料物性学						
専	准教授	大川 浩一	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 電気化学特論						
専	講師	松本和也	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 機能性高分子特論 I 機能性高分子特論 Ⅱ						
専	講師	小笠原 正剛	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 無機素材解析特論						
専	講師	井上 幸彦	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 高分子機能学						
専	講師	長谷川 崇	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究	専	講師	長谷川 崇	平成29年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 応用磁気学 I 応用磁気学 I	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追 加(29)
専	講師	村上 英樹	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 工業原料学特論						
専	講師	福山 繭子 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 エックス線応用科学						
専	講師	辻内 裕 ()	平成28年4月	物質科学演習 物質科学課題研究 分子エレクトロニクス I 分子エレクトロニクス I						
					専	講師	山田 学	平成29年4月	分子認識化学	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追加(29)
兼担	教授	泰松 斉 ()	平成28年4月	セラミック材料科学 I セラミック材料科学 II						
兼担	教授	大笹 憲一	平成28年4月	材料組織設計学 I 材料組織設計学 II						
兼担	教授	岩田 吉弘	平成28年4月	分析化学特論 I 分析化学特論 Ⅱ						
兼担	准教授	清野 秀岳	平成28年4月	有機金属化学特論						
兼担	教授	尾高雅文()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I 生命医理工学特論						

兼担	教授	河上 肇	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	今野 和彦	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	兼担	教授	倉林 徹 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ Ⅲ 理工学特論 Ⅱ 理工学特論 Ⅲ	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	景山 陽一 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターン学特論 I 理工学特論 I 生命医理工学特論	兼担	教授	水戸部 一孝	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	奥山 栄樹	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	足立 高弘	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	濱岡 秀勝	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	中村雅英	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼任	講師	眞田 慎 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
兼担	寄附講 座准教 授	今野 道人	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論	兼任	講師	泰松 齊 ()	平成29年4月	地域産業アントレプレナー論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	村上信博	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
兼任	講師	星 則幸	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
兼任	講師	SIM Malcolm Shane ()	平成28年4月	プレゼンテーション技法	兼任	講師	ジ・ョー サイクス Joe SYKES ()	平成29年4月	プレゼンテーション技法	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼担	准教授	ABADZHIEVA EMILIYA ()	平成28年4月	理工学英語 I						
兼担	講師	SELIN PAVEL	平成28年4月	理工学英語Ⅲ						
兼担	准教授	GRAVE EWA MALGORZATA ()	平成28年4月	理工学英語 II Introduction to Materials Science (物質科学概論) 理工学英語IV	兼担	准教授	WATTERS EAMON PATRICK JOHN	平成28年10月	理工学英語II Introduction to Materials Science (物質科学概論)	平成28年10月 担当者の変更(29)
兼担	教授	銭谷 秋生	平成28年4月	技術者倫理特論 科学技術倫理特論						
兼担	寄附講 座准教 授	川村茂	平成28年4月	サイクルプロセス設計 特論						
兼任		和田豊()	平成28年4月	宇宙科学特論	兼任	講師	阿部 琢美	平成29年10月	宇宙科学特論	平成29年10月 担当者の変更(29)
兼担	教授	水田 敏彦 ()	平成28年4月	地震防災特論 地域防災学特論						
兼担	特任 准教 授	鎌滝 孝信	平成28年4月	古地震学特論						
兼担		石山 大三	平成28年4月	地球資源成因論						
兼担	教授	岩田 吉弘	平成28年4月	地球資源成因論						
兼担	教授	柴山 敦	平成28年4月	地球資源成因論 資源分離精製論						
						l .				

兼担	教授	水田 敏夫	平成28年4月	地球資源成因論	兼担	教授	渡辺(寧)	平成29年4月	地球資源成因論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	大和田 秀二	平成28年4月	資源分離精製論							
兼担	准教授	高崎 康志	平成28年4月	資源分離精製論							
兼任	講師	藤田 豊久	平成28年4月	資源化学・資源利用工学							
兼担	教授	三島望	平成28年4月	リサイクルシステム設計論							
兼担	教授	安達 毅	平成28年4月	リサイクルシステム設計論							
兼任	講師	中村 崇	平成28年4月	リサイクルシステム設計 論							
兼担	教授	神谷修	平成28年4月	自主プロジェクト I 自主プロジェクト II							
兼任	講師	細井 義孝	平成28年4月	国際関係論							
兼任	講師	長谷部 光重	平成28年4月	マーケティング論							
兼任	講師	佐藤 善友	平成28年4月	ベンチャー起業論							
兼任	講師	佐藤 博	平成28年4月	資源・工業経済論							
兼任	講師	桜井 若葉 ()	平成28年4月	資源・工業経済論							
兼任	講師	戸根谷 法雄	平成28年4月	リスクマネジメント							
兼任	講師	高橋 弘毅	平成28年4月	技術戦略学							
兼任	講師	水澤 春樹 ()	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	伊藤 秀範	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	佐藤 貴幸 ()	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	高橋 利典	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	豊島 洋之	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	森川 茂弘	平成28年4月	知的財産論							
兼任	講師	谷内 宏行	平成28年4月	経営戦略論							
兼任	講師	廣畑 伸雄 ()	平成28年4月	企業行動論							
兼担	准教授	角谷 浩 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 (平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼任	講師	田嶋 正夫	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤(博子)	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	藤原 憲秀	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	伊藤 英晃	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	涌井 秀樹 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論							

兼担	教授	久保田 広志	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	疋田 正喜 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	水戸部 一孝 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼担	教授	長縄 明大	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼担	教授	巌見 武裕	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	准教授	南條 博	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	三浦 昌朋	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	講師	藤島 直仁	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	橋本 学	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	廣川 誠	平成28年4月	生命医理工学特論	兼担	助教	面川歩	平成29年4月	生命医理工学特論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼担	教授	安藤 秀明	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	南谷 佳弘	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼担	理事	近藤 克幸	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	野堀潔	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	赤上 陽一 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						

- (注) 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、<u>「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢</u>を、<u>「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢</u>を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、 変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ <u>認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</u>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任 教員として授業等を<u>担当することは出来ません。</u>
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 () 書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時におけ る設置基準上の必 要研究指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準 上の必要教授数	完成年度時における設置基準上 の必要研究指導補助教員数
6	4	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件 (平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号) により 算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

	設	置明	寺の 計	画	現在	主(報告書	\$ 提出時)の状況		現在	(報告書提出時)の完成年	丰度時の計画	Ī
教 授	准教授	講館	市 助 教	計	教 授	准教授	講師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
14	8	5	0	27	13	10	8	0	31	13	10	8	0	31
(13)	(10)	(7)	(0)	(30)						[Δ1]	[+2]	[+3]	[±0]	[+4]
研究指導 員数	教 研究技 助教		講義のみ担 当の教員数		研究指導教員			講義のみ担 当の教員数		研究指導教員 数	研究指導補助 員数		のみ担当の 教員数	
17	1	0	0		23		8	0		23	8		0	/
(23)		7)	(0)		23			V		[+6]	[△2] [±0]	

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例:1名滅の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	t
定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教 員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号 :	職位	専任教	員氏名	必修・選択・自由の別	担当于	担当予定科目		状況		就任	£辞退	(未就	任)の理由			
					必修	物質科学演習		1									
1		教授	宗像	健三	必修	物質科学課題研究 移動現象論特論 I		1		777	- 平成27年9月21日付けで退職(死亡)したため(28)						
'		叙按	不够	建二	選択			3		- 十成21年9月21日刊17 C返戦(死亡) したため (20)							
					選択	移動現象論特論Ⅱ		3									
				合計	(A)					後	6任補充状況	の集計	(B)				
	就	任を辞	退した教	員数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数(a))	②の合計	十数(b))	③の合計	十数 (c)	
					必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
					選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	2	科目	
		1		人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
					計	4	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	2	科目	

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合,赤字にて記入するとともに, 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目		後任補充	状況			辞任	等の	理由				
			必修	〇〇概論		1										
1	教授	該当な	l R	◆◆基礎		2			••••	·····の	t め	辞任 (27)				
				☆☆演習		3										
			自由	××語		2										
2	准教授	$\triangle \triangle \triangle \triangle$	必修		▲▲実習					·····の	ため	辞任 (29)				
			必修	$\Diamond \Diamond$	◇◇特論											
		合計	(C)					後	经任補充状況	の集計	(D)					
	辞任	した教員数	担当科目数の合言	† (a) + (b) + (c)	①の合計	十数(a)		②の合計	数 (b)		③の合計	 数 (c)			
			必修	00	科目	必修	00	科目	必修	00	科目	必修	. 00	科目		
			選択	〇〇 科目		選択	00	科目	選択	00	科目	選択	00	科目		
	00	人	自由	〇〇 科目		自由	00	科目	自由	00	科目	自由	00	科目		
			計	OO 科目		計	00	科目	計	00	科目	計	00	科目		

- (注)・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合,赤字にて記入するとともに,「辞任等の理由」 に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-①・(3)-② の合計

		合計(A) + (C)	後任補充状況の集計 (B) + (D)										
	辞任等した教員	数	担当科目数の合	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)	②の合計	③の合計数 (c)				
Γ			必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	2	科目
	1	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	4	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	2	科目

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

宗像健三教授の辞任について、担当科目である「物質科学演習」「物質科学課題研究」については、分担科目で他の教員で担当可能である ため、履修等への影響はない。また、選択科目の「移動現象論特論Ⅰ」「移動現象論特論Ⅱ」については、後任選考中である。

学生に対しては、履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a·net」へ掲載することにより、充分な周知 を行った。

(注) · 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留意事項	等	履行状況	未履行事項について の実施計画
設置時	該当なし			
(28年4月)				
設置計画履行状況調 査 時 (29年2月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見		
調査時	・同一設置者が設置する 既設学部等(○○学科、 ●●学科)の~するこ と。	〇〇意見		

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を(</u><u>)書き</u>で付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される<u>全ての報告書に</u> 記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

〈理工学研究科 物質科学専攻〉

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計	画 変更内容	・状況,今後の見通しなど
	該当なし	
	B 1 '6 0	

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

理工学研究科教育改善委員会

《関係規程等》

秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程

(趣旨)

第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する 事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育 改善委員会(以下「委員会」という。」)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。 (審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。
- (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。
- (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。
- (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。
- (5) FD活動の実施等に関すること。 (6) その他教育改善に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名
- (2) その他研究科長が必要と認めた者

(任期)

第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を主宰する。
- 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。
- 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。 (議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (委員以外の出席)
- 第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。 (庶務) 第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。
- (補則) 第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は,工学資源学部が存続する間,当該学部に適用する。 附 則

この規程は、平成26年11月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科に適用する。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

4回開催(平成26年度実績)。8回開催(平成27年度実績)。6回開催(平成28年度実績)。 構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

- a 実施内容
 - (1) FD・SDシンポジウムの開催
 - (2) FDワークショップの開催
 - (3) 教員による授業評価
- b 実施方法
 - (1) FDシンポジウム: 発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。(平成26年度実績)

FD・SDシンポジウム:ルーブリック評価とe-ラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびe-ラーニングの事例紹介を行った。(平成28年度実績)・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。(平成28年度実績)

- (2) FDワークショップ: 学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。 (平成26年度実績)・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。 (平成27年度実績)
- (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。 (各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。)
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - (1) F D シンポジウム:平成26年9月18日(木) 参加者:36名 F D・S D シンポジウム:平成28年12月6日(火) 参加者:40名 平成29年3月13日(月) 参加者:52名
 - (2) F D ワークショップ: 平成26年12月12日 (金) 参加者: 33名 平成27年12月11日 (金) 参加者: 36名
 - (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。(平成26年度実績) 平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。(平成27年度実績) 平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。(平成28年度実績)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回,大学院及び学部の全学生を対象に実施した。(平成26,27,28年度実績)

b 教員や学生への公開状況,方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

- (注) · 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。 引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - · 平成29年度以降
 - b 公表方法
 - ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
 - ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を 受けた。現在は次回(平成31年度予定)の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。
- (4) 情報公表に関する事項

〇 設置計画履行状況報告書		
a ホームページに公表の有無	(有 · 無)
b 公表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成29年7月1日公表予定)

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

- (2) 大 学 名 **秋田大学**
- (3) 大学の位置

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
	(ヤマモト フミオ)		
学 長	山本 文雄		
	(平成28年4月)		
	(ムラオカ ミキオ)		
研究科長	村岡 幹夫		
	(平成28年4月)		
	(イマノ カズヒコ)	(クラバヤシ トオル)	
専攻長	今野 和彦	倉林 徹	専攻長交代(29)
	(平成28年4月)	(平成29年4月)	

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - () 書きで記入してください。
 - (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27) 平成29年度に報告する内容 → (29)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(<u>修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けて</u>ください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等	学位又は学科の		設置時の記	十画	- 備 考
の名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	収容定員	1
理工学研究科 数理·電気電子情報学専攻 (博士前期課程) 修士(理学) 修士(工学)	理学関係 工学関係	2	人 45	90	基礎となる学部 等 理工学部 数理・電気電子 情報学科

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を ()書きで記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

	報告年度	平成 2 8 年	丰度 平	成29年	度	平成	年度	/	平均入学定員	備	考
区	分	春季入学 その他	他の学期春季	を入学 その他	の学期	春季入学	その他の学	期	超 過 率	VĦ	75
		45人 若	干名	45人 若 ⁻	F名	人	/ \	,			
Α	入学定員	(若干名)		(若干名)		(þ				
		[若干名]]	[若干名]		[/]				
	志願者数	, ,	-)	49 — —) (—	-)	()	, ;)			
				1][-	-]	[]	[]	╝			
	受験者数	53 (—) ([2] [-)	49	- -) -]		())	1.07 倍		
	合格者数	52 (-) ([2] [-)	49 — —) (– 1] [–	, í	()	())			
ı	B 入学者数	49 (-) ([2] [1	47 – –) (– 1] [–	- -) -]	(/)	())			
7	学定員超過率 B/A	1. 11		1.04							

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成28年度	平成 2	9 年度	平成	年度	/ - 備 考
学年	春季入学 その他のき	期 春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
	49 1	49	1			
1 年次	[2] [1] [1]	[1]	[]	[/]	
	(-) (-	(2)	(-)		/	
		45	_	/		
2 年次		[2]	[-]	[/]	[]	
		(-)	(-)	(/)	()	
	50	9	5	/		
計	[3]	[.	4]	<u> </u>]	
	(–)	(2)	()	

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数 を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で</u>記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退气	学者数(内訳)		主な退学理由	入学者数に対する退学者	
対象年度	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	2.13	退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		の割合 (a/b)	
平成28年度	49 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	就職(2人)	4.08	%
入学者	49 人	2 人	平成29年度	0 人	0 人		4.06	70
平成29年度 入学者	47 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 '	%
合 計	96 人	2 人					2.08	%

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により 我が国の大学(大学院を含む。) 短期大学 高等専門学校 専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するため
 - により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻>

(1) 授業科目表

科目	授業科目の名称	配当年次()表示のある科目はクォー ケー制で開講す		į	単位	数					専任教	牧員	等	の	配置	İ			備考	
区分	221111	る。 ()の数は開 講時期を表 す。	必	修	選	択	自	由	教	授	准教授	講	Éř	斯 財	力 教	t B	助 寻		MSEコース」は医理工連携 コースを意味する。	
	理工学デザイン	1後	1						3									兼7	担当者の変更(29)	
	地域産業アントレプレナー論	1後	1															兼4	オムニバス 担当者の変更(29)	
	プレゼンテーション技法	1前			1											1		兼 1	担当者の変更(29)	
	理工学英語 I	1前			1											T		兼 1	:	
	理工学英語 Ⅱ	1後			1											T		兼 1	担当者の変更(29)	
	理工学英語Ⅲ	2前			1													兼 1		
	理工学英語Ⅳ	2後			1													兼 1		
	インターンシップ I	随時			1				3									兼 7	担当有の変更(29)	
	インターンシップ Ⅱ	随時			2				3									兼 7	企業等で実地研修 担当者の変更(29)	
	技術者倫理特論	1前			2							L		Ţ		Ţ		兼 1		
	科学技術倫理特論	1後			2											1		兼 1		
	リサイクルプロセス設計特論	1後			2	[[<u> </u>		<u> </u>		L		兼 1		
	宇宙科学特論	1前			2													兼 1	集中 担当者の変更(29)	
	地震防災特論	1後			2													兼 1		
	地域防災学特論	1前			2													兼 1		
	古地震学特論	1後			2											1		兼 1		
	地球資源成因論	1 (1)			1													兼 4	集中、オムニバス 担当者の変更(29)	
共	資源分離精製論	1通			1													兼 3	集中,オムニバス	
	資源化学・資源利用工学	1通			1													兼 4	集中,オムニバス	
	リサイクルシステム設計論	1通			1											_		兼 3	集中,オムニバス	
通	自主プロジェクトⅠ	1通			1											1		兼 1	-	
	自主プロジェクトⅡ	1通			2	_												兼 1	_ :	
	国際関係論	1(1)			1							ļ		_		4			集中 	
科	マーケティング論	1前			1											-		兼 1	MOTコース対象科目	
	ベンチャー起業論	1 (2)			1													兼 1	MOIコース必修	
目	資源・工業経済論 	1通			1													兼 2	集中 オムニバス MOTコース対象科目	
	リスクマネジメント	1 (2)			1													兼 1	MUIJ-A对家科日	
	技術戦略学	1 (1)			1													兼 1	MUIJ-A对家科日	
	財務・金融工学	1通			1													兼 5	オムニバス MOTコース必修	
	知的財産論	1 (3)			1													兼 1	集中 MOTコース対象科目 MSEコース必修	
	経営戦略論	1 (2)			1													兼 1	集中 MOTコ−ス対象科目	
	企業行動論	1 (1)			1													兼 1	集中 MOT⊐-ス対象科目	
	特許情報活用論	1前			1													兼 2	MOTコース対象科目 担当者の変更(29)	
	理工学特論 I	1前			1				3							T		兼 7	担当者の変更(29)	
	理工学特論Ⅱ	1後			1				3					Ι		T		兼 7	担当者の変更(29)	
	生命医理工学特論	1前			2				2									兼13	オムニバス 担当者の変更(29)	
	医理工連携実践論	1 (2)			1				1									兼 7	集中,オムニバス MSEコース必修	

į.	数理・電気電子情報学演習	2通	2			9 10	9 8	6 8			担当教員(昇任・退職 の変更(28) 担当教員減員(29)
ース共産	数理・電気電子情報学課題研究	1~2通	10			9 10	9 8	6 8			担当教員(昇任・退職 の変更(28) 担当教員減員(29)
通	Information and Communication Technologies for Community (情報通信技術と社会)	1・2前	1							兼 1 兼 2	担当教員数の変更(28)
	代数学特論 I	1 • 2(1)		1		1					
	代数学特論 Ⅱ	1 • 2(2)		1		1					
	代数学特論Ⅲ //***********************************	1 • 2(3)		1						兼 1	1
	代数学特論IV 代数学特論 V	1 • 2 (4)		1		1				兼 1	
	代数字符論 VI	1 • 2 (4)		1		1					
	代数子 14 im VI 幾何学特論 I	1 • 2(1)		1		'	1				
	幾何学特論 II	1 • 2(2)		1			1				
	幾何学特論 II	1 • 2(3)		1			-			兼 1	
	幾何学特論IV	1 - 2(4)	***************************************	1						兼 1	
	解析学特論 I	1 • 2(1)	***************************************	1		1					
	解析学特論Ⅱ	1 • 2(2)		1		1					
	解析学特論Ⅲ	1 • 2(1)		1						兼 1	
	解析学特論Ⅳ	1 • 2(3)		1		1					
	解析学特論 V	1 • 2(2)		1						兼 1	
1	解析学特論VI	1 • 2 (4)		1		1		.			
数	位相数学特論Ⅰ	1 • 2(1)		1				1			
理	位相数学特論Ⅱ	1 • 2 (2)	*****************	1		***************************************		1			
	位相数学特論Ⅲ 位相数学特論Ⅳ	1 • 2(3)		1			1				
科	世伯数字符論IV 離散数学特論 I	1 • 2(4)		1			l	1			
学	離散数字符論Ⅱ	1 • 2(1)		1				1			
'	統計数学特論I	1 • 2(3)		1				'		兼 1	
⊐	統計数学特論Ⅱ	1 • 2 (4)		1						兼 1	
1	情報数学特論 I	1 • 2(3)		1		1				N .	
'	情報数学特論 II	1 - 2(4)		1		1					
ス	計算数学特論 I	1 • 2(1)	***************************************	1		***************************************	1				
	計算数学特論Ⅱ	1 • 2(2)		1		1					
	計算機科学特論 I	1 • 2(1)		1						兼 1	
	計算機科学特論Ⅱ	1 • 2(2)		1						兼 1	
	凝縮系物理学 I	1 • 2(1)		1						兼 1	
	凝縮系物理学Ⅱ	1 • 2(2)		1						兼 1	
	凝縮系物理学Ⅲ	1 • 2(3)		1			1				
	凝縮系物理学Ⅳ 量子多体論 I	1 • 2(4)	***************************************	1		1	<u> </u>	-			
	量于多体論Ⅱ 量子多体論Ⅱ	1 • 2(1)		1		1		-			
	量子多体論Ⅲ	1 • 2(2)	***************************************	1				1			
	量子多体論IV	1 • 2 (4)		1				1			
	応用物性学	1・2前		2						兼 1	
	数学科教育法特論	1・2前			2					兼 1	
	計測工学特論 I	1 • 2(3)		1		1	1	1			担当者の変更等(29)
	計測工学特論Ⅱ	1 • 2 (4)		1		4	1	1			担当者の変更等(29)
	電気材料学特論I	1 • 2(1)		1			1				
電	電気材料学特論Ⅱ	1 • 2(2)		1			1				
	バイオ電磁気工学Ⅰ	1 • 2 (3)		1				1			MSEコース対象科目
気	バイオ電磁気工学Ⅱ	1 • 2 (4)		1				1			MSEコ-ス対象科目
電	電力工学特論Ⅰ	1 • 2(3)		1	<u> </u>					兼 1	-
	電力工学特論 I 電磁エネルギー変換工学	1 • 2 (4)		1 2						兼 1 兼 1	
子	電磁エイルキー変換工字 制御システム工学特論 I	1·2前 1·2(1)		1		-	1			ѫ Ӏ	
丁	制御システム工学特論Ⅱ	1 • 2(1)	I	1			1				
	電子ディスプレイ工学 I	1 • 2(2)		1			1				
学	電子ディスプレイ工学Ⅱ	1 • 2 (4)		1			1				
	光デバイス工学 I	1 • 2(1)		1				1			
-	光デバイス工学 II	1 • 2(2)	***************************************	1				1			
	電磁波工学特論 I	1 • 2(1)		1		1					<u> </u>
ス	電磁波工学特論Ⅱ	1 • 2(2)		1		1					
^ `	電子デバイス工学	1・2後		2		1					
	半導体デバイス工学特論 I	1 • 2 (3)		1			1				<u> </u>
	半導体デバイス工学特論Ⅱ	1 • 2 (4)		1			1				
	通信工学特論 I	1 • 2(1)		1			1		1		MSEコース対象科目

				 •					
	_	計測信号処理工学 I	1 • 2(3)	1			1		後任選考中(28)
	電気	計測信号処理工学Ⅱ	1 • 2(4)	1			1		後任選考中(28)
	電	音響エレクトロニクス特論 I	1 • 2(1)	1	1				
	予	音響エレクトロニクス特論Ⅱ	1 • 2(2)	1	1				
	I	圧電デバイス応用工学I	1 • 2(3)	1			1		
	学	圧電デバイス応用工学Ⅱ	1 • 2(4)	1			1		
	7	ディジタル信号処理工学 I	1 • 2(3)	1	1				
	ス	ディジタル信号処理工学Ⅱ	1 • 2 (4)	1	1				
		半導体評価工学	1 • 2	2				兼 1	
	人	感覚情報工学 I	1 • 2(1)	1	1				MSEコース対象科目
	間	感覚情報工学Ⅱ	1 • 2(2)	1	1				MSEコース対象科目
	情	バーチャルリアリティ学 I	2(1)	1	1				
	報工	バーチャルリアリティ学Ⅱ	2(2)	1	1				
	学	画像情報学I	1 • 2(1)	1	1				MSEコース対象科目
	_	画像情報学Ⅱ	1 • 2(2)	1	1				MSEコース対象科目
		リモートセンシング工学 I	2(1)	1	1				
専	ス	リモートセンシング工学Ⅱ	2(2)	1	1				
門		情報ネットワーク学特論I	1 • 2(3)	1		1			
科 目	人間	情報ネットワーク学特論Ⅱ	1 • 2 (4)	 1		1			
	情	論理設計特論 I	1 • 2(1)	1				兼 1	
	報工	論理設計特論Ⅱ	1 • 2(2)	1				兼 1	
	学コ	セキュリティシステム学 I	2(1)	1			1		
	-	セキュリティシステム学Ⅱ	2 (2)	1			1		
	ス	ソフトウェアシステム論	1-2前	2			1		教育課程の充実を図るた め科目を追加(29)

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で,前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し,「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	設置問	寺の 計 i	画		変 更	状 況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選 択	自由	計	1/用 行
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	119	1	125	5	120	1	126	
				[±0]	[+1]	[±0]	[+1]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計
 =
 0

 設置時の計画の授業科目数の計 (A)
 =
 125

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分		内容							備考						
(1)		区	分		専	J	用	共	用			ț用する ዾ校等の				計		
校		校舎	敷地	<u>t</u>		258	8, 144 m ²		() m²			0	m [®]		258	3, 144 m	
权		運動均	易用地	ı		76	6, 253 m [‡]		() m ²			0	m²		76	6, 253 m	
地		小	計			334	4, 397 m ²	î 0 m) m²	n 0 m		m²		334	1, 397 m		
等		そ(の他	ļ	104, 058				() m [*]			0	m ²	104, 058 m²			
3		合	計		438, 455				() m²				m²		438	3, 455 m	
					専	J	用	共	用			ŧ用する ዸ校等の				計		
(2) 校		2	ŝ			132	2, 654 m ²		() m [*]			0	m²		132	2, 654 m	
					(132	2, 654	m³)	(0 m ² .)	(0 m²)		(132	2, 654	m³)	
				講	義室		演習	室	実験	実習3	室	情報処	0.理学習	加設	語	学学習	施設	- 大学全体
(3) 教		室等	Ť		99	室		130 室		54	43 室			14 室			6 室	
								1		(補助	職員	4 人)		職員	1人)			
(4) 専	任教	員研究室	2		新設学部等の							<u>室</u> 数				-		
	理工学研究科 数理						情報学専攻				25			1	室			
(5)	亲	新設学部	等		図書 学術雑 (うち外国書) (うち外国書)								 資料	機械・器	具	標	本	
(5)		の名称		(5	5外国書』	₩	しつられ						点		点		点	
図				443 66	62 [115, 10	-	種 〔うち外[9,572〔2,715〕 6,850〔5,					3, 0		6, 34			. 370	-
書 •	理	工学研9	名科		82 [113, 216]		(9, 572 [2				-					, 170)	大学全体での共用分を 含む	
設備					62 [115, 10	_	9, 572 [2,		6, 850 [3, 0		6, 34			, 370	=
		計		(427, 3	82 [113, 216]		(9, 572 [-	(6, 850		-	(2, 8		(6, 34			, 170)	
					面		積		閲覧	座席	数		収	納可	能	 	数	大学全体
(6) 図		書館	Ŝ		6, 32	1 m²			6	52				582	. 537			-
(3) 4			-		面		積			体*	育館以	外のスポ	ポーツ施	設の概要				大学全体
(7) 体		育飲	3		7, 90	18 m ²		1	陸上競技場	, 野	球場,	多目的遺	運動場,	テニスコ	− ト,	プー	ル]
		経費	2	≖	分	開	設年度	完成年歷	ŧ Ø		分	開設前	前年度	開設年	度	完月	戓年度	
(8)			教員1人当り研究費等 一 千円 一 千円 図書		書購刀	費	-	千円	-	一 千円		- 千円 — 千円		- 千円]			
経費の積り及	び		共 同	研 3	究 費 等 一 千円 一 千円 設備		備購 <i>7</i>	費	_	千円	_	千円	-	- 千円				
維持方の 概		要学生1人当り ポーキ次 第2年次 第3年次				第4年	次	第	5年次		第6:	年次						
		納付	金		一 千円		- 1	円	- 千円		_	千円		一 千円	3	-	- 千円	
		学生約	内付金	以外の約	維持方法の	概要												

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「($\frac{29}{}$)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋								
 既設学部等の名称	修業年限	入 学定 員	編入学定員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員	開設年度	所 在 地	
	年	人	年次	人	18 111 7	超過率倍	十 及		
≪AC対象学部等≫	·		人						
国際資源学部								秋田市手形学園町1番1号	
国際資源学科	4	120	_	480	学士 (資源学)	1.02	平成26		
教育文化学部								秋田市手形学園町1番1号	
学校教育課程	4	110	_	440	学士 (学校教育)	1.04	平成10		平成26年度入学定員 増(10人)
地域文化学科	4	100	_	400	学士 (地域文化)	1.02	平成26		
地域科学課程	4	_	_	_	学士	_	平成10		
国際言語文化課程	4	_	_	_	学士 (国際言語 文化)	_	平成10		平成26年度より 学生募集停止
人間環境課程	4	_	_	_	学士	_	平成10		
医学部								秋田市本道一丁目1の1	
医学科	6	124	2年次 5	759	学士 (医学)	1.00	昭和45		平成27年度入学定員 増(2人)
保健学科	4	106	3年次 14	452	学士	1.05	平成14		
					学士 (看護学)				
理工学部								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学科	4	45		180	学士 (理学)	0.99	平成26		
物質科学科	4	110		440	学士 (理工学)	1.02	平成26		
数理·電気電子 情報学科	4	120		480	学士 (理学)	1.07	平成26		
					学士 (工学)				
システムデザイン 工学科	4	120		480	学士 (工学)	1.09	平成26		
各学科共通			3年次 12	12					
工学資源学部								秋田市手形学園町1番1号	
地球資源学科	4	_	_	_	学士 (資源学)	_	平成10		
					学士 (工学)				
環境応用化学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成20		
生命化学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成20		
					学士(理学)				 平成26年度より 学生募集停止
材料工学科	4	_	_	_	学士(工学)	_	平成10		子工券未停止
情報工学科	4	_	_	_	学士(工学)	_	平成10		
機械工学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成10		
電気電子工学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成10		
土木環境工学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成10		
各学科共通			3年次 12	_					平成28年度より 学生募集停止

	Ī	ı							
大学院国際資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
資源地球科学専攻	2	17	_	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
					修士(理学)				
資源開発環境学専攻	2	23	_	46	修士	0.71	平成28		
					(資源学) 修士		, ,,,,==		
					(工学)				
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	_	20	博士 (資源学)	0.65	平成28		
					博士				
					(工学) 博士				
					(理学)				
大学院教育学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(修士課程)									
心理教育実践専攻	2	6	_	12	修士 (教育学)	1.08	平成28		
学校教育専攻	2	-	_	_	修士 (教育学)	_	平成元		 平成28年度より
教科教育専攻	2	-	_	_	修士 (教育学)	_	平成元		学生募集停止
									_
(専門職学位課程)					***				
教職実践専攻	2	20	_	40	教職修士 (専門職)	1.12	平成28		
1 24 Bb C 24 T TH ch Ti									
大学院医学系研究科 (修士課程)								秋田市本道一丁目1の1	
医科学専攻	2	5	_	10	修士	0.30	平成19		
E11.42	-			10	(医科学)	0.00	1 /2010		
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	12	_	24	修士 (看護学)	1.04	平成19		
					修士 (リハピリテー				
					ション科学)				
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	_	9	博士 (保健学)	1.11	平成21		
					(ALE)				
(博士課程)					1-5-1				
医学専攻	4	30	_	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
1 34 ph 777 — W —									
大学院理工学研究科 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学専攻	2	15	_	30	修士	0.76	平成28		
物質科学専攻	2	42	_	84	(理学) 修士	0.79	平成28		
物員科字等以 数理·電気電子					(理工学) 修士				
情報学専攻	2	45	_	90	(理学)	1.07	平成28		
シュニノニュニン					(工学)				
システムデザイン 工学専攻	2	36	_	72	(工字)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	_	24	修士 (工学)	1.00	平成28		

(博士後期課程)									
総合理工学専攻	3	10	_	20	博士 (理学) 博士 (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28		
大学院工学資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
地球資源学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
					修士 (資源学)				
環境応用化学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成24		
生命科学専攻	2	_	_	_	修士 (理学)	_	平成24		
材料工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
情報工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
機械工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
電気電子工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
土木環境工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		- 平成28年度より
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	_	-	_	修士 (工学)	-	平成24		学生募集停止
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	_	_	-	博士 (工学)	_	平成14		
					博士 (資源学)				
生命科学専攻	3	_	_	_	博士 (理学)	_	平成26		
機能物質工学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	_	平成14		
生産・建設工学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	_	平成14		
電気電子情報 システム工学専攻	3	_	_	_	博士(工学)	_	平成14		
				l			l		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻(博士前期課程)>

(1) 担当教員表

		設	置時の計	 			変			
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	山村 明弘 ()	平成28年4月	数理·電気電子情報学演習 数理·電気電子情報学課題研究 代数学特論 I 代数学特論 V 代数学特論 V 代数学特論 V 情報数学特論 I 情報数学特論 I						
専	教授	河上 肇 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学課題研究 理工学デザインインターンシップI インターン学特論I 理工学特論I 理工学特論I 解析学特論I 解析学特論I 解析学特論I 解析学特論II 解析学特論I 解析学特論I						
専	教授	小野田 勝	平成28年4月	数理·電気電子情報学演習 数理·電気電子情報学課題研究 量子多体論 I 量子多体論 I						
専	教授	鈴木 雅史	平成28年4月	教理·電気電子情報学演習 数理·電気電子情報学課題研究 計測工学特論 I 計測工学特論 I	専	准教授 講師	KABIR MAHMUDUL ()	平成29年4月 平成28年10月	計測工学特論 I 計測工学特論 I	平成28年8月退職 担当教員減員 (29) 平成28年8月退職 (教員審查省略) 平成28年10月 担当者の変更 (29) 平成29年4月昇任 (29)
専	教授	堀口 誠二	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 電子デバイスエ学						
専	教授	倉林 徹	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 電磁波工学特論 I 電磁波工学特論 II						
専	教授	今野 和彦	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップI インターンシップI 理工学特論 I 理工学特論 I 数理・電気電子情報学演習	専	教授	倉林 徹 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更 (29)
				数理・電気電子情報学課題研究 音響エレクトロニクス特論 I 音響エレクトロニクス特論 Ⅱ						
専	教授	小原 仁 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 ディジタル信号処理工学 I ディジタル信号処理工学 II						
専	教授	水戸部 一孝 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 生命医理工学特論 医理工連携実践論 感覚情報工学 I 感覚情報工学 I バーチャルリアリティ学 I バーチャルリアリティ学 I						
				理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	専	教授	水戸部 一孝	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更 (29)
専	教授	景山陽一	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 生命医理工学特論 画像情報学 I 画像情報学 I リモートセンシング工学 I リモートセンシングエ学 I						

				1	1				Г	
専	准教授	小林 真人 ()	平成28年4月	数理·電気電子情報学演習 数理·電気電子情報学課題研究 位相数学特論Ⅲ 位相数学特論Ⅰ 幾何学特論Ⅰ 幾何学特論Ⅰ 計算数学特論Ⅰ						
専	准教授	田沼慶忠	平成28年4月	数理·電気電子情報学演習 数理·電気電子情報学課題研究 凝縮系物理学Ⅲ 凝縮系物理学Ⅳ						
専	准教授	熊谷 誠治	平成28年4月	数理·電気電子情報学演習 数理·電気電子情報学課題研究 電気材料学特論 I 電気材料学特論 II						
専	准教授	佐藤 祐一	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 半導体デバイス工学特論 I 半導体デバイス工学特論 I						
専	准教授	山口留美子	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 電子ディスプレイエ学Ⅰ 電子ディスプレイエ学Ⅱ						
専	准教授	河村 希典	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 光デバイスエ学 I 光デバイスエ学 I						
専	准教授	田中元志()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 通信工学特論 I 通信工学特論 I						
専	准教授	三浦 武	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 制御システム工学特論 I 制御システム工学特論 II						
専	准教授	橋本 仁 ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 情報ネットワーク学特論 I 情報ネットワーク学特論 II						
専	講師	FAZEKAS SZILARD ZSOLT ()	平成28年4月	数理·電気電子情報学演習 数理·電気電子情報学課題研究 離散数学特論 I 離散数学特論 I						
専	講師	中江 康晴	平成28年4月	数理·電気電子情報学演習 数理·電気電子情報学課題研究 位相数学特論 I 位相数学特論 I						
専	講師	三角樹弘	平成28年4月	数理·電気電子情報学演習 数理·電気電子情報学課題研究 量子多体論Ⅲ 量子多体論Ⅳ						
専	講師	KABIR MAHMUDUL ()	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 バイオ電磁気工学 I パイオ電磁気工学 I		准教授				(教員審査省略) 平成29年4月昇任(29)
専	講師	福田 誠	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 圧電デバイス応用工学 I 圧電デバイス応用工学 II						
		茶取 白掛		数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究						平成28年3月退職 担当教員減員(28)
専	講師	萱野 良樹 ()	平成28年4月	計測信号処理工学 I 計測信号処理工学 Ⅱ			後任未定			平成28年3月退職 後任選考中(28)
専	講師	石沢 千佳子	平成28年4月	数理・電気電子情報学演習 数理・電気電子情報学課題研究 セキュリティシステム学 I セキュリティシステム学 II						
					専	講師	藤原 克哉	平成29年4月	ソフトウェアシステム論	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科 目を追加(29)
兼担	教授	宇野力	平成28年4月	統計数学特論 I 統計数学特論 Ⅱ						
兼担	教授	林正彦()	平成28年4月	凝縮系物理学 I 凝縮系物理学 II						
兼担	教授	杜 威 ()	平成28年4月	数学科教育法特論						
兼担	教授	田島 克文	平成28年4月	電磁エネルギー変換工学	_					

兼担	准教授	大内 将也	平成28年4月	代数学特論Ⅲ 代数学特論Ⅳ						
兼担	准教授	佐々木 重雄	平成28年4月	計算機科学特論 I 計算機科学特論 Ⅱ						
兼担	准教授	山口 祥司 ()	平成28年4月	幾何学特論Ⅲ 幾何学特論Ⅳ						
兼担	准教授	原田 潤一	平成28年4月	┃ 解析学特論Ⅲ 解析学特論Ⅴ						
兼担	准教授	山口 邦彦	平成28年4月	応用物性学						
兼担	教授	佐藤 正志	平成28年4月	電力工学特論 I 電力工学特論 I						
兼担	准教授	横山洋之	平成28年4月	論理設計特論 I 論理設計特論 Ⅱ						
兼任	講師	丹野 剛紀	平成28年4月	半導体評価工学						
兼担	教授	尾髙 雅文	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップI インターンシップⅡ 理工学特論Ⅱ 理工学特論Ⅱ 生命医理工学特論						
兼担	教授	村上 賢治	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	原 基	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	兼担	教授	麻生 節夫	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	奥山 栄樹	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	足立 高弘	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	濱岡 秀勝	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップI インターンシップⅡ 理工学特論 I 理工学特論 Ⅱ						
兼担	教授	中村 雅英	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼任	講師	眞田 慎	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論						
兼担	寄附講 座准教 授	今野 道人	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論	兼任	講師	泰松 齊 ()	平成29年4月	地域産業アントレプレナー論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	村上信博	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論						
兼任	講師	星則幸()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論						
兼任	講師	SIM Malcolm Shane ()	平成28年4月	プレゼンテーション技法	兼任	講師	ŷ゚ョー サイクス Joe SYKES ()	平成29年4月	プレゼンテーション技法	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼担	准教授	ABADZHIEVA EMILIYA ()	平成28年4月	理工学英語 I						
兼担	講師	SELIN PAVEL	平成28年4月	理工学英語Ⅲ Information and Communication Technologies for Community (情報通信技術と社会)						

				理工学英語 II	*+1	准教授	WATTERS EAMON	平成28年10月	TO T ## # 55 T	平成28年10月
兼担	准教授	GRAVE EWA MALGORZATA ()	平成28年4月	理工学英語Ⅳ	来担	准教授	PATRICK JOHN	十成20年10月	理工学英語Ⅱ	担当者の変更(29)
兼担	教授	銭谷 秋生	平成28年4月	技術者倫理特論 科学技術倫理特論						
兼担	寄附講 座准教 授	川村 茂	平成28年4月	リサイクルプロセス設計特論						
兼任	講師	和田豊()	平成28年4月	宇宙科学特論	兼任	講師	阿部 琢美	平成29年10月	宇宙科学特論	平成29年10月 担当者の変更(29)
兼担	教授	水田 敏彦	平成28年4月	地震防災特論 地域防災学特論						
兼担	特任 准教 授	鎌滝 孝信	平成28年4月	古地震学特論						
兼担	教授	石山大三	平成28年4月	地球資源成因論						
兼担	教授	岩田 吉弘	平成28年4月	地球資源成因論						
兼担	教授	柴山 敦	平成28年4月	地球資源成因論 資源分離精製論						
兼担	教授	水田 敏夫	平成28年4月	地球資源成因論	兼担	教授	渡辺 寧 ()	平成29年4月	地球資源成因論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	大和田 秀二	平成28年4月	資源分離精製論						
兼担	准教授	高崎康志	平成28年4月	資源分離精製論						
兼担	教授	進藤 隆世志	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼担	教授	村上 賢治	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼担	准教授	布田 潔	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	講師	藤田 豊久	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼担	教授	三島望	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼担	教授	安達 毅	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼任	講師	中村 崇	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼担	教授	神谷 修	平成28年4月	自主プロジェクト I 自主プロジェクト II						
兼任	講師	細井 義孝	平成28年4月	国際関係論						
兼任	講師	長谷部 光重	平成28年4月	マーケティング論						
兼任	講師	佐藤 善友	平成28年4月	ベンチャー起業論						
兼任	講師	佐藤 博	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	桜井 若葉	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	戸根谷 法雄	平成28年4月	リスクマネジメント						
兼任	講師	高橋 弘毅	平成28年4月	技術戦略学						
兼任	講師	水澤 春樹	平成28年4月	財務・金融工学						
				I	11	63	I			1

兼任	講師	伊藤 秀範	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	佐藤 貴幸	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	高橋 利典	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	豊島 洋之	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	森川 茂弘 ()	平成28年4月	知的財産論						
兼任	講師	谷内 宏行 ()	平成28年4月	経営戦略論						
兼任	講師	廣畑 伸雄 ()	平成28年4月	企業行動論						
兼担	准教授	角谷 浩 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 昭彦 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	田嶋 正夫	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 博子 ()	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼担	教授	藤原 憲秀 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	伊藤 英晃 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	涌井 秀樹 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼担	教授	久保田 広志	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	疋田 正喜 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	後藤 猛 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	長縄 明大	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼担	教授	巌見 武裕 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	准教授	南條 博 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	三浦 昌朋	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	講師	藤島 直仁 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	橋本 学 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	廣川 誠 ()	平成28年4月	生命医理工学特論	兼担	助教	面川 歩	平成29年4月	生命医理工学特論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼担	教授	安藤 秀明	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	寺境 光俊 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼担	教授	南谷 佳弘	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼担	理事	近藤 克幸	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	野堀潔	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任		赤上陽一	平成28年4月	医理工連携実践論						

- (注)・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、<u>「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢</u>を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は, 変更後の状況を記入するとともに, その理由, 後任者が決まっていない場合は, 「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し, 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ <mark>認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</mark>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。 AC教員審査を受けずに専任 教員として授業等を<u>担当することは出来ません。</u>
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 () 書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時におけ る設置基準上の必 要研究指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準 上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の 必要研究指導補助教員数						
7	5	3						
名	名	名						

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件 (平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号) により 算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

	設	置	時	の計	画	現る	生(報告書	提出時)	の状	況		現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講	師	助教	計	教 授	准教授	講自	币助	力 教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	8	8		0	26	9	10	6		0	25	9	10	6	0	25
(10)	(9)	(6)		(0)	(25)							[<u>\</u> \(\) 1]	[+2]	[△2]	[±0]	[△1]
研究指導 員数		旨導補 員数		義のみ担 の教員数		研究指導教員数	研究指導教員数 研究指 教員		導補助 講義のみ担 強数 当の教員数			研究指導教員	研究指導物 教員数	補助 講	義のみ担 の教員数	
18		•		0		19	19 6					19 6			0	/
(19)	(((0)		10	· ·			Ĭ		[+1]	[△2] [±0]	/

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成											
定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延している 採用している 員数	完成年度時 (上記 (B)) の教員うち、定年を延長し て採用する教員数										
65	0	0										
歳	名	名										

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職位	専任教員	氏名	必修・選択・自由の別	担当-	予定科目	後任補充	状況		就任辞退(未就任)の理由								
					必修	数理・電気	電子情報学演習	1											
١,		講師	萱野 目	良樹	必修	数理・電気電子情報学課題研究		1			 平成28年3月31日付けで退職(一身上)したため				(20)				
1 '	1 高再 611		旦却了	又個	選択 計測信号処理工学 I			3			平成20年3月31日刊1)で返職(一身工)したため((20)			
					選択	計測信号													
	合計 (A)								往	6任補充状況	の集計	(B)							
	京	忧任を辞	退した教員	数	担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a	(a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c))					
					必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目			
	1		1 人		選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	2	科目			
					自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目			
					計	4	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	2	科目			

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合,赤字にて記入するとともに, 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況	辞任等の理由								
			必修	数理・電気	電子情報学演習	1										
4	教授	鈴木 雅史	必修	数理・電気電	子情報学課題研究	1		777	- - 平成28年8月15日付けで退職(死亡)したため(29)							
'	1 教授 動不 2		選択	計測工	.学特論 I	1		一 十成20年0月13日刊17 で返職(死亡) じたため					12 W)	(29)		
			選択	計測工	.学特論Ⅱ	1										
	合計 (C)						後任補充状況の集計(D)									
	辞任	した教員数	担当科目数の合語	計 (a) +	(p) + (c)	①の合計	十数 (a))	②の合計数 (b) ③の合計数 (c)				;)			
			必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
			選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
	1	λ.	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	. 0	科目		
			ā†	4	科目	計	4	科目	計	0	科目	計	0	科目		

- (注) · 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-①・(3)-② の合計

		合計(A	後任補充状況の集計 (B) + (D)											
	辞任等した教員	担当科目数の合詞	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)	②の合計	十数(b))	③の合計	†数(c	;)	
			必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	2		選択	4	科目	選択	2	科目	選択	0 科目 選択 2	科目			
		人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	8	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	2	科目

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

萱野良樹講師の辞任について、担当科目である「数理・電気電子情報学演習」「数理・電気電子情報学課題研究」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「計測信号処理工学Ⅰ」「計測信号処理工学Ⅱ」については、後任選考中である。

学生に対しては、履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a·net」へ掲載することにより、充分な周知 を行った。

鈴木雅史教授の辞任について,担当科目である「教理・電気電子情報学演習」「数理・電気電子情報学課題研究」については,分担科目で 他の教員で担当可能である。また,「計測工学特論Ⅰ」「計測工学特論Ⅱ」については,後任の教員(KABIR MAHMUDUL准教授)が担当して いるため,支障はない。

学生に対しては、履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a·net」へ掲載することにより、充分な周知 を行った。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

_

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を(</u><u>)書き</u>で付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される<u>全ての報告書に</u> 記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

〈理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻〉

(1) 設置計画変更事項等

設置時	の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
		該当なし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

理工学研究科教育改善委員会

《関係規程等》

秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程

(趣旨)

第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する 事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育 改善委員会(以下「委員会」という。」)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。 (審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。
- (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。
- (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。
- (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。
- (5) FD活動の実施等に関すること。 (6) その他教育改善に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名
- (2) その他研究科長が必要と認めた者

(任期)

第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を主宰する。
- 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。
- 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (委員以外の出席)
- 第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。 (庶務)
- 第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。 (補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附貝

- この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。
- 附 則 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学部が存続する間、当該学部に適用する。

附 則

この規程は、平成26年11月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は 平成28年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科に適用する。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

4回開催(平成26年度実績)。8回開催(平成27年度実績)。6回開催(平成28年度実績)。構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

- a 実施内容
 - (1) FD・SDシンポジウムの開催
 - (2) FDワークショップの開催
 - (3) 教員による授業評価
- b 実施方法
 - (1) FDシンポジウム:発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している 保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。(平成26年度実績)

FD・SDシンポジウム:ルーブリック評価とe-ラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびe-ラーニングの事例紹介を行った。(平成28年度実績)・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。(平成28年度実績)

- (2) FDワークショップ: 学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。 (平成26年度実績)・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。 (平成27年度実績)
- (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。 (各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。)
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - (1) F D シンポジウム:平成26年9月18日(木) 参加者:36名 F D・S D シンポジウム:平成28年12月6日(火) 参加者:40名 平成29年3月13日(月) 参加者:52名
 - (2) F D ワークショップ: 平成26年12月12日 (金) 参加者: 33名 平成27年12月11日 (金) 参加者: 36名
 - (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。(平成26年度実績) 平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。(平成27年度実績) 平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。(平成28年度実績)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回,大学院及び学部の全学生を対象に実施した。(平成26,27,28年度実績)

b 教員や学生への公開状況,方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

- (注) · 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。 引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - · 平成29年度以降
 - b 公表方法
 - ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
 - ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を 受けた。現在は次回(平成31年度予定)の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。
- (4) 情報公表に関する事項

〇 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無 (有	· 無)
b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成29	年7月1日公表予定)

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

- (2) 大 学 名 **秋田大学**
- (3) 大学の位置

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変	更	状	況	備考
	(ヤマモト フミオ)					
学 長	山本 文雄					
	(平成28年4月)					
	(ムラオカ ミキオ)					
研究科長	村岡 幹夫					
	(平成28年4月)					
	(オクヤマ エイキ)					
専攻長	奥山 栄樹					
	(平成28年4月)					

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - ()書きで記入してください。
 - (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27) 平成29年度に報告する内容 → (29)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(<u>修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けて</u>ください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等	学位又は学科の		設置時の計画	備考	
の名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	収容定員	1佣 右
理工学研究科 システムデザイン工学専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	工学関係	2	36	72	基礎となる学部等 理工学部 システムデザイン 工学科

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

	報告年度	平成 2	8年度	平成 2	9 年度	平成	年度	平均入学定員	備	考
区	分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	VĦ	73
		36人	若干名	36人	若干名	人	/ \			
Α	入学定員		干名)		F名)	(<i>\bar{b}</i>			
			干名]	L若-	F名]	L	_ /]			
	志願者数	39	1 (-)	41	— (–)	()	,			
		[1]	[-]	[5]	[-]	[]	V ()			
		39	1	39	_					
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(/	()	0 07 /+		
		[1]	[-]	[5]	[-]	[]	[]	0.97 倍		
		38	1	35	_	- /				
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(/)	()			
		[1]	[-]	[3]	[-]	[/]	[]			
		35	1	34	_					
E	B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(/)	()			
		[-]	[-]	[2]	[-]	[]	[]			
ノ	学定員超過率 B/A		1	0.	94					

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**して ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成 2	8年度	平成 2	9 年度	平成	年度	備	考
学 年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		75
	35	1	35	1				
1 年次	[0]	[0]	[2]	[0]	[]	[/]		
	(-)	(-)	(1)	(-)				
			34	_	/			
2 年次			[0]	[-]	[]	[]		
			(-)	(-)	(/)	()		
	3	6	7	0				
計	[0]	[2]	<u></u>]		
	(-	-)	(1)	()		

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数 を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で</u>記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退气	学者数(内訳)		主な退学理由	入学者数に 対する退学者数
対象年度			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		の割合 (a/b)
平成28年度	35 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
入学者	35 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %
平成29年度 入学者	34 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %
合 計	69 人	0 人					0 %

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 システムデザイン工学専攻>

(1) 授業科目表

科目	授業科目の名称	配当年次 ()表示のある 科目はなった		単位数	τ		専任教	数員等	の配置		備考
区分	20012020	で開講する。 ()の数は開講 時期を表す。	必修	選択	自由	教 授	准教授	講師	助教	助手	「MSEコース」は医理工連携 コースを意味する。
	理工学デザイン	1後	1			3					兼7 担当者の変更(29)
	地域産業アントレプレナー論	1後	1								兼4
	プレゼンテーション技法	1前		1							兼 1 担当者の変更(29)
	理工学英語 I	1前		1							兼 1
	理工学英語Ⅱ	1後		1							兼 1 担当者の変更(29)
	理工学英語皿	2前		1							兼 1 :
	理工学英語Ⅳ インターンシップ I	2後 随時		1		3					兼 1
		随時		2		3					世当者の変更 (29) ・ 企業等で実地研修
	技術者倫理特論	1前		2							推り担当者の変更(29)兼 1
	科学技術倫理特論	1後		2							兼 1
	リサイクルプロセス設計特論	1後		2							兼 1
	宇宙科学特論	1前		2							兼 1 集中 担当者の変更(29)
	地震防災特論	1後		2							兼 1
	地域防災学特論	1前		2							兼 1
	古地震学特論	1後		2							兼 1
	地球資源成因論	1 (1)		1							兼 4 集中、オムニバス 担当者の変更(29)
共	資源分離精製論	1通		1							兼 3 集中,オムニバス
	資源化学・資源利用工学	1通		1							兼 4 集中,オムニバス
	リサイクルシステム設計論	1通	*****************	1							兼 3 集中,オムニバス
通	自主プロジェクトⅠ	1通		1		1					
	自主プロジェクトⅡ	1通		2		1					
	国際関係論	1(1)		1							兼 1 集中
科	マーケティング論	1前		1							兼 1 MOTコース対象科目
	ベンチャー起業論	1 (2)		1							兼 1 集中 MOTコース必修
目	資源・工業経済論	1通		1							兼 2 集中 オムニバス MOTコース対象科目
	リスクマネジメント	1 (2)		1							兼 1 集中 MOTコ-ス対象科目
	技術戦略学	1 (1)		1							兼 1 集中 MOTコ-ス対象科目
	財務・金融工学	1通		1							兼 5 ガニバス MOTコース必修
	知的財産論	1 (3)		1							集中 兼 1 MOTコ-ス対象科目
											M S E コース必修 # 4 集中
	経営戦略論	1 (2)		1							兼 1 MOTコース対象科目 集中
	企業行動論	1 (1)	***************	1	••••••	***************************************	***************************************			***************************************	兼 I MOTコース対象科目
	特許情報活用論	1前		1							兼 2 MOTコース対象科目 担当者の変更 (29)
	理工学特論 [1前		1		3					兼 7 担当者の変更(29)
	理工学特論Ⅱ	1後		1		3					兼 7 担当者の変更(29)
	生命医理工学特論	1前		2		2					兼13 おムニハ・ス 担当者の変更(29)
	医理工連携実践論	1 (2)		1		1					兼7 集中,オムニバス MSEコース必修
<u></u> 13	システムデザイン工学演習	2通	2			12 13	8	5 4			担当教員(退職・採 用)の変更(28) 担当教員減員等(29)
専門科目	システムデザイン工学課題研究	1~2通	10			12 13	8 9	5 4			担当教員(退職・採 用)の変更(28) 担当教員減員等(29)

	乪	Introduction to Systems							***************************************	1	
		Design Engineering (システムデザイン工学概論)	1・2前	1						兼 1 兼 2	担当教員数の変更(28)
		固体力学特論	1・2前		2	1					
		ナノテクノロジー特論	1 • 2 (2)		2	1					
		超精密設計特論	1 • 2(1)		2	 1					
		応用電気磁気学特論	1 • 2(1)		2	 	1				
		システムデザイン特論	1・2後		2	 	1				- HOLI ANISATE -
		表面構造評価学	1 • 2 (3)		2		1				
		衣山悟垣計画子	1 - 2 (3)				1				40 M #L 9 N THU - 1, 11
	機械	機能性表面工学特論	1 • 2 (3)		2	 	1				担当教員退職により 後任公募予定(29)
		熱流体エネルギー移動・変換工学	1・2後		2	1					教育課程の充実を図る ため科目を追加(29)
	子	自然対流伝熱特論 I	1 • 2(3)		1	1					
	Ī	自然対流伝熱特論Ⅱ	1 • 2 (4)		1	1					
	ス	実験流体力学特論	1・2前		2	1					後任選考中(28)
		数值熱流体力学	1 • 2(1)		2		1				
		気体分子運動論	1・2後		2			1			
		制御工学特論	1・2前		2	1					
		バイオメカニクス特論	1・2前		2	1					
専		アクチュエータ工学特論 I	1 • 2(1)		1		1				
-17		アクチュエータエ学特論Ⅱ	1 • 2(2)		1		1				
		電子制御機械工学特論	1・2後		2			1			
		流体力学特論	1 • 2(1)		1	1					•
門		伝熱工学特論	1 • 2 (2)		1	1				-	
		機械力学特論	1・2前		2	 				兼 1	
科	創造	振動制御工学特論	1・2前		2	1		1		NIK 1	後任選考中(28) 担当者の変更(29)
	生	機械材料工学特論Ⅰ	1 • 2(3)		1	1					12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	産	機械材料工学特論Ⅱ	1 • 2 (4)		1	1				-	
	工	マイクロ加工学特論	1・2前		2	 ·····				兼 1	
目	学コ	くイクロ加工子特冊	1 2 111			 				- AK	NOC- 2446410
		計測システム工学特論 I	1 • 2(3)		1			1			MSEコース対象科目 担当教員退職により 後任公募予定(29)
		計測システム工学特論Ⅱ	1 • 2 (4)		1			1			MSEコース対象科目 担当教員退職により 後任公募予定(29)
		生物流体工学特論	1・後		2	1					教育課程の充実を図る ため科目を追加(29)
		構造力学特論	1・2前		2	1					MSEコ-ス対象科目
	土木	木構造工学	1・2後		2			1			教育課程の充実を図る ため科目を追加(28)
	環		1・2前	***************************************	2	 1					
	境	水防災工学特論	1・2後		2	 		1			
	工	土質工学特論	1・2前		2		1			1	<u> </u>
	学コ	<u> </u>	1・2前		2	1				1	
	Ιī	都市システム計画特論	1・2前		2	 	1			-	MSEコース対象科目
	ス	材料設計学特論	1・2前		2	1	<u>'</u>			-	
		構造設計学特論	1・2後		2	'		1			
		悔 但取 计 子付跚	Ⅰ * ∠1夜								<u> </u>

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可 以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、 赤字で見え消し修正をしてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	設置	時 の 計	画		変 更	状 況		備	考
必修	選択	由自	計 (A)	必修	選択	由自	計	VHI	75
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
5	69	0	74	5	72	0	77		
				[±0]	[+3]	[±0]	[+3]		

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1 科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計
 =
 0
 =
 0
 %

 設置時の計画の授業科目数の計 (A)
 74
 =
 0
 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内					容				備考
(1)		区	分		専	用	#	用			用する !校等の			計		
+*		校舎	敷地	<u>b</u>		258, 144 n	า๋		0 m²			0 r	า๋	258, 144	m [‡]	
校		運動	場用地	ļ		76, 253 n	า๋		0 m²			0 r	า๋	76, 253	m³	
地		小	計			334, 397 n	ที่ 0 ที่		0 m²			0 r	า๋	334, 397	m²	
等		そ	の他	ļ.		104, 058 n	า๋		0 m ²			0 r	า๋	104, 058	mi	
J		合	計			438, 455 n	า๋		0 m ^e			0 r	า๋	438, 455	m³	
					専	用	#	用			用する !校等の			計		
(2) 校		ŧ	舎			132, 654 n	า๋		0 m ^e			0 r	า๋	132, 654	m³	
				ı	(132	, 654 m ³)	(0 m²)	(0 m²)	(132, 654 m³)			
				誹	義室	演	習室	実験	実習室		情報如	1.理学習加理学習加速	正 設	語学学習施設		大学全体
(3) 教		室	等		99	室	130 🗵	쿹	543	室		14	室	6	室	
											(補助	職員 4		捕助職員 1人	()	
(4) 専	任教	員研究	室		理工学	新設学i 研究科 シス	部等の名称 テムデザィ	ン工学専攻	:	室 24 26		娄	数 ————————————————————————————————————		平成29年3月専任准教授 1名及び専任講師1名 退職(29)	
				[図 書	学	 析雑誌		<u> </u>							
(5)	¥	新設学部 の名称		(う	ち外国書〕	〔うち	外国書〕	電子ジ	ャーナル	L	視聴覚	資料	機械・器具	具 標 ス	Z.	
						m	ŧ	重 〔うち	外国書〕]書〕		点		点	点	
図	100		₩ £1	443, 6	62 [115, 10	9, 572 ([2, 715]	6, 850 (5, 400)	00] 3, 071 6		6, 341	19, 370)	大学全体での共用分を	
書 • 設	埋	工学研	究科	(427, 3	82 [113, 216]) (9, 572	[2, 715])	(6, 850	(5, 400)))	(2, 8	93)	03) (6, 341)))	含む
備		÷T.		443, 6	62 [115, 10	9, 572 [[2, 715]	6, 850 [5, 400)		3, 0	71	6, 341	19, 370)	
		計		(427, 3	82 (113, 216)) (9, 572	[2, 715])	(6, 850	(5, 400)))	(2, 8	93)	(6, 341)	(19, 170))	
(6) 図		書館	館		面	積		閲覧	座席数	汝		収	納可	能 冊 数		大学全体
(0) 🗷		<u> </u>			6, 32	1 m ²		6	52				582, 5	537		
(7) 体		育(館		面	積			体育館	館以タ	トのス ォ	ポーツ施設	の概要			大学全体
					7, 90	8 m ²		陸上競技場,里			多目的選	動場, ラ	ニスコー	ト,プール		
		経費	[<u>x</u>	分	開設年度	完成年	完成年度 区			開設前	年度	開設年度	完成年月	Ę	
(8) 経費の		の見 積り	教員 1	人当り	研究費等	- ∓ F	-	一 千円 図書購			_	千円	- 1	- 千円 - 千円		
経費の 積り及 維持方	なび	;	共 同	研:	究 費 等	— 1 P	1 -	一 千円 設備購力			_	千円	ı	円 - =	一円	
		学生 1 <i>。</i> 納付		第	1年次	第2年次		第3年次			第 4 年次 第 5 年次 第 6 年次					
					一 千円		千円	一 一 千円			- fm - fm - fm				一円	
		学生	納付金	以外の	維持方法の権	既要										

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「($\frac{29}{2}$)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋	田大	学						
 既設学部等の名称	修業年限	入 学定 員	編入学定員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員	開設年度	所 在 地	
	年	人	年次	人	18 111 7	超過率倍	十 及		
≪AC対象学部等≫	·		人						
国際資源学部								秋田市手形学園町1番1号	
国際資源学科	4	120	_	480	学士 (資源学)	1.02	平成26		
教育文化学部								秋田市手形学園町1番1号	
学校教育課程	4	110	_	440	学士 (学校教育)	1.04	平成10		平成26年度入学定員 増(10人)
地域文化学科	4	100	_	400	学士 (地域文化)	1.02	平成26		
地域科学課程	4	_	_	_	学士	_	平成10		
国際言語文化課程	4	_	_	_	学士 (国際言語 文化)	_	平成10		平成26年度より 学生募集停止
人間環境課程	4	_	_	_	学士	_	平成10		
医学部								秋田市本道一丁目1の1	
医学科	6	124	2年次 5	759	学士 (医学)	1.00	昭和45		平成27年度入学定員 増(2人)
保健学科	4	106	3年次 14	452	学士	1.05	平成14		
					学士 (看護学)				
理工学部								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学科	4	45		180	学士 (理学)	0.99	平成26		
物質科学科	4	110		440	学士 (理工学)	1.02	平成26		
数理·電気電子 情報学科	4	120		480	学士 (理学)	1.07	平成26		
					学士 (工学)				
システムデザイン 工学科	4	120		480	学士 (工学)	1.09	平成26		
各学科共通			3年次 12	12					
工学資源学部								秋田市手形学園町1番1号	
地球資源学科	4	_	_	_	学士 (資源学)	_	平成10		
					学士 (工学)				
環境応用化学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成20		
生命化学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成20		
					学士(理学)				 平成26年度より 学生募集停止
材料工学科	4	_	_	_	学士(工学)	_	平成10		子工券未停止
情報工学科	4	_	_	_	学士(工学)	_	平成10		
機械工学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成10		
電気電子工学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成10		
土木環境工学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成10		
各学科共通			3年次 12	_					平成28年度より 学生募集停止

	Ī	ı							
大学院国際資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
資源地球科学専攻	2	17	_	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
					修士(理学)				
資源開発環境学専攻	2	23	_	46	修士	0.71	平成28		
					(資源学) 修士		, ,,,,==		
					(工学)				
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	_	20	博士 (資源学)	0.65	平成28		
					博士				
					(工学) 博士				
					(理学)				
大学院教育学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(修士課程)									
心理教育実践専攻	2	6	_	12	修士 (教育学)	1.08	平成28		
学校教育専攻	2	-	_	_	修士 (教育学)	_	平成元		 平成28年度より
教科教育専攻	2	-	_	_	修士 (教育学)	_	平成元		学生募集停止
									_
(専門職学位課程)					***				
教職実践専攻	2	20	_	40	教職修士 (専門職)	1.12	平成28		
1 24 Bb C 24 T TH ch Ti									
大学院医学系研究科 (修士課程)								秋田市本道一丁目1の1	
医科学専攻	2	5	_	10	修士	0.30	平成19		
E11.42	-			10	(医科学)	0.00	1 /2010		
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	12	_	24	修士 (看護学)	1.04	平成19		
					修士 (リハピリテー				
					ション科学)				
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	_	9	博士 (保健学)	1.11	平成21		
					(ALE)				
(博士課程)					1-15-1				
医学専攻	4	30	_	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
1 34 ph 777 — W —									
大学院理工学研究科 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学専攻	2	15	_	30	修士	0.76	平成28		
物質科学専攻	2	42	_	84	(理学) 修士	0.79	平成28		
物員科字等以 数理·電気電子					(理工学) 修士				
情報学専攻	2	45	_	90	(理学)	1.07	平成28		
シュニノニュニン					(工学)				
システムデザイン 工学専攻	2	36	_	72	(工字)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	_	24	修士 (工学)	1.00	平成28		
 									

					Ī			i	, .
(博士後期課程)									
総合理工学専攻	3	10	_	20	博士 (理学) (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28		
大学院工学資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
地球資源学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	_	平成14		
					修士 (資源学)				
環境応用化学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成24		
生命科学専攻	2	_	_	_	修士 (理学)	_	平成24		
材料工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
情報工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
機械工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
電気電子工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
土木環境工学専攻	2	_	-	_	修士 (工学)	-	平成14		- 平成28年度より
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成24		学生募集停止
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	_	平成14		
					博士 (資源学)				
生命科学専攻	3	_	_	_	博士(理学)	_	平成26		
機能物質工学専攻	3	_	_	_	博士	_	平成14		
生産・建設工学専攻	3	_	_	_	博士	_	平成14		
電気電子情報 システム工学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	_	平成14		
									-

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 システムデザイン工学専攻(博士前期課程)>

(1) 担当教員表

		設置	時の計	画			3	Ę	更 状 況		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 <i>4</i> (年 齢		就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	渋谷 嗣 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 固体力学特論							
専	教授	村岡幹夫	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 ナノテクノロジー特論							
専	教授	奥山 栄樹 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習・イン工学 課題研究・ 理工学デザインプリー マンターンキ論「 理工学特論」 理工学特論」 超精密設計特論							
専	教授	田子真()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 自然対流伝熱特論 I 自然対流伝熱特論 II							
専	教授	長谷川裕晃	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 実験流体力学特論			後任未気	È			平成27年8月退職 担当教員減員(28) 平成27年8月退職
専	教授	長縄明大	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 生命医理工学特論 医理工連携実践論 制御工学特論							後任選考中(28)
専	教授	巌見 武裕	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 生命医理工学特論 バイオメカニクス特論							
専	教授	足立 高弘 ()	平成28年4月	理工学デザインイプリエインターデーシャン 編工工学学・サンシー 理工工学特計 エシステム 演デザイン 工学 システム 実担 野田 学・サック 大学	専	教授	足立 高 ()	弘	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップI インターンシップI 理工学特論I システムデザインン 研究 流体力学特論 生物流体工学特論 生物流体工学特論	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追 加(29)
専	教授	神谷 修 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 機械材料工学特論 I 機械材料工学特論 Ⅱ							
専	教授	後藤 文彦	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 構造力学特論							

				1				1		
専	教授	松富 英夫	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 水理学特論						
専	教授	濱岡 秀勝	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 交通システム計画特論						
専	教授	德重 英信 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 材料設計学特論						
専	准教授	山本良之	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 応用電気磁気学特論						
専	准教授	宮野 泰征 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 システムデザイン特論						
専	准教授	山口 誠 ()	平成28年4月	システムデザインエ学 演習 システムデザインエ学 課題研究 表面構造評価学						
専	准教授	野老山 貴行	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 機能性表面工学特論			後任未定			平成29年3月退職 担当教員減員 (29) 平成29年3月退職 後任公募予定(29)
専	准教授	小松喜美	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 数値熱流体力学						
專	准教授	佐々木 芳宏	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 アクチュエータ工学特 論 I アクチュエータ工学特						
専	准教授	荻野 俊寛 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 土質工学特論						
専	准教授	日野智()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 都市システム計画特論						
専	准教授	菅原 佳城 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 振動制御工学特論	専	講師	平山 寛 () 後任未定	平成29年4月	システムデザイン工学演習 システムデザイン工学課題 研究 振動制御工学特論	平成28年3月退職 担当教員減員(28) (教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更(29) 平成28年3月退職 後任選考中(28)
専	准教授	髙橋 良輔	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 構造設計学特論						
専	講師	杉山 渉 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 気体分子運動論						

専	講師	関 健史 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習システムデザイン工学 課題研究電子制御機械工学特論						
専	講師	廣瀬 圭 ()	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究						平成29年3月退職 担当教員減員 (29)
				計測システム学特論 I 計測システム学特論 Ⅱ			後任未定			平成29年3月退職 後任公募予定(29)
専	講師	野田龍	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 木構造力学						
専	講師	渡邉 一也	平成28年4月	システムデザイン工学 演習 システムデザイン工学 課題研究 水防災工学特論						
兼担	教授	土岐 仁	平成28年4月	機械力学特論						
兼担	准教授	髙橋 護	平成28年4月	マイクロ加工学特論						
兼担	教授	尾高雅文()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I 生命医理工学特論						
兼担	教授	村上 賢治	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	原 基 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	兼担	教授	麻生 節夫	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	河上 肇 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	今野 和彦 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	兼担	教授	倉林 徹 ()	平成29年4月		平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	景山 陽一 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I 生命医理工学特論	兼担	教授	水戸部 一孝 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップI インターンシップI 理工学特論I 理工学特論I	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	中村雅英	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	兼担	教授	中村雅英()	平成29年4月	熱流体エネルギー移動・変 接工学 理工学デザイン インターンシップ I マン学特論 I 理工学特論 I	平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追加 (29)
兼任	講師	眞田 慎 ()	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
兼担	寄附講 座准教 授	今野 道人	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論	兼任	講師	泰松 齊 ()	平成29年4月	地域産業アントレプレナー論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	村上信博	平成28年4月	地域産業アントレプレ ナー論						
兼任	講師	星則幸()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー論						
兼任	講師	SIM Malcolm Shane ()	平成28年4月	プレゼンテーション技 法	兼任	講師	ジ [*] ョー サイクス Joe SYKES ()	平成29年4月	プレゼンテーション技法	平成29年4月 担当者の変更(29)
-		I		-	-					

				理工学英語 I							
兼担	准教授	ABADZHIEVA EMILIYA ()	平成28年4月	エエイス語 Introduction to Systems Design Engineering (システムデザイン工学 概論)							
兼担	講師	SELIN PAVEL	平成28年4月	理工学英語Ⅲ							
兼担	准教授	GRAVE EWA MALGORZATA ()	平成28年4月	理工学英語 Ⅱ 理工学英語Ⅳ	兼担	准教授	WATTE EAMO PATRICK (ON John	平成28年10月	理工学英語Ⅱ	平成28年10月 担当者の変更(29)
兼担	教授	銭谷 秋生	平成28年4月	技術者倫理特論 科学技術倫理特論							
兼担	寄附講 座准教 授	川村 茂 ()	平成28年4月	リサイクルプロセス設 計特論							
兼任	講師	和田豊	平成28年4月	宇宙科学特論	兼任	講師	阿部(平成29年10月	宇宙科学特論	平成29年10月 担当者の変更(29)
兼担	教授	水田 敏彦	平成28年4月	地震防災特論 地域防災学特論							
兼担	特任 准教 授	鎌滝 孝信	平成28年4月	古地震学特論							
兼担	教授	石山 大三	平成28年4月	地球資源成因論							
兼担	教授	岩田 吉弘	平成28年4月	地球資源成因論							
兼担	教授	柴山 敦	平成28年4月	地球資源成因論 資源分離精製論							
兼担	教授	水田 敏夫	平成28年4月	地球資源成因論	兼担	教授	渡辺(寧)	平成29年4月	地球資源成因論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	大和田 秀二	平成28年4月	資源分離精製論							
兼担	准教授	高崎 康志	平成28年4月	資源分離精製論							
兼担	教授	進藤 隆世志	平成28年4月	資源化学・資源利用工 学							
兼担	教授	村上 賢治	平成28年4月	資源化学・資源利用工 学							
兼担	准教授	布田 潔	平成28年4月	資源化学・資源利用工 学							
兼任	講師	藤田 豊久	平成28年4月	資源化学・資源利用工 学							
兼担	教授	三島望	平成28年4月	リサイクルシステム設 計論							
兼担	教授	安達 毅 ()	平成28年4月	リサイクルシステム設 計論							
兼任	講師	中村崇()	平成28年4月	リサイクルシステム設 計論							
兼担	教授	神谷修	平成28年4月	自主プロジェクト I 自主プロジェクト II							
兼任	講師	細井 義孝	平成28年4月	国際関係論							
兼任	講師	長谷部 光重	平成28年4月	マーケティング論							
兼任	講師	佐藤 善友	平成28年4月	ベンチャー起業論							
兼任	講師	佐藤博	平成28年4月	資源・工業経済論							
兼任	講師	桜井 若葉 ()	平成28年4月	資源・工業経済論							
兼任	講師	戸根谷 法雄	平成28年4月	リスクマネジメント							

兼任	講師	高橋 弘毅	平成28年4月	技術戦略学							
兼任	講師	水澤 春樹	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	伊藤 秀範	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	佐藤 貴幸	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	高橋 利典	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	豊島 洋之	平成28年4月	財務・金融工学							
兼任	講師	森川 茂弘	平成28年4月	知的財産論							
兼任	講師	谷内 宏行	平成28年4月	経営戦略論							
兼任	講師	廣畑 伸雄	平成28年4月	企業行動論							
兼担	准教授	角谷 浩 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤	昭彦)	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	田嶋 正夫	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤	博子)	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼担	教授	藤原 憲秀 ()	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	伊藤 英晃 ()	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	涌井 秀樹 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論							
兼担	教授	久保田 広志	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	疋田 正喜 ()	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	後藤 猛 ()	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	水戸部 一孝 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論							
兼担	准教授	南條 博 ()	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	三浦 昌朋	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	講師	藤島 直仁 ()	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	橋本 学 ()	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	廣川 誠	平成28年4月	生命医理工学特論	兼担	助教	面川	歩)	平成29年4月	生命医理工学特論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼担	教授	安藤 秀明	平成28年4月	生命医理工学特論							
兼担	教授	寺境 光俊 ()	平成28年4月	医理工連携実践論							
兼担	教授	南谷 佳弘 ()	平成28年4月	医理工連携実践論							
兼担	理事	近藤 克幸 ()	平成28年4月	医理工連携実践論							
兼任	講師	野堀 潔 ()	平成28年4月	医理工連携実践論							
	講師	赤上 陽一 ()	平成28年4月	医理工連携実践論							
(注)	. =0	と 選 時 の 様 式 筆 3	旦 (その2の1) に準じて作成してくだ	112						

- (注)・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「<u>官と関係の計画」には当該学部等の就任時における満年齢</u>を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の漢年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は, 変更後の状況を記入するとともに, その理由, 後任者が決まっていない場合は, 「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し, 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ <mark>認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</mark>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任 教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 () 書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時におけ る設置基準上の必 要研究指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準 上の必要教授数	完成年度時における設置基準 上の必要研究指導補助教員数
6	4	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件 (平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号) により 算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

	設	置時	ŧ O) 計 画	Ī	現在	現在(報告書提出時)の状況						書提出時)の完	尼成年度時の計画		
教 授	准教授	講	師	助教	計	教 授	准教授	講師	助 教	計 (A)	教 授	准	教授	講	師	助教	計 (B)
13	9	4		0	26	12	8	4	0	24	12		8	4	ı	0	24
(12)	(9)	(5))	(0)	(26)						[Δ1]	[4	Δ1]	[±	0]	[±0]	[△2]
研究指導 員数		指導補 対員数		義のみ担 の教員数		研究指導教員			講義のみ担 当の教員数		研究指導	教員数	研究指導 教員			のみ担当 教員数	
14		12		0		20		4	0		20		4			0	
(21)		(5)		(0)		20		7	U		[+6]	[△8	3]	[±0]	/

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名滅の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延いる 採用して教 員数	完成年度時(上記 (B))の教員う ち、定年を延長して 採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教	員氏名	必修・選択・自由の別	担当予	定科目	後任補充	状況		就任	£辞退	(未就	任)の理由						
				必修	システムデ	ゲインエ学演習	1												
1	教授	長谷川	裕晃	必修	システムデザー	インエ学課題研究	1		平原	平成27年8月31日付けで退職(一身上)したため(28)									
				選択	実験流体	力学特論	3												
				必修	システムデ	デイン工学演習	1												
2	准教授	菅原	佳城	必修	システムデザー	インエ学課題研究	1	①		成28年3月31日	付けで	退職	(一身上) した	たため	(28)				
				選択	振動制御	7工学特論	3												
			合計	(A)			後任補充状況の集計(B)												
į,	就任を辞	退した教員	員数	担当科目数の合語	計 (a) + (b) + (c) ①の合計数 (a) ②の合計数 (b)						③の合計	の合計数 (c)							
				必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目				
				選択	2	科目	選択	0	科目	選択	. 0	科目	選択	2	科目				
	2	人		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目				
				計	6	科目	計	4	科目	計	0	科目	計	2	科目				

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員	員氏名	必修・選択・自由の別	担当于	予定科目	後任補充	状況			辞日	等の	理由					
				必修	システムデ	ザインエ学演習	1											
1	准教授	野老山	貴行	必修	システムデザ	インエ学課題研究	1		平成	は29年3月31日	付けでi	けけで退職(一身上)したため(29						
				選択	機能性表	面工学特論	3											
				必修	システムデ	ザインエ学演習	1											
2	講師	廣瀬	圭	必修	システムデザ	インエ学課題研究	1			平成29年3月31日付けで退職(一身上)したため(29)								
	神師	庚/棋	±	選択	計測システ	テム学特論 I	3	3										
				選択	計測システ	テム学特論Ⅱ	3											
			合計	(C)					往	长任補充状況	の集計	(D)						
	辞任	した教員数		担当科目数の合詞	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	数 (a))	②の合計	数 (b)		③の合計	数(c	;)			
				必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目			
				選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	3	科目			
	2	2 人		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目			
				計	7	科目	計	4	科目	計	0	科目	計	3	科目			

- (注) · 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-①・(3)-② の合計

	合計(A		:	後任補	前充状況の集	計(B) +	(D)		(c)) 科目 5 科目) 科目					
辞任等した教員	①の合計	十数 (a)	②の合計	十数(bi)	③の合計	†数(c)						
		必修	8	科目	必修	. 8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
		選択	5	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	5	科目		
4	,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
		計	13	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	5	科目		

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

長谷川裕晃教授の辞任について、担当科目である「システムデザイン工学演習」「システムデザイン工学課題研究」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「実験流体力学特論」については、後任選考中である。

菅原佳城准教授の辞任について,担当科目である「システムデザイン工学演習」「システムデザイン工学課題研究」については,分担科目で他の教員で担当可能であるため,履修等への影響はない。また,選択科目の「振動制御工学特論」については,後任選考中である。

学生に対しては,履修案内への記載や,web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a·net」へ掲載することにより,充分な周知 を行った。

野老山貴行准教授の辞任について、担当科目である「システムデザイン工学演習」「システムデザイン工学課題研究」については、分担科 目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響はない。また、選択科目の「機能性表面工学特論」については、後任公募を予定して いる。

廣瀬 主講師の辞任について,担当科目である「システムデザイン工学演習」「システムデザイン工学課題研究」については,分担科目で他の教員で担当可能であるため,履修等への影響はない。また,選択科目の「計測システム学特論 I 」「計測システム学特論 I 」については,後任公募を予定している。

学生に対しては,履修案内への記載や,web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a·net」へ掲載することにより,充分な周知 を行った。

(注) · 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区	分	留	意	事	項	等	履	行	状	況	未履行事項について の実施計画
設	置時	該当なし									
(28	3 年 4 月)										
調	画履行状況 査 時 9年2月)	該当なし									
調	画履行状況 査 時]年2月)					改善意見					
調		・同一設置 既設学部等 ●●学科) と。	(00)学科	4、	〇〇意見					

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を(</u><u>)書き</u>で付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される<u>全ての報告書に</u> 記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

〈理工学研究科 システムデザイン工学専攻〉

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

理工学研究科教育改善委員会

《関係規程等》

秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程

(趣旨)

第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する 事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育 改善委員会(以下「委員会」という。」)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。 (審議事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。
- (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。
- (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。
- (3)教育に関する外部評価の実施に関すること。
- (4)教育改善に関わる調査・研究に関すること。
- (5) FD活動の実施等に関すること。 (6) その他教育改善に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名
- (2) その他研究科長が必要と認めた者

(任期)

第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。

- 2 委員長は,委員会を主宰する。
- 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。
- 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。 (議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (委員以外の出席)
- 第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。 (庶務) 第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。
- (補則) 第9条 この規程に定めるもののほか,委員会の運営に関し必要な事項は,委員会が定める。

附則

- この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。 附 則
- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学部が存続する間、当該学部に適用する。

附則

この規程は、平成26年11月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科に適用する。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

4回開催(平成26年度実績)。8回開催(平成27年度実績)。6回開催(平成28年度実績)。 構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

- a 実施内容
 - (1) FD・SDシンポジウムの開催
 - (2) FDワークショップの開催
 - (3) 教員による授業評価
- b 実施方法
 - (1) FDシンポジウム: 発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。(平成26年度実績)

FD・SDシンポジウム:ルーブリック評価とe-ラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびe-ラーニングの事例紹介を行った。(平成28年度実績)・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。(平成28年度実績)

- (2) FDワークショップ: 学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。 (平成26年度実績)・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。 (平成27年度実績)
- (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。 (各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。)
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - (1) F D シンポジウム:平成26年9月18日(木) 参加者:36名 F D・S D シンポジウム:平成28年12月6日(火) 参加者:40名 平成29年3月13日(月) 参加者:52名
 - (2) F D ワークショップ: 平成26年12月12日 (金) 参加者: 33名 平成27年12月11日 (金) 参加者: 36名
 - (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。(平成26年度実績) 平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。(平成27年度実績) 平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。(平成28年度実績)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回,大学院及び学部の全学生を対象に実施した。(平成26,27,28年度実績)

b 教員や学生への公開状況,方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

- (注) · 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。 引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - · 平成29年度以降
 - b 公表方法
 - ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
 - ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を 受けた。現在は次回(平成31年度予定)の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。
- (4) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書		
а	ホームページに公表の有無	(有) 無)
b	公表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成29年7月1日公表予定)

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

- (2) 大 学 名 **秋田大学**
- (3) 大学の位置

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備考
学 長	(ヤマモト フミオ)山本 文雄(平成28年4月)		
研究科長	(ムラオカ ミキオ) 村岡 幹夫 (平成28年4月)		
専攻長	(ナカムラ マサヒデ)中村 雅英(平成28年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - ()書きで記入してください。
 - (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27) 平成29年度に報告する内容 → (29)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(<u>修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合</u> には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等	学位又は学科の		設置時の記	十画	- 備 考
の名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	収容定員	1
理工学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻 (博士前期課程) 修士(工学)	工学関係	2	12	24	基礎となる学部等

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を ()書きで記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

	報告年度	平成28年度	平成29年度	平成 年度	平均入学定員	備考
区	分	春季入学 その他の学	事 春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超過率	υ⊞ι σ
		12人 若干名	12人 若干名	\ \/\		
Α	入学定員	(若干名)	(若干名)	(/		
		[若干名]	[若干名]	[/]		
	志願者数	16 — (— (— (— (— ()	13 — (-) (-)			
	受験者数	16 — (—) (— [1] [—]	13 — (—) (—) [1] [—]		1.00 倍	
	合格者数	15 — (—) (— [1] [—]	12 — (-) (-) [1] [-]			
E	B 入学者数	12 — (—) (— [—] [—]	12 — (-) (-) [1] [-]	() ()		
7	学定員超過率 B/A	1.00	1.00			

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成28	4 年度	平成 2	9 年度	平成	年度	備	考	
学年	春季入学 そ	の他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		75	
	12	-	12	-					
1 年次	[0]	[-]	[1]	[-]	[]	[/]			
	(-)	(-)	(-)	(-)					
			12	_	/				
2 年次			[0]	[-]	[/]	[]			
			(-)	(-)	(/)	()			
	12		2	4	/				
計	[0]	[1]]]			
	(–)	(–)	/ ()			

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数 を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で</u>記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退气	学者数(内訳)		主な退学理由	入学者数に 対する退学者数		
対象年度	7 1 1 20 (1)	~	退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	200.27	の割合 (a/b)		
平成28年度	12 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %		
入学者	12 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %		
平成29年度 入学者	12 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %		
合 計	24 人	0 人					0 %		

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要は</u>ありません。)
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、<u>退学者数の内数</u>を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称		配当年次()表示のある科目はクォーター制で開講する。	j	単位数	t	Ę	享任 教	(員等	の配	置	ГМС	備 考
En		開設大学	。 ()の数は開 講時期を表 す。	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	:助手	連携	コース」は医母エコースを意味する。
	地域産業アントレプレナー論	秋田大学	1後		1							兼4	オムニバス 担当者の変更(29)
	プレゼンテーション技法	秋田大学	1前		1							兼 1	担当者の変更(29)
	理工学英語 I	秋田大学	1前		1							兼 1	
	理工学英語Ⅱ	秋田大学	1後		1	***************************************						兼 1	担当者の変更(29)
	理工学英語皿	秋田大学	2前		1							兼 1	
	理工学英語Ⅳ	秋田大学	2後		1		***************************************					兼 1	
	インターンシップ I	秋田大学	随時		1		2					兼8	企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	インターンシップⅡ	秋田大学	随時		2		2					兼8	企業等で実地研修 担当者の変更(29)
	技術者倫理特論	秋田大学	1前		2							兼 1	
	科学技術倫理特論	秋田大学	1後		2							兼 1	
	リサイクルプロセス設計特論	秋田大学	1後		2							兼 1	
	宇宙科学特論	秋田大学	1前		2							兼 1	集中 担当者の変更(29)
	地震防災特論	秋田大学	1後		2							兼 1	
	地域防災学特論	秋田大学	1前		2							兼 1	
共	古地震学特論	秋田大学	1後		2							兼 1	
通	地球資源成因論	秋田大学	1(1)		1							兼 4	集中、オムニバス 担当者の変更(29)
基	資源分離精製論	秋田大学	1通		1							兼 3	集中、オムニバス
礎	資源化学・資源利用工学	秋田大学	1通		1								集中,オムニバス
	リサイクルシステム設計論	秋田大学	1通		1		1					兼 2	集中,オムニバス
	自主プロジェクトI	秋田大学	1通		1							兼 1	
倫	自主プロジェクトⅡ 	秋田大学	1通		2							兼 1	
理	国際関係論	秋田大学	1(1)		1								集中
関	マーケティング論 	秋田大学	1前		1							兼 1	MOTコース対象科目
係	ベンチャー起業論	秋田大学	1 (2)		1	**************************************		***************************************			***	兼 1	集中 MOTコース必修
科	資源・工業経済論	秋田大学	1通		1							兼 2	集中 MOTコース対象科目
目	リスクマネジメント	秋田大学	1 (2)		1							兼 1	集中 MOTコース対象科目
	技術戦略学	秋田大学	1 (1)		1	**************************************		***************************************				兼 1	集中 MOTコース対象科目
	財務・金融工学	秋田大学	1通		1							兼 5	オムニバス MOTコース必修
	知的財産論	秋田大学	1 (3)		1							兼 1	集中 MOTコース対象科目 MSEコース必修
	経営戦略論	秋田大学	1 (2)		1	***************************************						兼 1	集中 MOTコース対象科目
	企業行動論	秋田大学	1 (1)		1							兼 1	集中 MOTコ-ス対象科目
	特許情報活用論	秋田大学	1前		1								MOTコース対象科目 担当者の変更(29)
	理工学特論 I	秋田大学	1前		1		2					兼8	担当者の変更(29)
	理工学特論Ⅱ	秋田大学	1後		1		2					兼8	担当者の変更(29)
	理工学デザイン	秋田大学	1後		1		2					兼8	担当者の変更(29)
	生命医理工学特論	秋田大学	1前		2							来15	オムニハ・ス 担当者の変更(29)
	医理工連携実践論	秋田大学	1 (2)		1							兼8	集中,オムニバス

		秋田県立									1
	プレゼンテーション 	大学	1後 		2					兼3	オムニハ゛ス
	実践英語A	秋田県立 大学	1前		2					兼1	
	英語プレゼンテーションA	秋田県立 大学	1後		2					兼1	
	風土・文化構造論	秋田県立 大学	1・2前		2					兼1	隔年開講科目
	科学技術と倫理	秋田県立 大学	1・2前		2					兼1	隔年開講科目
共	感性情報と環境の心理	秋田県立 大学	1・2前		2					兼1	隔年開講科目
通 基 礎	地域社会と家族	秋田県立 大学	1・2後		2					兼1	隔年開講科目
倫理	生体情報と運動の生理	秋田県立 大学	1・2前		2					兼1	隔年開講科目
関 係	フィールドワークA(実践科目)	秋田県立 大学	1·2通		2					兼1	
科 目	フィールドワークB(実践科目)	秋田県立 大学	1・2通		2					兼1	
	知的所有権論A	秋田県立 大学	1前		2					兼5	オムニハ゛ス
	標準化論A	秋田県立 大学	1後		2			2		兼2	オムニハ゛ス
	信頼性工学A	秋田県立 大学	1前		2					兼4	オムニハ゛ス
	失敗工学A	秋田県立 大学	1後		2					兼3	オムニハ゛ス
	インターンシップ	秋田県立 大学	1前			2				兼1	
	ライフサイクルデザイン工学基礎	秋田大学	1・2前	2			1				
	ライフサイクルデザイン工学特論	秋田大学	1・2後		2					兼 1	
	熱流体エネルギー移動・変換工学	秋田大学	1・2後		2		1				
	電磁エネルギー変換工学	秋田大学	1・2前		2		1				
	マイクロ加工学特論	秋田大学	1・2前		2			1			
	先端機能材料学特論	秋田大学	1・2後		2			1			
	応用物性学	秋田大学	1・2前		2			1			
	ライフサイクルデザイン工学特別講義 I	秋田大学	1後 		1					兼 1	
	ライフサイクルデザイン工学特別講義Ⅱ	秋田大学	2前		1					兼 1	
	地域産業論	秋田大学	1後		2		1				
専	電子デバイス工学	秋田大学	1・2後		2					兼 1	
,	電子制御機械工学特論	秋田大学	1・2後		2					兼 1	:
門	岩盤工学特論 I	秋田大学	1・2後		2					兼 1	
	資源経済学特論	秋田大学	1・2前		2					兼 1	
科	都市システム計画特論	秋田大学	1・2前		2					兼 1	
目	ライフサイクルデザイン工学セミナー	秋田大学 秋田県立 大学	1通	2			3 1	3 4			
	ライフサイクルデザイン工学特別研究	秋田大学 秋田県立 大学	1~2通	8			3	3 4			
	ライフサイクルプランニング基礎	秋田県立 大学	1前	2				2		兼3	オムニハ゛ス
	ライフサイクルアセスメント	秋田県立 大学	1前	L	2			1			
	次世代自動車工学	秋田県立大学	1後		2		1				
	環境電磁工学	秋田県立大学	1前		2			1			
	都市環境論	秋田県立 大学	1後		2		***************************************	1		兼1	オムニハ゛ス
	ライフサイクルデザイン製品技術論	秋田県立 大学	1後		2					兼1	

専	環境型生産管理論	秋田県立 大学	1後	2				兼1	
門科目	音環境工学	秋田県立 大学	1後	2				兼1	
	環境・エネルギー工学	秋田県立 大学	1前	2				兼1	

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で,前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは 赤字見え消し修正し,「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	設置	時の	計 画				3	ار	更	状	汙	į	備考
必修	選 択	自	由	計 (A)	l	必	修	選	択	自	由	計	1
科目	科目		科目		科目		科目		科目		科目	科目	
4	73		1	78		4	1	7	3	1		78	
						[±	:0]	[±	0]	[±	0]	[±0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計
 =
 0

 設置時の計画の授業科目数の計 (A)
 78

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区			分							P	力							!	容						備考	
(1)		区		分				専		用		:	Ħ,	用				引する(を等の!				計					
! 六		校 纟	主敷	地					2	58, 144 r	'n				0 m ²				0	m²		2	258,	144	m²		
校		運動	場用	地						76, 253 r	'n			0 m²					0	m³	ຳ 76, 253 mໍ			253	m²		
地		小		計					3	34, 397 r	'n			0 m ²	1		0 m²		334, 397 m²		m²						
等		そ	の	他					1	04, 058 r	'n				0 m ²				0	m²		1	104,	058	m³		
J		合		計	4			38, 455 r	n [‡]				0 m ²					m²		4	1 38,	455	mi				
								専		用		:	Ħ.	用				するd を等の!				計					
(2) 校			舎						1	32, 654 r	'n				0 m ²				0	mi		1	132,	654	m [‡]		
							(132,	654	m³)		(0 m	')	(0 m²)		(13	32, 65	4 m	ก้)			
				-	i	冓	義	室		演	習	室		実験	実習	室	1	情報処	理学習	施設	語	学学	習旅	色設		大学全体	
(3) 教		室	等					99	室			130	室		5	543 室				14 室				6	室		
						1												(補助)	職員	4 人)		助職員	į	1 人)		
(4) 専	任教	員研究	室			新設勻						等の名称			<u>室</u> 数				数								
					<u> </u>	理工学		科					デザイン	専攻		1		-	3		_		室	2			
4-5	亲	新設学部等		術雑		I				7	視聴覚	資料	機械	・器具	1	漂	本	:									
(5)	4	の名称			Ĺ	うち	5外国			〔うち外国			T=E	電子ジ					_			_			L		
					440		m = = = = = = = = = = = = = = = = = = =		9, 572 (2, 715)		種	()55				2 0	点	•	点 6, 341		10	270	点				
書・	理	工学研	究科										2 (2, 715) 572 (2, 715)) 2 (2, 715)		15]) (6, 850 [5,					3, 0							大学全体での共用分を 含む
設備							! [11														341			370			
VH		計					. [113			(9, 572)	(6, 850		•	(3, 0			341)			170			
					(427,	002	面	210)	′	積	ζ2,	1103	,	閲覧			,	2, 0	収		可能					大学全体	
(6) 図		書	館	-				6, 321	l m ²						552						582, 53					X1 ± m	
							面			積					体	育館以	外の	カスポ	一ツ旅	設の棚	要					大学全体	
(7) 体		育	館	-				7, 908	3 m ²				ß	上競技 均	易,野	球場,	多	目的運	動場,	テニス		・, プ	ار — [']	L			
				区			分		開	設年度		完成	年度	Ę [<u>z</u>	分	ı	開設前	年度	開言	设年度	5	完成	年度	:		
(8)		経費の見	教員	1	人当	IJŦ	研究者	貴等		- 1 1	9	_	Ŧ	-円 図	書購.	入費	İ	_	千円	-	- 千円	3	_	· Ŧ	円		
経費の積り及		積り	共	同	研	究	費	等		- 1 F	9	-	Ŧ	一円 設	備購.	入費		_	千円	-	- 千円	3	-	· Ŧ	円		
維持方	法	法 要 学生1人当り				1	年次	軍次 第2年次			第3年次			第4年次 第5年			5年次 第6年次										
		納付		Ī			_ =	千円		-	千円	3		- fp	9	-	-	千円		-	千円		-	· Ŧ	円		
		学生	納付	金山	以外σ.	維	持方法	去の根	既要																		

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「($\frac{29}{}$)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋	田大	学						備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学定 員	収 容定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍			
≪AC対象学部等≫			人						
国際資源学部					学士			秋田市手形学園町1番1号	
国際資源学科	4	120	_	480	(資源学)	1.02	平成26		
## 1 # W 									
教育文化学部					出工			秋田市手形学園町1番1号	平成26年度入学定員
学校教育課程	4	110	_	440	学士	1.04	平成10		增(10人)
地域文化学科	4	100	_	400	学士	1.02	平成26		
地域科学課程	4	_	_	_	学士	_	平成10		
国際言語文化課程	4	_	_	_	学士	_	平成10		平成26年度より 学生募集停止
人間環境課程	4	_	_	_	文化)	_	平成10		,
The state of the s	·				(人間環境)				J
医学部								秋田市本道一丁目1の1	
医学科	6	124	2年次 5	759	学士 (医学)	1.00	昭和45		平成27年度入学定員 増(2人)
保健学科	4	106	3年次 14	452	尚士	1.05	平成14		
			14		学士				
					(看護学)				
理工学部								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学科	4	45		180	学士 (理学)	0.99	平成26		
物質科学科	4	110		440	学士(理工学)	1.02	平成26		
数理·電気電子	4	120		480	学士	1.07	平成26		
情報学科					(理学) 学士				
システムデザイン	4	100		480	(工学) 学士	1.09	平成26		
工学科	4	120	3年次		(工学)	1.09	十八20		
各学科共通			12	12					
工学資源学部								秋田市手形学園町1番1号	
工子员 <i>抓</i> 字品 地球資源学科	4	_	_	_	学士	_	平成10]
	·				(資源学) 学士				
理棒内田ル플科					(工学) 学士		₩ = 00		
環境応用化学科	4	_	_	_	(工学) 学士	_	平成20		
生命化学科	4	_	_	_	(工学) 学士	_	平成20		
					(理学)				平成26年度より
材料工学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成10		学生募集停止
情報工学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成10		
機械工学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成10		
電気電子工学科	4	_	_	_	·一· 学士 (工学)	_	平成10		
土木環境工学科	4	_	_	_	学士	_	平成10		
各学科共通			3年次	_	(工学)				」 平成28年度より
百子行大进			12						学生募集停止

	Ī								
大学院国際資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
資源地球科学専攻	2	17	_	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
					修士(理学)				
資源開発環境学専攻	2	23	_	46	修士	0.71	平成28		
					(資源学) 修士		,		
					(工学)				
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	_	20	博士 (資源学)	0.65	平成28		
					博士				
					(工学) 博士				
					(理学)				
大学院教育学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(修士課程)									
心理教育実践専攻	2	6	_	12	修士 (教育学)	1.08	平成28		
学校教育専攻	2	-	_	_	修士 (教育学)	_	平成元		平成28年度より
教科教育専攻	2	_	_	_	修士(教育学)	_	平成元		学生募集停止
					(教育子)				L
(専門職学位課程)									
教職実践専攻	2	20	-	40	教職修士 (専門職)	1.12	平成28		
大学院医学系研究科								秋田市本道一丁目1の1	
(修士課程)	0	-		10	修士	0.00	₩ 1 10		
医科学専攻	2	5	_	10	(医科学)	0.30	平成19		
(博士前期課程)									
保健学専攻	2	12	_	24	修士 (看護学)	1.04	平成19		
					(有碳子) 修士 (リハビリテー				
					ション科学)				
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	_	9	博士	1.11	平成21		
	-				(保健学)				
(博士課程)									
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
大学院理工学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)					修士	2 = 2			
生命科学専攻	2	15	_	30	(理学)修士	0.76	平成28		
物質科学専攻	2	42	_	84	(理工学)	0.79	平成28		
数理·電気電子 情報学専攻	2	45	_	90	(理学)	1.07	平成28		
					修士 (工学)				
システムデザイン 工学専攻	2	36	_	72	修士 (工学)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	_	24	修士	1.00	平成28		
, , , , , , , , , ,					\ <u>-</u> 1/				
· ·				•		•		•	•

(博士後期課程)									
総合理工学専攻	3	10	_	20	博士 (理学) 博士 (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28		
大学院工学資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
地球資源学専攻	2	_	-	_	修士 (工学)	_	平成14		
					修士 (資源学)				
環境応用化学専攻	2	_	-	_	修士 (工学)	-	平成24		
生命科学専攻	2	_	_	_	修士 (理学)	_	平成24		
材料工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
情報工学専攻	2	_	-	_	修士 (工学)	-	平成14		
機械工学専攻	2	_	-	_	修士 (工学)	-	平成14		
電気電子工学専攻	2	_	-	_	修士 (工学)	-	平成14		
土木環境工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		- 平成28年度より
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	_	-	-	修士 (工学)	-	平成24		学生募集停止
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	_	平成14		
					博士 (資源学)				
生命科学専攻	3	_	_	_	博士 (理学)	_	平成26		
機能物質工学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	_	平成14		
生産·建設工学専攻	3	_	_	_	博士	_	平成14		
電気電子情報 システム工学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	-	平成14		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻(博士前期課程)>

(1) 担当教員表

		設	置 時 の 計	画			変	更 状 況			
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備	考
専	教授	中村雅英()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I 熱流体エネルギー移動・変 換工学 地域産業論 ライフサイクルデザインエ 学セミナー ライフサイクルデザインエ 学特別研究							
専	教授	田島 克文	平成28年4月	電磁エネルギー変換工学 ライフサイクルデザインエ 学セミナー ライフサイクルデザインエ 学特別研究							
専	教授	三島 望	平成28年4月	ライフサイクルデザインエ 学基礎 ライフサイクルデザインエ 学セミナー ライフサイクルデザインエ 学特別研究 リサイクルシステム設計論							
専	准教 授	髙橋 護 ()	平成28年4月	マイクロ加工学特論 ライフサイクルデザインエ 学セミナー ライフサイクルデザインエ 学特別研究							
専	准教 授	山口 邦彦	平成28年4月	応用物性学 ライフサイクルデザインエ 学セミナー ライフサイクルデザインエ 学特別研究							
専	准教 授	魯 小葉 ()	平成28年4月	先端機能材料学特論 ライフサイクルデザインエ 学セミナー ライフサイクルデザインエ 学特別研究							
兼担	教授	堀口 誠二	平成28年4月	電子デバイス工学							
兼担	講師	関 健史 ()	平成28年4月	電子制御機械工学特論							
兼担	教授	今井 忠男 ()	平成28年4月	岩盤工学特論 I							
兼担	教授	安達 毅 ()	平成28年4月	資源経済学特論 リサイクルシステム設計論							
兼担	准教 授	日野智	平成28年4月	都市システム計画特論							
兼担	教授	佐藤 正志	平成28年4月	ライフサイクルデザインエ 学特論							
兼任	講師	対馬 雅己	平成28年4月	ライフサイクルデザインエ 学特別講義 I							
兼任	講師	大木 達哉	平成28年4月	ライフサイクルデザインエ 学特別講義 Ⅱ							
兼担	教授	尾髙 雅文	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I 生命医理工学特論							

				,						,
兼担	教授	村上 賢治	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	原 基 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	兼担	教授	麻生 節夫	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	河上 肇	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	今野 和彦	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	兼担	教授	倉林 徹	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	景山 陽一 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 生命医理工学特論	兼担	教授	水戸部 一孝 ()	平成29年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	奥山 栄樹 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	足立 高弘 ()	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼担	教授	濱岡 秀勝	平成28年4月	理工学デザイン インターンシップ I インターンシップ I 理工学特論 I 理工学特論 I						
兼任	講師	眞田 慎	平成28年4月	地域産業アントレプレナー 論						
兼担	寄附講 座准教 授	今野 道人	平成28年4月	地域産業アントレプレナー 論	兼任	講師	泰松 齊 ()	平成29年4月	地域産業アントレプレナー論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	村上信博	平成28年4月	地域産業アントレプレナー 論						
兼任	講師	星則幸()	平成28年4月	地域産業アントレプレナー 論						
兼任	講師	SIM Malcolm Shane ()	平成28年4月	プレゼンテーション技法	兼任	講師	ジョー サイクス Joe SYKES ()	平成29年4月	プレゼンテーション技法	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	准教授	ABADZHIEVA EMILIYA ()	平成28年4月	理工学英語 I Introduction to Systems Design Engineering (システムデザイン工学概 論)						
兼担	講師	SELIN PAVEL	平成28年4月	理工学英語皿						
兼担	准教授	GRAVE EWA MALGORZATA ()	平成28年4月	理工学英語 Ⅱ 理工学英語 Ⅳ	兼担	准教授	WATTERS EAMON PATRICK JOHN ()	平成28年10月	理工学英語Ⅱ	平成28年10月 担当者の変更(29)
兼担	教授	銭谷 秋生	平成28年4月	技術者倫理特論 科学技術倫理特論						
兼担	寄附講 座准教 授	川村 茂	平成28年4月	リサイクルプロセス設計特論						
兼任	講師	和田 豊 ()	平成28年4月	宇宙科学特論	兼任	講師	阿部 琢美	平成29年10月	宇宙科学特論	平成29年10月 担当者の変更(29)
兼担	教授	水田 敏彦	平成28年4月	地震防災特論 地域防災学特論						
兼担	特任 准教 授	鎌滝 孝信	平成28年4月	古地震学特論						

兼担	教授	石山大三	平成28年4月	地球資源成因論						
兼担	教授	岩田 吉弘	平成28年4月	地球資源成因論						
兼担	教授	柴山 敦	平成28年4月	地球資源成因論 資源分離精製論						
兼担	教授	水田 敏夫	平成28年4月	地球資源成因論	兼担	教授	渡辺 寧 ()	平成29年4月	地球資源成因論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	大和田 秀二	平成28年4月	資源分離精製論						
兼担	准教授	高崎康志	平成28年4月	資源分離精製論						
兼担	教授	進藤 隆世志	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼担	教授	村上 賢治	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼担	准教授	布田 潔	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	講師	藤田 豊久	平成28年4月	資源化学・資源利用工学						
兼任	講師	中村 崇	平成28年4月	リサイクルシステム設計論						
兼担	教授	神谷修	平成28年4月	自主プロジェクト I 自主プロジェクト II						
兼任	講師	細井 義孝	平成28年4月	国際関係論						
兼任	講師	長谷部 光重	平成28年4月	マーケティング論						
兼任	講師	佐藤 善友	平成28年4月	ベンチャー起業論						
兼任	講師	佐藤 博	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	桜井 若葉	平成28年4月	資源・工業経済論						
兼任	講師	戸根谷 法雄	平成28年4月	リスクマネジメント						
兼任	講師	高橋 弘毅	平成28年4月	技術戦略学						
兼任	講師	水澤 春樹	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	伊藤 秀範	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	佐藤 貴幸	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	高橋 利典	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	豊島 洋之	平成28年4月	財務・金融工学						
兼任	講師	森川 茂弘	平成28年4月	知的財産論						
兼任	講師	谷内 宏行	平成28年4月	経営戦略論						
兼任	講師	廣畑 伸雄	平成28年4月	企業行動論						
兼担	准教授	角谷 浩 ()	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 昭彦	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
兼任	講師	田嶋 正夫	平成28年4月	特許情報活用論	兼任	講師	齋藤 博子	平成29年4月	特許情報活用論	平成29年4月 担当者の変更(29)
								i	i.	

兼担	教授	藤原憲秀	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	伊藤 英晃	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	涌井 秀樹 ()	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼担	教授	久保田 広志	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	疋田 正喜	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	後藤 猛	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	水戸部 一孝	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼担	教授	長縄 明大	平成28年4月	生命医理工学特論 医理工連携実践論						
兼担	教授	巌見 武裕	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	准教授	南條博()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	三浦 昌朋	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	講師	藤島 直仁 ()	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	橋本 学	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	廣川 誠	平成28年4月	生命医理工学特論	兼担	助教	面川 歩	平成29年4月	生命医理工学特論	平成29年4月 担当者の変更 (29)
兼担	教授	安藤秀明	平成28年4月	生命医理工学特論						
兼担	教授	寺境 光俊 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼担	教授	南谷 佳弘	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼担	理事	近藤 克幸	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	野堀潔	平成28年4月	医理工連携実践論						
兼任	講師	赤上 陽一 ()	平成28年4月	医理工連携実践論						

- (注)・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、<u>「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢</u>を、<u>「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢</u>を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、 変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ <u>図可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</u>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 () 書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時におけ る設置基準上の必 要研究指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準 上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の 必要研究指導補助教員数
3	2	2
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件 (平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号) により 算出される教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

	設	置明	ξ σ.	計画	I	現在	(報告書技	是出時)	の状況		現在	(報告書提出時	の完成	成年度時の計画	<u> </u>
教 授	准教授	講	師	助教	計	教 授	准教授	講師	i 助 教	計 (A)	教 授	准教授	講(師助教	計 (B)
3	3	0		0	6	3	3	0	0	6	3	3	0	0	6
(3)	(3)	(0		(0)	(6)						[±0]	[±0]	[±0	(0±)	[±0]
研究指導 員数		指導補 敗員数		義のみ担 の教員数		研究指導教員数	研究打 助教	旨導補 語 員数	講義のみ担 当の教員数		研究指導教 数	員 研究指導報 員数		講義のみ担当 の教員数	
5		1		0		5		1	0		5	1		0	
(5)		(1)		(0)						/	[±0]	[±0]	[±0]	

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - (2) ③ 年齢構成

(秋田大学)

(秋田大字)		
	年齢構成	
定年規定の定め る定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時(上記 (B))の教員うち、 定年を延長して採用す る教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予	定科目	後任補充	5状況	就任	£辞退(未就	任)の理由			
			心修	2.修 〇〇概論									
1	教授	該当な	:し R	**	基礎	2		のため就任辞退(27))		
			- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	☆☆	演習	3							
			自由	×	××語								
2	准教授	$\Delta\Delta$ $\Delta\Delta$	必修		実習	3			のため就	任辞退(29))		
			必修	$\Diamond \Diamond$	特論	1							
		合計	(A)				i	後任補充状況	の集計(B)				
,	就任を辞	退した教員数	担当科目数の合言	† (a) + (b) + (c)	①の合計	十数 (a)	②の合計	十数 (b)	③の合計	十数 (c)		
			必修	00	科目	必修	OO 科目	必修	〇〇 科目	必修	00 科目		
			選択	00	科目	選択	OO 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目		
	00	人	自由	00	科目	自由	OO 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目		
			計	00	科目	計	OO 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目		

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した<u>全ての専任教員</u>の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合,赤字にて記入するとともに, 「就任辞退 (未就任) の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目		後任補充	₹状況			辞任等の	理由		
			心修	〇〇概論		1							
1	教授	該当な	し R	**	基礎	2			••••	のため	辞任 (27)		
			。 修	☆☆	演習	3							
			自由	××	〈語	2							
2	准教授	$\triangle \triangle \triangle \triangle$	必修		実習	3				のため	辞任 (29)		
			必修	$\Diamond \Diamond$	特論	1							
		合計	(C)					後	经任補充状況	!の集計 (D)			
	辞任し	した教員数	担当科目数の合詞	† (a) + (l	b) + (c)	①の合言	十数 (a)		②の合計	十数 (b)	③の合計	十数 (c)	
			必修	00	科目	必修	00	科目	必修	〇〇 科目	必修	00	科目
			選択	00	科目	選択	00	科目	選択	〇〇 科目	選択	00	科目
	00	人	自由	00	科目	自由	00	科目	自由	〇〇 科目	自由	00	科目
			計	00	科目	計	00	科目	計	〇〇 科目	計	00	科目

- (注) · 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合,赤字にて記入するとともに,「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-①・(3)-② の合計

	合計(A) + (C	;)			後任補充状況の集計 (B) + (D)							
辞任等し	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)							①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数					
		.5/	修	00	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目		
	該当な	し	沢	00	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目		
00 1		目	曲	00	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目		
		iin	t	00	科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目	計	〇〇 科目		

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) · 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区	分	留	意	事	項	等	履	行	状	況	未履行事項について の実施計画
設	置時	該当なし									
(28	3 年 4 月)										
調	画履行状況 査 時 9年2月)	該当なし									
調	画履行状況 査 時]年2月)					改善意見					
調		・同一設置 既設学部等 ●●学科) と。	(00)学科	4、	〇〇意見					

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を(</u><u>)書き</u>で付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される<u>全ての報告書に</u> 記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<理工学研究科 共同ライフサイクルデザイン工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設	置	時	の	計	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
						該当なし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

理工学研究科教育改善委員会

《関係規程等》

秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程

(趣旨)

第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する 事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育 改善委員会(以下「委員会」という。」)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。 (審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。
- (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。
- (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。
- (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。
- (5) FD活動の実施等に関すること。
- (6) その他教育改善に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名
- (2) その他研究科長が必要と認めた者

(任期)

第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。

- 2 委員長は,委員会を主宰する。
- 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。
- 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (委員以外の出席)
- 第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。 (庶務)
- 第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。 (補則)
- 第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

- この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。
 - 附 則
- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学部が存続する間、当該学部に適用する。

附則

この規程は、平成26年11月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科に適用する。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

4回開催(平成26年度実績)。8回開催(平成27年度実績)。6回開催(平成28年度実績)。 構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

- a 実施内容
 - (1) FD・SDシンポジウムの開催
 - (2) FDワークショップの開催
 - (3) 教員による授業評価
- b 実施方法
 - (1) FDシンポジウム:発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。(平成26年度実績)FD・SDシンポジウム:ルーブリック評価とeーラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびeーラーニングの事例紹介を行った。(平成28年度実績)・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。(平成28年度実績)
 - (2) FDワークショップ: 学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。 (平成26年度実績)・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。 (平成27年度実績)
 - (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。 (各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。)
- c 開催状況 (教員の参加状況含む)
 - (1) FDシンポジウム:平成26年9月18日(木) 参加者:36名

F D・S Dシンポジウム: 平成28年12月6日(火) 参加者: 40名 平成29年3月13日(月) 参加者: 52名

(2) FDワークショップ:平成26年12月12日(金) 参加者:33名 平成27年12月11日(金) 参加者:36名

- (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。(平成26年度実績) 平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。(平成27年度実績) 平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。(平成28年度実績)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回,大学院及び学部の全学生を対象に実施した。(平成26,27,28年度実績)

b 教員や学生への公開状況,方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。 引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - · 平成29年度以降
 - b 公表方法
 - ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
 - ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を 受けた。現在は次回(平成31年度予定)の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。
- (4) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書		
	a ホームページに公表の有無	(有) 無)
	o 公表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成29年7月1日公表予定)

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人 秋田大学

- (2) 大 学 名 秋田**大**学
- (3) 大学の位置

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
学 長	(ヤマモト フミオ)山本 文雄(平成28年4月)		
研究科長 専攻長	(ムラオカ ミキオ) 村岡 幹夫 (平成28年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(<u>修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けて</u>ください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等	学位又は学科の		設置時の計画		- 備 考
の名称(学位)	分野	修業年限	入学定員	収容定員	加州 75
理工学研究科 総合理工学専攻 (博士後期課程) 博士(理学) 博士(理工学) 博士(工学)	理学関係 工学関係	年	10	30	基礎となる学部等 理工学研究科 (博士前期課程)

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

	報告年度	平成 2	8年度	平成 2	9 年度	平成 3	0 年度	平均入学定員	備	考
区	分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超過率	VH	73
		10人	若干名	10人	若干名	人	人			
Α	入学定員		F名)		F名)	()			
			F名]		F名]	L	J			
	志願者数	9 (4)	(3)	10 (1)	(_)	()	()			
		[1]	[-]	[-]	[-]	[]	[]			
		9	4	10	_					
	受験者数	(4)	(3)	(1)	(—)	()	()	1 05 /*		
		[1]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	1.05 倍		
		9	4	10	_					
	合格者数	(4)	(3)	(1)	(—)	()	()			
		[1]	[-]	[-]	[-]	[]	[]			
		8	4	9	_					
	B 入学者数	(4)	(3)	(1)	(—)	()	()			
		[1]	[-]	[-]	[-]	[]	[]			
7	学定員超過率 B/A	1.	20	0.	90					

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については,認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各<u>年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>して** ください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - · 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、<u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

	報告年度	平成 2	8年度	平成 2	9 年度	平	成 3	0 年	度	·	±	考
学年		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季	入学	その他	の学期		#	<i>5</i>
		8	4	9	4							
1 年	₽次	[1]	[-]	[0]	[-]	[]	[]			
		(-)	(-)	(-)	(-)							
				7	_							
2 年	⋷次			[1]	[-]	[]	[]			
				(-)	(-)	()	()			
					/							
3 年	⋷次					[]	[]			
						()	()			
		1	2	2	0							
計	t	[1]	[1]	[]			
		(-	-)	(-	.)	()			

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退气	学者数(内訳)		主な退学理由	入学者数に 対する退学者数
対象年度			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		の割合 (a/b)
			平成28年度	1 人	0 人	就職(1人)	
平成28年度 入学者	8 人	1 人	平成29年度	0 人	0 人		12.50 %
			平成30年度	人	人		
平成29年度	9 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %
入学者	· ·	0 X	平成30年度	人	人		0 70
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
合 計	17 人	1 人					5.88 %

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 総合理工学専攻>

(1) 授業科目表

	科目 区分	授業科目の名称	配 当 ま る る る る る り は す す る の は 開 調 は り こ 。 し る り 。 り 。 り 。 り 。 り 。 り 。 り 。 り 。 り 。 り		単位数	教 授	専任教				F	備考
		グラントプロポーザル論	表す。 1 前 1後		1	6 7	0 1					ポニハ・ス カリキュラム編成調 整による開講期の変 更(28) 当初予定から担当教 員滅員(28)
			随時		2	10						担当者の変更(29)
		<u></u> 短期インターンシップ	随時		1	 10				 	 	担当者の変更(29)
	共通	学際領域セミナー	随時	1	-	42 43	16 17 15		<u>2</u> L			担当教員の追加等 (28) 担当教員減員(29)
	目	英語スキルアップセミナー	1 • 2 • 3	1							兼 4 兼 3 兼 7	tuニn [*] ス 当初予定から担当教 員減員 (28) 担当教員の追加 (29)
		総合理工学特別演習	3通	1		42 43	31 32 29		<u>2</u> L			担当教員の追加等 (28) 担当教員減員(29)
		総合理工学論文研究	1~3通	4		42 43	31 32 29		<u>2</u> L			担当教員の追加等 (28) 担当教員減員(29)
		生命機能電気学 I	1 • 2 • 3(1)		1		1					
		生命機能電気学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)		11		1			 _	 	
		計算分子設計学 I	1 • 2 • 3 (3)		1		1					
		計算分子設計学Ⅱ 	1 • 2 • 3 (4)		1	1	1					教育課程の充実を図 るため科目を追加 (28)
		天然物合成化学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)	***************************************	1	1						教育課程の充実を図 るため科目を追加 (28)
		生命超分子化学 I	1 • 2 • 3(1)		1				1		 	
専		生命超分子化学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)		1			+	1	_		
-3	生	分光分析化学 I	1 • 2 • 3(3)		1	1		1	1			担当教員の変更(28)
	۵	分光分析化学Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)		1	1		1	1		1	担当教員の変更(28)
門	命	生体分子分析科学 I	1 • 2 • 3(1)		1	 1						
	科	生体分子分析科学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)		1	 1				\perp		
	学	分子生物化学 I	1 • 2 • 3 (3)		1	 1				_	 	
科	7	分子生物化学Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)		1	 1		-				
	領	細胞分子機能学 I 細胞分子機能学 II	1 · 2 · 3(1)		1	1		\vdash		\dashv	 -	
目	域	神紀ガ子機能子 I 分子細胞制御学 I	1 • 2 • 3(1)		1	1						教育課程の充実を図 るため科目を追加 (29)
		分子細胞制御学Ⅱ	1 • 2 • 3(3)		1	1						教育課程の充実を図 るため科目を追加 (29)
		疾患分子生物学 I	1 • 2 • 3(3)		1	1						
		疾患分子生物学Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)		1	1						
		分子適応生命科学 I	1 • 2 • 3(1)		1		1	<u> </u>		_		
		分子適応生命科学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)		1		1	₋		 4	 -	11>-
		先端生命科学 I	1 • 2 • 3(3)	1		6 4 6	3	4	<u>2</u> - -			オムニハ・ス 担当教員の追加(28) オムニハ・ス
		先端生命科学 Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)	1		4	3		Ļ			担当教員の追加(28)

	T							
	有機機能材料学Ⅰ	1 • 2 • 3(1)	1	1		$\perp \perp \perp$		
	有機機能材料学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)	1	1				
	触媒プロセス工学 I	1 • 2 • 3(3)	1	1				
	触媒プロセス工学Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)	1	1				
	炭素資源変換工学 I	1 • 2 • 3(1)	1	1				
	炭素資源変換工学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)	1	1				
	資源応用物理化学 I	1 • 2 • 3(3)	1		1	+	_	
		1 • 2 • 3(4)	1		1	-		-
	資源応用物理化学Ⅱ							-
	無機機能材料学 I	1 • 2 • 3(1)	1		1			
	無機機能材料学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)	1		1			
	化学プロセス設計工学 I	1 • 2 • 3(3)	1	1				後任選考中(28)
	化学プロセス設計工学 Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)	1	1				後任選考中(28)
	エネルギープロセス工学 I	1 • 2 • 3(1)	1	1				
	エネルギープロセス工学 II	1 • 2 • 3(2)	1	1				:
	電気化学プロセス I	1 • 2 • 3 (3)	1		1		***************************************	教育課程の充実を るため科目を追加 (29)
	電気化学プロセス II	1 - 2 - 3 (4)	1		1			教育課程の充実を るため科目を追加
	 生物プロセスエ学 I	1 • 2 • 3(3)	1	1	_	+	_	(29)
						-		
44-	生物プロセス工学Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)	1	1	_			<u> </u>
物	分離プロセス設計学 I	1 • 2 • 3(1)	1		1			
質	分離プロセス設計学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)	1		1			
Į.	回折結晶学 I	1 - 2 - 3(1)	1	1				
科	回折結晶学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)	1	1				
1	固体分光学 I	1 • 2 • 3(3)	1	1				
学	固体分光学Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)	1	1		1		
	磁性材料工学I	1 • 2 • 3(1)	1	1		+ +		1
領	磁性材料工学Ⅱ	1 • 2 • 3(1)	1	1				
					1			<u>:</u>
域	磁性薄膜工学I	1 • 2 • 3(3)	1		1			
	磁性薄膜工学Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)	1		1			
	表面物性化学 I	1 • 2 • 3(3)	1	1				
	表面物性化学Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)	1	1				
	電極反応工学 I	1 • 2 • 3(1)	1	1				
1	電極反応工学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)	1	1				
	高温反応設計学Ⅰ	1 • 2 • 3(3)	1		1			
	高温反応設計学Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)	1		1	+		
			1		1	+		-
	無機構造材料学Ⅰ	1 • 2 • 3(1)				+		
	無機構造材料学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)	1		1			-
	界面制御工学Ⅰ	1 • 2 • 3(3)	1		1			
	界面制御工学Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)	1		1			:
	構造材料物性学Ⅰ	1 • 2 • 3(1)	1		1			
	構造材料物性学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)	1		1			
	凝固プロセス工学 I	1 • 2 • 3(3)	1	1				
	凝固プロセス工学 II	1 - 2 - 3 (4)	1	1				
		1 • 2 • 3 (4)	1	1		+		<u> </u>
	先端無機材料設計学 I							
	先端無機材料設計学Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)	1	1	-	+		-
	応用弾塑性力学 I	1 • 2 • 3(1)	1	1		+		-
	応用弾塑性力学Ⅱ	1 • 2 • 3(2)	1	1				
	超伝導材料プロセス学Ⅰ	1 • 2 • 3 (3)	1		1			-
L	超伝導材料プロセス学Ⅱ	1 • 2 • 3 (4)	1		1			
	代数学特論Ⅷ	1 • 2 • 3(1)	1	1		\top		
	代数学特論Ⅷ	1 • 2 • 3(3)	1	1				
	幾何学特論 V	1 • 2 • 3(2)	1		1	+		
	茂円子行調 V 幾何学特論 VI	1 • 2 • 3(4)	1		1	-		
珊					-	+	_	-
4	解析学特論Ⅵ	1 • 2 • 3(1)	1	1				
学	解析学特論Ⅷ	1 • 2 • 3 (3)	1	1	_			
数	応用物性学特論 I	1 • 2 • 3(1)	1		1			
理系	応用物性学特論Ⅱ	1 • 2 • 3(2)	1		1			:
<u> </u>	量子輸送論 I	1 • 2 • 3(1)	1	1				-
電	量子輸送論Ⅱ	1 - 2 - 3(2)	1	1				
気	超伝導物理学特論 I	1 • 2 • 3(3)	1		1			Ī.
電子	超伝導物理学特論 II	1 • 2 • 3 (4)	1		1			
情報	シミュレーション工学 I	1~3	1	1				担当教員退職によ 後任公募予定(29)
学知	シミュレーション工学Ⅱ	1~3	1	4				担当教員退職によ 後任公募予定(29)
域	電力エネルギー工学 I	1~3	1				兼1	
224	電力エネルギー工学Ⅱ	1~3	1				兼1	1
	電力デバイス・材料工学 I	1~3	1		1	+	144	-
					1	+	_	-
子		1~3	1					
	電力デバイス・材料工学Ⅱ	1 0						
	電磁エネルギー変換機器工学特論 I	1~3	1	1				
		1~3	1 1	1 1	***************************************			

1 1	1		加加亜フ料御シュニナエヴェ	1 1		-		, ,	-					<u> </u>
			知的電子制御システム工学 Ⅱ ナノデバイス工学 Ⅰ	1~3	\vdash	1		 	1		 	 	兼1	<u> </u>
		Ì	<u>アノテハイスエ字Ⅰ</u> ナノデバイスエ学Ⅱ	1~3	 	1	ļ	 	ļ				兼1	<u> </u>
		į	プノテハイスエチョ 電磁波・デバイス工学 I	1~3		1	***************************************	1	******************	***************************************			- AK I	
	数		電磁波・デバイス工学Ⅱ	1~3		1		1						<u>.</u>
	理		半導体材料・デバイス工学Ⅰ	1~3		1	l		1					
	埋		半導体材料・デバイス工学Ⅱ	1~3		1			1					
	-		有機光機能材料・デバイス工学I	1~3		1			1					
	電	Ì	有機光機能材料・デバイス工学Ⅱ	1~3		1		 	1		ļ	L		
	_	エ	光・電子デバイス工学 I	1~3		1			1					教育課程の充実を図 るため科目を追加 (28)
	電子	学	光・電子デバイス工学Ⅱ	1~3		1			1					教育課程の充実を図 るため科目を追加 (28)
	情		光ネットワーク工学 I	1~3		1		1	l					
		₹ 1	光ネットワーク工学Ⅱ	1~3		1		11	ļ					
	報		信号処理システム工学特論 I	1~3		1		ļi	1					
	学		信号処理システム工学特論 Ⅱ 超音波エレクトロニクス I	1~3	 	1		1	<u> </u>				 	<u>:</u>
			超音波エレクトロニクスⅡ	1~3		1		1	ļ					
	領		感覚情報工学特論 I	1 • 2 • 3 (1)		1		1						
	域		感覚情報工学特論Ⅱ	1 • 2 • 3 (2)		1		1						
			リモートセンシング工学特論 I	1 • 2 • 3 (1)		1		1						
		Ì	リモートセンシング工学特論Ⅱ	1 · 2 · 3 (2)	 	1		1	<u> </u>	-	ļ	ļ	ļ	-
			情報通信ネットワーク学特論I	1 · 2 · 3 (3)	ļ	1	ļ	ļ	1				ļ	
 		-	情報通信ネットワーク学特論Ⅱ		$\vdash \vdash \vdash$		$\vdash \vdash \vdash$	-		\vdash	$\vdash \vdash$	$\vdash \vdash$	\vdash	<u>=</u>
			システム材料評価学 	1~3		2		1						1
専			機械微小材料学特論	1~3		2		1						
-			超精密計測工学 	1~3		2			1					<u> </u>
門			プノ 燃性材料工子 機能性材料学特論	1~3		2			1					<u> </u>
科			表面構造評価特論	1~3		2			1					<u> </u>
目			トライボロジー特論	1~3		2			4					担当教員退職により 後任公募予定(29)
			生物・医用流体工学	1~3		2		1						
			熱エネルギー変換工学	1~3	***************************************	2		1	Tononononononononono	***************************************	*******************************		******************	
			応用流体力学特論	1~3		2		1						後任選考中(28)
	シス	ζ	低温蓄熱工学	1~3		2			1	***************************************				
	7 1	`~	機械システム制御論	1~3		2		1						-
	テサ	۴	生体工学特論	1~3		2		1						
	イン		システムエコデザイン工学特論	1~3		2		1		<u> </u>				<u> </u>
	I	E	熱移動促進工学	1~3		2		1						
	学領	Į.	生体運動制御工学	1~3		2							兼1	
	垣	災	機械材料接合工学	1~3		2		1			ļi	ļi		
			表面加工工学特論	1~3		2			1				-	数本調和の大中と同
			バイオ流体工学特論	1~3		2		1						教育課程の充実を図 るため科目を追加 (29)
			数值解析学	1~3	<u> </u>	2		1		L			L	
			環境水理学特論	1~3		2		1						
			地盤システム工学	1~3		2			1					
			地域交通工学	1~3		2		1						
			地域・社会資本計画学	1~3		2			1					
			建設材料学特論	1~3		2		1						
			コンクリート構造工学特論	1~3		2		1						

(央	語によ	る特別コース)					I					ı		
	된 묘		配当年次		単位数	Į.	j	専任教	八員等	の配	置			
	科目 区分	授業科目の名称	ある科目は クォーター制で開 講する。 ()の数は 開講時期を 表す。	必修	選択	自由	教 授	准教授	講師	i 助 钅	数 助	手		備考
		Grant Proposal (グラントプロポーザル論)	1前 1後		1		6 7	0 1						九二パス カリキュラム編成調 整による開講期の変 更(28) 当初予定から担当教 員滅員(28)
		Long Internship (長期インターンシップ)	随時		2		10							担当者の変更(29)
	共	Short Internship (短期インターンシップ)	随時		1		10							担当者の変更(29)
	通 科	Interdisciplinary Seminar (学際領域セミナー)	随時	1			42 43	16 17 15	2 1					担当教員の追加等 (28) <mark>担当教員減員(29</mark>)
	目	English Academic Writing and Presentation Development Seminar (英語スキルアップセミナー)	1 • 2 • 3	1								ŀ	兼 4 兼 3 兼 7	オムニバス 当初予定から担当教 員減員(28) <mark>担当教員の追加(29</mark>)
		Advanced Tutorial Course (総合理工学特別演習)	3通	1			42 43	31 32 29	2 1					担当教員の追加等 (28) <mark>担当教員減員(29</mark>)
		Research Thesis (総合理工学論文研究)	1~3通	4			42 43	31 32 29	2					担当教員の追加等 (28) <mark>担当教員減員(29)</mark>
		Biofunctional Electrochemistry I (生命機能電気学I)	1 • 2 • 3(1)		1			1						
		Biofunctional Electrochemistry Ⅱ (生命機能電気学Ⅱ)	1 • 2 • 3(2)		1			1						
		Computational Chemistry for Molecular Design I (計算分子設計学I)	1 • 2 • 3(3)		1			1						
		Computational Chemistry for Molecular Design II (計算分子設計学II)	1 • 2 • 3 (4)		1			1						
		Synthetic Natural Products Chemistry I (天然物合成化学 I)	1 • 2 • 3(1)		1		1							教育課程の充実を図 るため科目を追加 (28)
専		Synthetic Natural Products Chemistry Ⅱ (天然物合成化学Ⅱ)	1 • 2 • 3(2)		1		1							教育課程の充実を図 るため科目を追加 (28)
サ	生	Supramolecular Chemistry in Biology I (生命超分子化学 I)	1 • 2 • 3(1)		1				1					
門	命科	Supramolecular Chemistry in Biology II (生命超分子化学II)	1 • 2 • 3(2)		1				1					
	学	Spectroscopy and Analytical Cemistry I (分光分析化学I)	1 • 2 • 3(3)		1		4		1					担当教員の変更(28)
科	領	Spectroscopy and Analytical Cemistry II (分光分析化学I)	1 • 2 • 3 (4)		1		1		1					担当教員の変更(28)
	域	Bioanalytical Science I (生体分子分析科学 I)	1 • 2 • 3(1)		1		1							
		Bioanalytical Science II (生体分子分析科学II)	1 • 2 • 3(2)		1		1							
		Molecular Biological Chemistry I (分子生物化学 I)	1 • 2 • 3(3)		1		1							
		Molecular Biological Chemistry II (分子生物化学II) Molecular Cell Biology I	1 • 2 • 3 (4)	*******************************	1	***************************************	1							
		Molecular Cell Biology I (細胞分子機能学 I) Molecular Cell Biology II	1 • 2 • 3(1)		1		1							
		(細胞分子機能学Ⅱ)	1 • 2 • 3(2)		1		1					4		教育課程の充実を図
		Molecular Cell Regulation Science I (分子細胞制御学 I)	1 • 2 • 3(1)		1		1							るため科目を追加 (29) 教育課程の充実を図
		Molecular Cell Regulation Science I 分子細胞制御学 I	1 • 2 • 3(3)		1		1							るため科目を追加 (29)

		Molecular Biology of Disease I (疾患分子生物学 I)	1 • 2 • 3(3)		1		1				
	生命	Molecular Biology of Disease Ⅱ (疾患分子生物学Ⅱ)	1 • 2 • 3 (4)		1		1				
	科	Evolutional Biology in Medicine I (分子適応生命科学 I)	1 • 2 • 3(1)		1			1			
	学	Evolutional Biology in Medicine II (分子適応生命科学II)	1 • 2 • 3(2)		1			1			
	領	Trends in Life Sciences I (先端生命科学I)	1 • 2 • 3(3)	1			6 4	3	2 1		オムニバス 担当教員の追加(28)
	域	Trends in Life Sciences Ⅱ (先端生命科学Ⅱ)	1 • 2 • 3 (4)	1			6 4	3	2		ガニバス 担当教員の追加(28)
		Organic Functional Materials I (有機機能材料学 I)	1 • 2 • 3(1)		1		1				
		Organic Functional Materials II (有機機能材料学Ⅱ)	1 • 2 • 3(2)		1		1				
		Catalytic Process Engineering I (触媒プロセスエ学 I)	1 • 2 • 3(3)		1		1				
		Catalytic Process Engineering Ⅱ (触媒プロセス工学Ⅱ)	1 • 2 • 3 (4)		1		1				
		Carbon Resource Processing I (炭素資源変換工学 I)	1 • 2 • 3(1)		1		1				
		Carbon Resource Processing Ⅱ (炭素資源変換工学Ⅱ)	1 • 2 • 3(2)		1		1				
		Physical Chemistry for Resources I (資源応用物理化学 I)	1 • 2 • 3(3)		1			1			
		Physical Chemistry for Resources I (資源応用物理化学I) Functional Inorgainic Materials I	1 • 2 • 3 (4)		1			1			
		(無機機能材料学 I)	1 • 2 • 3(1)		1			1			
専		Functional Inorgainic Materials II (無機機能材料学II) Chemical Process Design I	1 • 2 • 3(2)		1			1			
		(化学プロセス設計工学 I) Chemical Process Design II	1 • 2 • 3(3)		1		4				後任選考中(28)
門		(化学プロセス設計工学II) Energy Process Engineering I	1 - 2 - 3(4)		1		4				後任選考中(28)
科	物	(エネルギープロセス工学 I) Energy Process Engineering II	1 • 2 • 3(1)		1		1				
	質	(エネルギープロセス工学 II)	1 • 2 • 3(2)		1		1				教育課程の充実を図
目	科	Electrochemical Process I (電気化学プロセス I)	1 • 2 • 3(3)		1			1			教育課程の元美を図 るため科目を追加 (29)
	学 領	Electrochemical Process I (電気化学プロセスII)	1 • 2 • 3 (4)		1			1			教育課程の充実を図 るため科目を追加 (29)
:	域	Biological Process Engineering I (生物プロセス工学 I)	1 • 2 • 3(3)		1		1				
		Biological Process Engineering II (生物プロセス工学II)	1 • 2 • 3 (4)		1		1				
		Advanced Chemical Process Design I (分離プロセス設計学I)	1 • 2 • 3(1)		1			1			
		Advanced Chemical Process Design II (分離プロセス設計学II)	1 • 2 • 3(2)		1	*****************		1			
		Diffraction Crystallography I (回折結晶学 I)	1 • 2 • 3(1)		1		1				
		Diffraction Crystallography Ⅱ (回折結晶学Ⅱ)	1 • 2 • 3(2)	***************************************	1	***********************	1	***************************************			
		Solid-State Spectroscopy I (固体分光学 I)	1 • 2 • 3(3)		1		1				
		Solid-State Spectroscopy II (固体分光学II)	1 • 2 • 3 (4)		1		1				
		Advanced Magnetic Materials I (磁性材料工学I)	1 • 2 • 3(1)		1		1				
		Advanced Magnetic Materials II (磁性材料工学II) Advanced Magnetic Thin Films I	1 • 2 • 3(2)		1		1				
		(磁性薄膜工学 I)	1 • 2 • 3(3)		1			1			
		Advanced Magnetic Thin Films II (磁性薄膜工学II) Physical Chemistry of Surface I	1 • 2 • 3 (4)		1			1			
		rhysical Chemistry of Surface I (表面物性化学 I) Physical Chemistry of Surface II	1 • 2 • 3(3)		1		1				
		Physical Chemistry of Surface Ⅱ (表面物性化学Ⅱ)	1 • 2 • 3 (4)		1		1				

			Electrochemical Engineering for Electrode Reaction I (電極反応工学I)	1 • 2 • 3(1)		1		1					
			Electrochemical Engineering for Electrode Reaction I (電極反応工学II)	1 • 2 • 3(2)		1		1					
			Design of Reaction for High Temperature Materials I (高温反応設計学I)	1 • 2 • 3(3)	***************************************	1			1	***************************************	***************************************	 	
			Design of Reaction for High Temperature Materials I (高温反応設計学I)	1 • 2 • 3 (4)		1			1				
			Inorganic Structural Materials I (無機構造材料学I)	1 • 2 • 3(1)		1			1				
			Inorganic Structural Materials Ⅱ (無機構造材料学Ⅱ)	1 • 2 • 3(2)		1			1				
			Interface Controlling Technology I (界面制御工学I)	1 • 2 • 3(3)		1			1				
	牧	ע	Interface Controlling Technology Ⅱ (界面制御工学Ⅱ)	1 • 2 • 3 (4)		1			1				
	質和	`	Physical Properties of Structural Materials I (構造材料物性学I)	1 • 2 • 3(1)		1			1				
	学	ź	Physical Properties of Structural Materials II (構造材料物性学II)	1 • 2 • 3(2)		1			1				
	前垣		Solidification Process Engineering I (凝固プロセス工学I)	1 • 2 • 3(3)		1		1					
		•	Solidification Process Engineering II (凝固プロセス工学II)	1 • 2 • 3 (4)		1		1					
			Advanced design of inorganic Materials I (先端無機材料設計学I)	1 • 2 • 3(3)	***************************************	1	***************************************	1					
専			Advanced design of inorganic Materials II (先端無機材料設計学II)	1 • 2 • 3 (4)		1		1					
			Applied Mechanics of Elasto-Plastic Materials I (応用弾塑性力学I)	1 • 2 • 3(1)		1		1					
門			Applied Mechanics of Elasto-Plastic Materials II (応用弾塑性力学II)	1 • 2 • 3(2)		1		1					
科			Superconducting Materials Processing Technology I (超伝導材料プロセス学I)	1 • 2 • 3(3)		1			1				
目			Superconducting Materials Processing Technology I (超伝導材料プロセス学I)	1 • 2 • 3 (4)		1			1				
			Advanced Algebra Ⅷ (代数学特論Ⅷ)	1 • 2 • 3(1)		1		1					
			Advanced Algebra 垭 (代数学特論垭)	1 • 2 • 3(3)		1		1					
			Advanced Geometry V (幾何学特論V)	1 • 2 • 3(2)		1			1				
	数		Advanced Geometry VI (幾何学特論VI)	1 • 2 • 3 (4)		1			1				
	理		Advanced Analysis Ⅷ (解析学特論Ⅷ)	1 • 2 • 3(1)		1		1					
	電	学	Advanced Analysis Ⅷ (解析学特論Ⅷ)	1 • 2 • 3(3)		1		1					
	気	•	Applied Condensed Matter Physics I (応用物性学特論 I)	1 • 2 • 3(1)		1			1				
	電	系	Applied Condensed Matter Physics I (応用物性学特論 I)	1 • 2 • 3(2)		1			1				
	子		Quantum Transport Theory I (量子輸送論 I)	1 • 2 • 3(1)		1		1					
	情報		Quantum Transport Theory II (量子輸送論II)	1 • 2 • 3(2)		1		1				 	
	報学		Advanced Physics of Superconductors I (超伝導物理学特論 I)	1 • 2 • 3(3)		1			1				
	領		Advanced Physics of Superconductors II (超伝導物理学特論 II)	1 • 2 • 3 (4)		1			1				le de Marcons
	域	ェ	Computer Simulation Engineering I (シミュレーション工学 I)	1~3		1		4					担当教員退職により後任公募予定(29)
		字	Computer Simulation Engineering II (シミュレーション工学II)	1~3		1		4					担当教員退職により 後任公募予定(29)
		系	Electric Energy Engineering I (電カエネルギー工学 I)	1~3		1						兼1	

i		ı	E E								:
			Electric Energy Engineering Ⅱ (電力エネルギー工学Ⅱ)	1~3	1					 兼1	
			Power Device and Materials Engineering I (電カデバイス・材料工学 I)	1~3	1			1			
			Power Device and Materials Engineering Ⅱ (電力デバイス・材料工学Ⅱ)	1~3	1			1			
			Advanced Machinery Engineering for Electromagnetic Energy Conversion I (電磁エネルギー変換機器工学特論I)	1~3	1		1				
			Advanced Machinery Engineering for Electromagnetic Energy Conversion I (電磁エネルギー変換機器工学特論II)	1~3	1		1				
			Intelligent Electronic Control System Engineering I (知的電子制御システム工学 I)	1~3	1			1			
			Intelligent Electronic Control System Engineering II (知的電子制御システム工学II)	1~3	1			1			
			Nanodevice Engineering I (ナノデバイス工学I)	1~3	1					兼1	
			Nanodevice Engineering II (ナノデバイス工学II)	1~3	1					兼1	
			Terahertz Wave Technologies and Their Devices I (電磁波・デバイス工学I)	1~3	1		1				
			Terahertz Wave Technologies and Their Devices II (電磁波・デバイス工学Ⅱ)	1~3	1		1				
	数理		Semiconductor Material and Device Engineering I (半導体材料・デバイス工学 I)	1~3	1	***************************************		1		 ***************************************	
専	電		Semiconductor Material and Device Engineering II (半導体材料・デバイス工学II)	1~3	1			1			
門	気		Organic Photo-functional Material and Device I (有機光機能材料・デバイス工学 I)	1~3	1			1			
科	電子		Organic Photo-functional Material and Device II (有機光機能材料・デパイス工学II)	1~3	1			1			
	情報	7	Photonic and Electronic Device Engineering I (光・電子デバイス工学I)	1~3	1			1			教育課程の充実を図 るため科目を追加 (28)
目	学領		Photonic and Electronic Device Engineering II (光・電子デバイス工学II)	1~3	 1			1		 ***************************************	教育課程の充実を図 るため科目を追加 (28)
	域		Optical Nework Engineering I (光ネットワーク工学I)	1~3	1		1				
			Optical Nework Engineering II (光ネットワーク工学II)	1~3	1		1				
			Advanced Signal Processing System Engineering I (信号処理システム工学特論 I)	1~3	1			1			
			Advanced Signal Processing System Engineering II (信号処理システム工学特論II)	1~3	1			1			
			Ultrasonic Electronics I (超音波エレクトロニクス I)	1~3	1		1				
			Ultrasonic Electronics Ⅱ (超音波エレクトロニクスⅡ)	1~3	1		1				
			Advanced Sensory Information Engineering I (感覚情報工学特論 I)	1 • 2 • 3 (1)	1		1				
			Advanced Sensory Information Engineering Ⅱ (感覚情報工学特論Ⅱ)	1 • 2 • 3 (2)	1		1				
			Advanced Remote Sensing Engineering I (リモートセンシング工学特論 I)	1 • 2 • 3 (1)	1		1				
			Advanced Remote Sensing Engineering Ⅱ (リモートセンシング工学特論Ⅱ)	1 • 2 • 3 (2)	1		1				
			Advanced Information and Communication Network Engineering I (情報通信ネットワーク学特論 I)	1 • 2 • 3 (3)	1			1			
			Advanced Information and Communication Network Engineering II (情報通信ネットワーク学特論II)	1 • 2 • 3 (4)	1			1			

		Mechanics of Materials for Systems (システム材料評価学)	1~3	2		1						
		Advanced Engineering of Micro/Nano										
		Materials (機械微小材料学特論)	1~3	2		1						
		Ultraprecision Measurement System	1~3	2		1						
		(超精密計測工学) Nano Magnetic Materials Engineering	1~3									
		(ナノ磁性材料工学)	1~3	2			1					
		Advanced functional Materials Science (機能性材料学特論)	1~3	2			1					
		Characterization of Subsurface Structure (表面構造評価特論)	1~3	2			1					
		Advanced Tribology (トライボロジー特論)	1~3	2			1					担当教員退職により 後任公募予定(29)
		Biomedical Fluid Mechanics	1~3	 2		1	***************************************		***************************************			夜世公务了是(29)
		(生物・医用流体工学) Thermal Energy Conversion Engineering	1~3	 		I	***************************************					
		(熱エネルギー変換工学)	1~3	2		1						
		Advanced Applied Fluid Mechanics (応用流体力学特論)	1~3	2		1						後任選考中(28)
		Low Temperature Thermal Energy Storage Engineering	1~3	2			1					
	シ	(低温蓄熱工学)	1~3	2			ı					
専	ステ	Advanced Control of Mechanical Systems (機械システム制御論)	1~3	2		1						
門	ム デ ザ	Biomedical Engineering (生体工学特論)	1~3	 2	*******************************	1	***************************************	***************************************		***************************************		
科	イン	System Ecodesign Engineering (システムエコデザイン工学特論)	1~3	2		1						
1-1	フ エ 学	Heat Transfer Enhancement (熱移動促進工学)	1~3	2		1						
目	領域	Control Engineering for Biomechanisms (生体運動制御工学)	1~3	2							兼1	
	*34	Joining of Engineering Materials (機械材料接合工学)	1~3	2		1						
		Advanced Surface Processing Engineering (表面加工工学特論)	1~3	2			1					
		Biological fluid Engineering (バイオ流体工学特論)	1~3	2		1						教育課程の充実を図 るため科目を追加 (29)
		Numerical Analysis (数値解析学)	1~3	2		1						
		Environmental Hydraulics (環境水理学特論)	1~3	2		1						
		Geosystems Engineering (地盤システム工学)	1~3	2			1					
		Regional Traffic Engineering (地域交通工学)	1~3	2		1						
		Regional Infrastructure Planning (地域・社会資本計画学)	1~3	2			1					
		Advanced Construction Materials (建設材料学特論)	1~3	2		1						
		Advanced Concrete Structural Engineering (コンクリート構造工学特論)	1~3	2		1						

- 注) 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。) 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可
 - 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	設置	時の計画			変 更	状 況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	由自	計	1)用 行
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
6	134	0	140	6	143	0	149	
				[±0]	[+9]	[±0]	[+9]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0	%
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	140	_	0	70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区	分				内				2	\$			備考
(1)	×	分		専	用	共	用		共用する(学校等の ³				計	
	·······校	舎敷均	<u>t</u>		258, 144 m²		0		1 12 (1 0)		mi		258, 144 m²	
校	運	動場用地	1		76, 253 m²		0	m²		0	m [†]		76, 253 m²	
地	小	計	+		334, 397 m²	0 m²		m²	0 m²		mi	า์ 334, 397 m		
等	そ	の他	į		104, 058 m²		0	mî		0	mî		104, 058 m²	
ਚੋ	合	計	ŀ		438, 455 m²		0	m [®]		0	m	m 438, 455 m		
				専	用	共	用		共用する(学校等の [®]				計	
(2) 校		舎			132, 654 m ²		0	m²		0	m		132, 654 m ²	
				(132, 6	54 m²)	(0 m²)	((0 m²)		(132, 6		, 654 m²)	
			講	義室	演習	室	実験実	習室	情報処	理学習	施設	語与	学習施設	·大学全体
(3) 教	(3) 教 室 等			99 室		130 室		543 室	43 室		14 室		6 室	X1211
										職員 4	人) (補助	職員 1人)	
					新設学部等	等の名称				室		数		
														平成28年8月専任教授
(4) 専	任教員研究	究室												1名退職 (29) 平成29年3月専任准教授
										70				1名退職(29)
				理コ	学研究科 絲	総合理工学	専攻			75 77	7		室	
				図 書	学術杂	推誌								
(5)	新設学 の名		〔う	ち外国書〕	〔うち外	国書〕	電子ジャ	ーナル	視聴覚	資料	機械・器	具	標本	
	.,	. 1.3		ш	+	種 〔う ^っ		国書〕		点		点	点	
図	-m - w		443, 60	62 (115, 105)	9, 572 (2,	715)	715] 6, 850 [5, 40		0] 3,071		6, 341		19, 370	大学全体での共用分を
書 • 設	理工学	研究科	(427, 3	82 [113, 216])	(9, 572 [2	2, 715)	(6, 850 [5, 400])	(2, 8	93)	(6, 341)	(19, 170)	含む
備	÷.	L	443, 60	62 [115, 105]	9, 572 [2,	715)	6, 850 [5,	400]	3, 0	71	6, 341		19, 370	
	Ē		(427, 3	82 [113, 216])	(9, 572 [2	2, 715))	(6, 850 [5, 400])	(2, 8	93)	(6, 341)	(19, 170)	
(6) 🗵	書	館		面	積		閲覧座	席数		収	納可	能	冊数	大学全体
(0) 🗷		ДЬ.		6, 321	mi		652				582,	537		
(7) 体	育	館		面	積			体育館以	外のスポ	ーツ施	設の概要			大学全体
(1) [1	-	10		7, 908	m [†]	ß	坴上競技場 ,	野球場,	多目的運	動場,	テニスコー	- ト ,	プール	
	経費		×	分	開設年度	完成年度	区	分	開設前	年度	開設年原	ŧ	完成年度	
(8)	の見	教員 1	人当り	研究費等	- 千円	- 1	-円 図書	購入費	_	千円	_ =	千円	一 千円	
経費の積り及)兄 !び		研3	究 費 等	- 千円	- 1	-円 設備	購入費		千円	_ =	千円	一 千円	
	維持方法 の 概 要 学生1人当り 納付金		第	1年次	第2年次	第	3 年次	第4年		第	5年次		第6年次	
				一 千円	- 1	円	一 千円	_	- 千円		一 千円		一 千円	
	学	生納付金	:以外の紅	維持方法の概要	要									

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秋	田大	学						備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学定 員	収 容定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍			
≪ A C 対象学部等≫			人						
国際資源学部								秋田市手形学園町1番1号	
国際資源学科	4	120	_	480	学士 (資源学)	1.02	平成26		
教育文化学部								秋田市手形学園町1番1号	
学校教育課程	4	110	_	440	学士 (学校教育)	1.04	平成10		平成26年度入学定員 増(10人)
地域文化学科	4	100	_	400	学士	1.02	平成26		
地域科学課程	4	_	-	_	学士	_	平成10		
国際言語文化課程	4	_	-	_	学士 (国際言語 文化)	_	平成10		平成26年度より 学生募集停止
人間環境課程	4	-	-	_	学士	-	平成10		
医学部								秋田市本道一丁目1の1	
医学科	6	124	2年次 5	759	学士 (医学)	1.00	昭和45		平成27年度入学定員 増(2人)
保健学科	4	106	3年次 14	452	学士 (保健学) 学士 (看護学)	1.05	平成14		
理工学部								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学科	4	45		180	学士 (理学)	0.99	平成26		
物質科学科	4	110		440	学士(理工学)	1.02	平成26		
数理·電気電子 情報学科	4	120		480	学士(理学)	1.07	平成26		
システムデザイン 工学科 各学科共通	4	120	3年次	480 12	学士 (工学) 学士 (工学)	1.09	平成26		
			12						
工学資源学部					*			秋田市手形学園町1番1号	
地球資源学科	4	_	_	_	学士 (資源学) 学士	_	平成10		
環境応用化学科	4	_	_	_	(工学) 学士 (工学)	_	平成20		
生命化学科	4	-	_	_	学士 (工学)	_	平成20		
材料工学科	4	_	_	_	学士 (理学) 学士 (工学)	_	平成10		_ 平成26年度より 学生募集停止
情報工学科	4	_	_	_	学士 (工学)	_	平成10		
機械工学科	4	_	_	_	、エテ <i>/</i> 学士 (工学)	_	平成10		
電気電子工学科	4	_	-	_	、一, <i>/</i> 学士 (工学)	_	平成10		
土木環境工学科	4	_	_	_	、エテ <i>/</i> 学士 (工学)	_	平成10		
各学科共通			3年次 12	_	·— -/				マ 平成28年度より 学生募集停止

大学院国際資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
資源地球科学専攻	2	17	_	34	修士 (資源学)	0.82	平成28		
					修士				
資源開発環境学専攻	2	23	_	46	(理学) 修士	0.71	平成28		
貝脲洲元垛圾于寻农	2	23		40	(資源学) 修士	0.71	十7,0,20		
					(工学)				
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	10	_	20	博士	0.65	平成28		
50,11,11,11,11					(資源学) 博士		, ,,,,==		
					(工学) 博士				
					(理学)				
大学院教育学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(修士課程)									
心理教育実践専攻	2	6	_	12	修士 (教育学)	1.08	平成28		
学校教育専攻	2	_	_	_	修士	_	平成元		h
教科教育専攻	2	_	_	_	(教育学) 修士		平成元		│ 平成28年度より 学生募集停止
教科教育等 及	2		_		(教育学)		一规儿		J
(専門職学位課程)									
教職実践専攻	2	20	_	40	教職修士	1.12	平成28		
37,137,132, 1, 2, 1					(専門職)		, ,,,,==		
大学院医学系研究科								秋田市本道一丁目1の1	
(修士課程)									
医科学専攻	2	5	_	10	修士 (医科学)	0.30	平成19		
(博士前期課程)					. .				
保健学専攻	2	12	_	24	修士 (看護学)	1.04	平成19		
					修士 (リハビリテー				
					ション科学)				
(博士後期課程)									
保健学専攻	3	3	_	9	博士 (保健学)	1.11	平成21		
(博士課程)					+ # +				
医学専攻	4	30	_	120	博士 (医学)	0.97	平成19		
								11-1	
大学院理工学研究科 (博士前期課程)								秋田市手形学園町1番1号	
生命科学専攻	2	15	_	30	修士	0.76	平成28		
					(理学) 修士				
物質科学専攻 数理·電気電子	2	42	_	84	(理工学)	0.79	平成28		
情報学専攻	2	45	_	90	(理学)	1.07	平成28		
					修士(工学)				
システムデザイン 工学専攻	2	36	_	72	修士 (工学)	0.97	平成28		
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	12	_	24	修士 (工学)	1.00	平成28		
					- '				

					Ī			i	, .
(博士後期課程)									
総合理工学専攻	3	10	_	20	博士 (理学) (理工学) 博士 (工学)	1.05	平成28		
大学院工学資源学研究科								秋田市手形学園町1番1号	
(博士前期課程)									
地球資源学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	_	平成14		
					修士 (資源学)				
環境応用化学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成24		
生命科学専攻	2	_	_	_	修士 (理学)	_	平成24		
材料工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
情報工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
機械工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
電気電子工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成14		
土木環境工学専攻	2	_	-	_	修士 (工学)	-	平成14		- 平成28年度より
共同ライフサイクル デザイン工学専攻	2	_	_	_	修士 (工学)	_	平成24		学生募集停止
(博士後期課程)									
資源学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	_	平成14		
					博士 (資源学)				
生命科学専攻	3	_	_	_	博士(理学)	_	平成26		
機能物質工学専攻	3	_	_	_	博士	_	平成14		
生産・建設工学専攻	3	_	_	_	博士	_	平成14		
電気電子情報 システム工学専攻	3	_	_	_	博士 (工学)	_	平成14		
									-

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 総合理工学専攻(博士後期課程)>

(1) 担当教員表

	設置時の計画				変 更 状 況						
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考	
専	教授	伊藤 英晃 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 分子生物化学 I (Molecular Biological Chemistry I) 分子生物化学 I (Molecular Biological Chemistry II) 先端生命科学 II (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学 II (Trends in Life Sciences II)							
専	教授	涌井 秀樹 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 疾患分子生物学 I (Molecular Biology of Diseas I) 疾患分子生物学 I (Molecular Biology of Diseas II) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学 II (Trends in Life Sciences II)							
専	教授	久保田 広志 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 細胞分子機能学 I (Molecular Cell Biology I) 細胞分子機能学 I (Molecular Cell Biology II) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences II)							
専	教授	尾高雅文()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) グラントプロポーザル論 (By インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 生体分子分析科学 I (Bioanalytical Science I) 生体分子分析科学 I (Bioanalytical Science II) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences II) 先端生命科学 II (Trends in Life Sciences II)							

専	教授	藤原憲秀()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) グラントプロボーザル論 (Grant Proposal) 天然物合成化学 I (Synthetic Natural Products Chemistry I) 天然物合成化学I (Synthetic Natural Products Chemistry II) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences II)						
専	教授	疋田 正喜 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学II (Trends in Life Sciences II)	専	教授	疋田 正喜	平成29年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences II) 分子細胞制御学 I (Molecular Cell Regulation Science I)	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追
専	准教授	秋葉 宇一 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 生命機能電気学 I (Biofunctional Electrochemistry I) 生命機能電気学 I (Biofunctional Electrochemistry II) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences II)						
専	准教授	天辰 禎晃 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 計算分子設計学 I (Computational Chemistry for Molecular Design I) 計算分子設計学 I (Computational Chemistry for Molecular Design II) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences II)						

			ı		-			
専	准教授	布村 渉 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 分子適応生命科学 I (Evolutional Biology in Medicine I) 分子適応生命科学 I (Evolutional Biology in Medicine II) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences II)				
専	講師	松村洋寿	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminary Seminary Medured Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 分光分析化学 I (Spectroscopy and Analytical Chemistry I) 分光分析化学 I (Spectroscopy and Analytical Chemistry II) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences II)				
専	講師	近藤(良彦	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 生命超分子化学 I (Supramolecular Chemistry for Biology I) 生命超分子化学 I (Supramolecular Chemistry for Biology II) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences I) 先端生命科学 I (Trends in Life Sciences II)				
専	教授	寺境 光俊 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 有機機能材料学 I (Organic Functional Materials I) 有機機能材料学II (Organic Functional Materials II)				
専	教授	村上 賢治 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 炭素資源変換工学 I (Carbon Resource Processing I) 炭素資源変換工学 I (Carbon Resource Processing I)				

専	教授	進藤 隆世志	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 触媒プロセス工学 I (Catalytic Process Engineering I) 触媒プロセス工学 I (Catalytic Process Engineering II)				
専	教授	菅原 勝康 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) エネルギープロセス工学 I (Energy Process Engineering I) エネルギープロセス工学 I (Energy Process Engineering I)				
専	教授	後藤 猛 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学施文研究 (Research Thesis) 生物プロセスエ学 I (Bioprocess Engineering I) 生物プロセスエ学 I (Bioprocess Engineering I)				
專	教授	宗像健三	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminary) 総合理工学特別演習(Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究(Research Thesis) 化学プロセス設計工学 I(Chemical Process Design I) 化学プロセス設計工学 I(Chemical Process Design I)		後任未定		平成27年9月退職 担当教員減員 (28) 平成27年9月退職 後任選考中 (28)
専	教授	齋藤 嘉一	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 回析結晶学 I (Diffraction Crystallography I) (Diffraction Crystallography II)				
專	教授	小玉展宏()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 固体分光学 I (Solid-State Spectroscopy I) 固体分光学II (Solid-State Spectroscopy II)				

		1		I	1					1
専	教授	齊藤 準 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) Meaury 特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) グラントプロボーザル論 (Grant Proposal) 磁性材料工学 I (Magnetic Materials I) 磁性材料工学 I (Magnetic Materials II)						
専	教授	原 基 ()	平成28年4月	長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 表面物性化学 I (Physical Chemistry of Surface I) 表面物性化学I	専	教授	麻生 節夫	平成29年4月	長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship)	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更 (29)
専	教授	田口正美()	平成28年4月	(Physical Chemistry of Surface II) 学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 電極反応工学 I (Electrochemical Engineering for Electrode Reaction I) 電極反応工学I (Electrochemical Engineering for Electrode Reaction II)						
専	教授	麻生 節夫	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 凝固プロセス工学 I (Solidification Process Engineering I) 凝固プロセス工学 I (Solidification Process Engineering II)						
専	教授	林 滋生	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 先端無機材料設計学 I (Advanced design of Inorganic Materials I) 先端無機材料設計学 I (Advanced design of Inorganic Materials II)						
専	教授	大口 健一 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) ※合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 応用弾塑性力学 I (Applied Mechanics of Elasto-Plastic Materials I) 応用弾塑性力学 I (Applied Mechanics of Elasto-Plastic Materials II)						

		1		TI TI	1	1		1
専	准教授	布田 潔 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 資源応用物理化学 I (Physical Chemistry for Resources I) 資源応用物理化学 I (Physical Chemistry for Resources II)				
專	准教授	加藤 純雄	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 無機機能材料学 I (Functional Inorganic Materials I) 無機機能材料学 I (Functional Inorganic Materials II)				
專	准教授	高橋 博	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 分離プロセス設計学 I (Advanced Chemical Process Design I) 分離プロセス設計学Ⅱ (Advanced Chemical Process Design I)				
専	准教授	吉村 哲	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論交研究 (Research Thesis) 磁性薄膜工学 I (Advanced Magnetic Thin Film I) 磁性薄膜工学 I (Advanced Magnetic Thin Film II)				
専	准教授	佐藤 芳幸	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 高温反応設計学 I (Electrochemical Engineering for Electrochemical Engineering for Electrode Reaction I) 高温反応設計学 I (Electrochemical Engineering for Electrode Reaction II)				
専	准教授	仁野 章弘	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 無機構造材料学 I (Inorganics Structural Materials I) 無機構造材料学 I (Inorganics Structural Materials II)				
専	准教授	福本 倫久	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 界面制御工学 I (Interface Controlling Technology I) 界面制御工学 I (Interface Controlling Technology II)				

			1	,						
専	准教授	棗 千修 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 構造材料物性学 I (Physical Properties of Structural Materials						
専	准教授	魯 小葉 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 超伝導材料プロセス学 I (Superconducting Materials Processing Technology I) 超伝導材料プロセス学 I 超伝導材料プロセス学 I Materials Processing Materials Processing Technology II)						
専	准教授	大川 浩一 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis)	専	准教授	大川 浩一	平成29年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 電気化学プロセス I (Electrochemical Process I) 電気化学プロセス II (Electrochemical Process II)	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追 加(29)
専	教授	山村 明弘	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminary) Seminary Med理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論交研究 (Research Thesis) 代数学特論取 (Advanced Algebra 取) 代数学特論取 (Advanced Algebra 取)						
專	教授	河上 肇 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 解析学特論 (Advanced Geometry WID) 解析学特論「(Advanced Geometry WID)						
專	教授	小野田 勝	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 量子輸送論 I (Quantum Transport Theory I) 量子輸送論 I (Quantum Transport Theory II)						

				学際領域セミナー						
専	教授	鈴木 雅史	平成28年4月	(Interdisciplinary Seminar) Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) シミュレーション工学 I (Computer Simulation Engineering I)						平成28年8月退職 担当教員減員 (29)
				シミュレーション工学I (Computer Simulation Engineering II)			後任未定			平成28年8月退職 後任公募予定 (29)
専	教授	田島 克文	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 電磁エネルギー変換機器工学特論 I (Advanced Machinery Engineering for Electromagnetic Energy Conversion I) 電磁エネルギー変換機器工学特計 I (Advanced Machinery Engineering for Electromagnetic Energy Conversion II)						
専	教授	倉林 徹 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 電磁波・デバイス工学 I (Teralertz Wave Technologies and Their Devices I) 電磁波・デバイス工学 I (Teralertz Wave Technologies and Their Devices II)						
				長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 学際領域セミナー	専	教授	倉林 徹 ()	平成29年4月	長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship)	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更 (29)
専	教授	今野 和彦 ()	平成28年4月	(Interdisciplinary Seminar) Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 超音波エレクトロニクス I (Ultrasonic Electronic I) 超音波エレクトロニクス II (Ultrasonic Electronic II)						
専	教授	小原 仁 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学協文研究 (Research Thesis) 光ネットワークエ学 I (Optical Network Engineering I) 光ネットワークエ学 I (Optical Network Engineering II)						

専	教授	水戸部 一孝 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) グラントプロポーザル論 (Grant Proposal) 感覚情報工学特論 I (Advanced Sensory Information Engineering I) 感覚情報工学特論I の機関情報工学特論I 」 に関情報工学特論I 」 に関情報工学特論I I に関情報工学特論I I に関情報工学特論I I に関情報工学特論I I に関情報工学特論I I に関情報工学特論I I に関情報工学特論I I に関情報工学特論I I に関情報工学特論I I I に関情報工学特論I I I I I I I I I I I I I I I I I I I						
				長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship)	専	教授	水戸部 一孝	平成29年4月	長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship)	(教員審査省略) 平成29年4月 担当者の変更 (29)
専	教授	景山 陽一 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) リモートセンシング工学特 施 I (Advanced Remote Sensing Engineering I) リモートセンシング工学特 倫 I (Advanced Remote Sensing Engineering I)						
専	准教授	小林(真人)	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 幾何学特論 V (Advanced Geometry V) 幾何学特論 VI (Advanced Geometry VI)						
専	准教授	山口 邦彦	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 応用物性学特論 I (Applied Condensed Matter Physics I) 応用物性学特論 I (Applied Condensed Matter Physics II)						
専	准教授	田沼慶忠()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 超伝導物理学特論 I (Advanced Physics of Superconductors I) 超伝導物理学特論 I (Advanced Physics of Superconductors I)						
専	准教授	熊谷誠治()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 電力デバイス・材料工学 I (Power Device and Materials Engineering I) 電力デバイス・材料工学I (Power Device and Materials Engineering I)						

			I	1	1	I	I	
専	准教授	三浦 武 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 知的電子制御システム工学 I (Intelligent Electronic Control System Engineering I) 知的電子制御システム工学 II (Intelligent Electronic Control System Engineering I)				
専	准教授	佐藤 祐一 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 半導体材料・デバイス工学 I (Semiconductor Material and Device Engineering I J 半導体材料・デバイス工学 II (Semiconductor Material and Device Engineering I J 単導体材料・デバイス工学 II (Semiconductor Material and Device Engineering II)				
専	准教授	山口 留美子	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 有機光機能材料・デバイス エ学 I (Organic Photo- functional Material and Device I) 有機光機能材料・デバイス エ学 II (Organic Photo- functional Material and Device II)				
専	准教授	河村 希典 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論交研究 (Research Thesis) 光・電子デバイス工学 I (Photonic and Electronic Device Engineering I) 光・電子デバイス工学I (Photonic and Electronic Device Engineering II)				
専	准教授	田中 元志 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 信号処理システム工学特論 I (Advanced Signal Processing System Engineering I) 信号処理システム工学特論 II (Advanced Signal Processing System Engineering II)				

				1				
専	准教授	橋本 仁 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 情報通信ネットワーク学特 論I (Advanced Information and Communication Network Engineering I) 情報通信ネットワーク学特 論I (Advanced Information and Communication				
専	教授	渋谷 嗣 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) システム材料評価学 (Mechanics of Materials for Systems)				
専	教授	村岡 幹夫	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) グラントプロポーザル論 (Grant Proposal) 機械微小材料学特論 (Advanced Engineering of Micro/Nano Materials)				
専	教授	奥山 栄樹	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 超精密計測工学 (Ultraprecision of Measurement System)				
專	教授	中村雅英()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 生物・医用流体工学 (Biomedical Fluid Engineering)				
專	教授	田子 真	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 熟エネルギー変換工学 (Thermal Energy Coversion Engineering)				
専	教授	長谷川 裕晃	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 応用流体力学特論				平成27年8月退職 担当教員減員(28)
				(Advanced Applied Fluid Mechanics)		後任未定		平成27年8月退職 後任選考中(28)

				T	1		1	Γ		Ţ
専	教授	長縄明大()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 機械システム制御論 (Advanced Control of Mechanical Systems)						
専	教授	巌見 武裕	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 生体工学特論 (Biomedical Engineering)						
専	教授	神谷 修 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 機械材料接合工学 (Joining of Engineering Materials)						
専	教授	三島望()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) システムエコデザイン工学 特論 (Special Theory on Systems Ecodesign)						
専	教授	足立 高弘 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 熟移動促進工学 (Heat Transfer Enhancement)	専	教授	足立 高弘 ()	平成29年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Short Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 然移動促進工学 (Heat Transfer Enhancement) バイオ流体工学特論 (Biological fluid Engineering)	(教員審査省略) 平成29年4月から 教育課程の充実を図るため科目を追
専	教授	後藤文彦()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) グラントプロポーザル論 (Grant Proposal) 数値解析学 (Numerical Analysis)						
専	教授	松富英夫()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 環境水理学特論 (Advanced Environmental Hydraulics)						

		-	ı	1	,	-			1
畴	教授	濱岡 秀勝	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 長期インターンシップ (Long Internship) 短期インターンシップ (Short Internship) 地域交通工学 (Regional Transport Engineering)					
専	教授	德重 英信 ()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 建設材料学特論 (Advanced Construction Materials)					
専	准教授	山本(良之)	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) ナノ磁性材料工学 (Nano Magnetic Materials and Devices)					
専	准教授	宮野 泰征 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 機能性材料学特論 (Advanced Functional Materials Science)					
専	准教授	山口 誠	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 表面構造評価特論 (Characterization of Subsurface Structure)					
専	准教授	野老山 貴行	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) トライポロジー特論					平成29年3月退職 担当教員減員 (29)
				(Advanced Tribology)			後任未定		平成29年3月退職 後任公募予定(29)
専	准教授	小松 喜美	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 低温蓄熱工学 (Low Temperature Thermal Energy Storage Engineering)					
専	准教授	高橋護()	平成28年4月	学際領域セミナー (Interdisciplinary Seminar) 総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 表面加工工学特論 (Advanced Surface Processing Engineering)					
専	准教授	荻野 俊寛 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 地盤システム工学 (Systematical Geotechnical Engineering)					

専	准教授	日野 智 ()	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) 地域・社会資本計画学 (Regional and Infrastructure Planning)						
専	准教授	高橋 良輔	平成28年4月	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course) 総合理工学論文研究 (Research Thesis) コンクリート構造工学特論 (Advanced Concrete Structural Engineering)						
兼担	教授	堀口 誠二	平成28年4月	ナノデバイス工学 I (Nanodevice Engineering I) ナノデバイス工学 I (Nanodevice Engineering II)						
兼担	教授	佐藤 正志	平成28年4月	電力エネルギー工学 I (Electric Energy Engineering I) 電力エネルギー工学 II (Electric Energy Engineering II)						
兼担	教授	土岐 仁	平成28年4月	生体運動制御工学 (Bioengineering for Sports)						
兼担	准教授	GRAVE EWA MALGORZATA ()	平成28年4月	英語スキルアップセミナー (English Academic Writing and Presentation Development Seminar)						
兼担	准教授	ABADZHIEVA EMILIYA ()	平成28年4月	英語スキルアップセミナー (English Academic Writing and Presentation Development Seminar)						
兼担	講師	SELIN PAVEL	平成28年4月	英語スキルアップセミナー (English Academic Writing and Presentation Development Seminar)						
					兼担	准教授	WATTERS EAMON PATRICK JOHN	平成28年10月	英語スキルアップセミ ナー (English Academic Writing and Presentation Development Seminar)	平成28年10月 担当者の追加(29)

- - ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、<u>「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢</u>を、<u>「変更状況」には平成29年5月1日現在の漢年齢</u>を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、 変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、 及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ <mark>認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合</mark>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画 変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任 教員として授業等を担当することは出来ません。
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度 () 書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時におけ る設置基準上の必 要研究指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準 上の必要教授数	完成年度時における設置基準 上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件 (平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号) により 算出される教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員数

	設	置時	の計	画	現る	主(報告書	非提出時)の状況		現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講館	師 助 教	計	教 授	准教授	講師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
43	29	1	0	73	42	31	2	0	75	42	31	2	0	75
(43)	(32)	(2)	(0)	(77)						[Δ1]	[+2]	[+1]	[±0]	[+2]
研究指導 員数			講義のみ担 当の教員数		研究指導教員發			講義のみ担 当の教員数		研究指導教員	数 研究指導物 教員数		のみ担当の 教員数	
58	1	5	0		60	1	5	0		60	15		0	/
(62)		5)	(0)		00	'		v		[+2]	[±0] [±0]	/ I

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名滅の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
	報告書提出時(上 記(A))の教 のうち、定年を 長して採用して る教員数	完成年度時(上記 (B)) の教員うち、 定年を延長して採用す る教員数
65	0	0

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況		就任	壬辞退(未 勍	(任)の理由				
			必修	学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)	1								
			必修	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)	1								
1	教授	宗像 健三	必修	総合理工学論文研究 (Research Thesis)	1	平	成27年9月21	日付けで退職	: (死亡) した	こため((28)		
			選択	化学プロセス設計工学 I (Chemical Process Design I)	3								
			選択	化学プロセス設計工学 I (Chemical Process Design II)	3								
	必		必修	学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)	1								
2	教授	長谷川 裕晃	必修	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)	1	平点	b27年8月31日	付けで退職	(一身上) 1.:	t- t- xh	(28)		
_	20.00	XIM IIX	必修	総合理工学論文研究 (Research Thesis)	1	1 /2	〒10027年0月01日刊刊で返収(男工) ひた				(20)		
			選択	応用流体力学特論 (Advanced Applied Fluid Mechanics)	3								
		合計	(A)			往	後任補充状況	の集計(B))				
京	就任を辞	退した教員数	担当科目数の合詞	† (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計	十数 (b)	③の合計	十数 (c)		
			必修	6 科目	必修 6	科目	必修	0 科目	必修	0	科目		
			選択	3 科目	選択 0	科目	選択	0 科目	選択	3	科目		
	2	人	自由	0 科目	自由 0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目		
			計	9 科目	計 6	科目	計	0 科目	計	3	科目		

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - ・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退 (未就任) の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	뮹	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
				必修	学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)	1	
				必修	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)	1	
1		教授	鈴木 雅史	必修	総合理工学論文研究 (Research Thesis)	1	平成28年8月15日付けで退職 (死亡) したため (29)
				選択	シミュレーション工学 I (Computer Simulation Engineering I)	3	
				選択	シミュレーション工学 II (Computer Simulation Engineering II)	3	
				必修	学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)	1	
2		准教授	野老山 貴行	必修	総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)	1	平成29年3月31日付けで退職(一身上)したため(29)
				必修	総合理工学論文研究 (Research Thesis)	1	
				選択	トライボロジー特論 (Advanced Tribology)	3	

	合計 (C)						後任補充状況の集計 (D)							
	辞任した教員数 担当科目数の合計 (a				(b) + (c)	①の合計数(a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
Γ			必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	_		選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	3	科目
	2	人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
I			計	9	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	3	科目

- (注) · 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)-①・(3)-② の合計

		合計(A) + (C)				後任神	#充状況の集	計(B)+	(D)			
辞任等した教員数			担当科目数の合語	† (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b)			十数(b)	③の合計数 (c)			
			必修	12	科目	必修	12 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
			選択	6	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	6 科目		
	4	人	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
			計	18	科目	計	12 科目	計	0 科目	計	6 科目		

- (注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について,教員数、担当科目数の合計,後任補充の状況を記入ください。
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

宗像健三教授の辞任について、担当科目である「学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)」「総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)」「総合理工学論文研究 (Research Thesis)」については、分担科目で他の教員で担当可能であるため、履修等への影響 はない。また、選択科目の「化学プロセス設計工学 I (Chemical Process Design I)」「化学プロセス設計工学 I (Chemical Process Design II)」については、後任選考中である。

長谷川裕晃教授の辞任について,担当科目である「学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)」「総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)」「総合理工学論文研究 (Research Thesis)」については,分担科目で他の教員で担当可能であるため,履修等への影響 はない。また、選択科目の「応用流体力学特論 (Advanced Applied Fluid Mechanics)」については、後任選考中である

学生に対しては、履修案内への記載や、web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a·net」へ掲載することにより、充分な周知 を行った。

鈴木雅史教授の辞任について,担当科目である「学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)」「総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)」「総合理工学論文研究 (Research Thesis)」については,分担科目で他の教員で担当可能であるため,履修等への影響 はない。また,選択科目の「シミュレーション工学 I (Computer Simulation Engineering I)」「シミュレーション工学 I (Computer Simulation Engineering I)」については,後任公募を予定している。

野老山貴行准教授の辞任について,担当科目である「学際領域セミナー (interdisciplinary Seminar)」「総合理工学特別演習 (Advanced Tutorial Course)」「総合理工学論文研究 (Research Thesis)」については,分担科目で他の教員で担当可能であるため,履修等への影響 はない。また,選択科目の「トライボロジー特論 (Advanced Tribology) 」については,後任公募を予定している。

学生に対しては、履修案内への記載や,web機能を活用した本学独自の総合学務支援システム「a·net」へ掲載することにより,充分な周知 を行った。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	等	履行状況	未履行事項について の実施計画
設置時	該当なし			
(28年4月)				
設置計画履行状況調 査 時(29年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (口口年2月)		改善意見		
調査時	・同一設置者が設置する 既設学部等(○○学科、 ●●学科)の~すること。	〇〇意見		

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を(</u><u>)書き</u>で付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される<u>全ての報告書に</u> 記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

〈理工学研究科 総合理工学専攻〉

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

理工学研究科教育改善委員会

《関係規程等》

秋田大学大学院理工学研究科教育改善委員会規程

(趣旨)

第1条 秋田大学大学院理工学研究科及び理工学部における教育及び教員の教育に関する資質の向上に関する 事項並びに理工学研究科評価委員会及び企画運営会議の付託事項を検討・実施するため、理工学研究科に教育 改善委員会(以下「委員会」という。」)を置き、委員会に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。 (審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学生及び教員による授業評価の実施等に関すること。
- (2) JABEE認証の受審・更新の実施等に関すること。
- (3) 教育に関する外部評価の実施に関すること。
- (4) 教育改善に関わる調査・研究に関すること。
- (5) FD活動の実施等に関すること。 (6) その他教育改善に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 博士前期課程の各コース及び共同ライフサイクルデザイン工学専攻の教授または准教授各1名
- (2) その他研究科長が必要と認めた者

(任期)

第4条 任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学務副委員長をもって充てる。

- 2 委員長は,委員会を主宰する。
- 3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名する。
- 4 委員長に事故等があるときは、副委員長がその職務を代行する。 (議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (委員以外の出席)
- 第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外のものを委員会に出席させ、意見を聴くことができる。 (庶務) 第8条 委員会の庶務は、理工学研究科事務部の協力を得て、総合学務課において処理する。
- (補則) 第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成22年6月10日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学部が存続する間、当該学部に適用する。
- この規程は、平成26年11月1日から施行する。

附則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第2条の規定は、工学資源学研究科が存続する間、当該研究科に適用する。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

4回開催(平成26年度実績)。8回開催(平成27年度実績)。6回開催(平成28年度実績)。構成委員全員が参加。

c 委員会の審議事項等

上記の委員会規程第2条に定めるところによる。

② 実施状況

- a 実施内容
 - (1) FD・SDシンポジウムの開催
 - (2) FDワークショップの開催
 - (3) 教員による授業評価
- b 実施方法
 - (1) FDシンポジウム:発達障がいを持つ学生へのサポートをテーマに、学内の学生支援を担当している保健管理センター所長等3名の講師によるレクチャーおよび総合討論を行った。(平成26年度実績)

FD・SDシンポジウム:ルーブリック評価とe-ラーニングの活用をテーマに、学外の教員1名による基調講演およびe-ラーニングの事例紹介を行った。(平成28年度実績)・大学教育におけるハラスメントについてをテーマに、保健管理センター所長による基調講演を行った。(平成28年度実績)

- (2) FDワークショップ: 学生参加型等の授業改善をテーマに、学内外の教員3名による基調講演およびパネルディスカッション、参加者全員による授業改善計画案の作成を行った。 (平成26年度実績)・ルーブリック評価の活用と設定方法をテーマに、学外の教員1名による基調講演および参加者全員によるルーブリック課題作成を行った。 (平成27年度実績)
- (3) 各学科・専攻単位に授業評価の対象科目を選定し、その科目について2名以上の教員で評価を行う。 (各教員は、5年に1科目を目処に評価を受けることとしている。)
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - (1) FDシンポジウム:平成26年9月18日(木) 参加者:36名 FD・SDシンポジウム:平成28年12月6日(火) 参加者:40名 平成29年3月13日(月) 参加者:52名
 - (2) F D ワークショップ: 平成26年12月12日 (金) 参加者: 33名 平成27年12月11日 (金) 参加者: 36名
 - (3) 平成26年10月から平成27年1月までの期間で、計17科目の評価を実施した。(平成26年度実績) 平成27年6月から平成28年1月までの期間で、計16科目の評価を実施した。(平成27年度実績) 平成28年6月から平成29年1月までの期間で、計23科目の評価を実施した。(平成28年度実績)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえ、各学科・専攻ごとに検討を行い次年度以降の授業改善に向けて取り組んでいる。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

有 前期と後期の2回,大学院及び学部の全学生を対象に実施した。(平成26,27,28年度実績)

b 教員や学生への公開状況,方法等

実施結果及び分析結果の総評は冊子体としてまとめ、各教員に配付している。各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知している。学生への公開については、その方法等も含め各学科・専攻の判断に委ねている。

- (注) · 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 - 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設後2年目の状況は、順調に進んでいる。 引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいきたい。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - · 平成29年度以降
 - b 公表方法
 - ・理工学研究科のホームページから各種の情報を発信することとしている。
 - ・大学で実施する自己点検・評価に基づく評価の結果については、各事業年度及び目標期間内における業務実績に係る「評価書」を作成しホームページ上等で公表している。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成25年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を 受けた。現在は次回(平成31年度予定)の認証評価を受けるべく、学内で検討中である。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学ごとに記入してください。
- (4) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書		
	a ホームページに公表の有無	(有) 無)
	b 公表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成29年7月1日公表予定)